

令和3年12月21日
教育研究・研修課

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果について

1 主旨

全国学力・学習状況調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的として実施している。

今回、令和3年5月に実施した全国学力・学習状況調査について、令和3年9月に速報値について報告したところであるが、この度結果を分析し報告書としてまとめたので報告する。

2 調査結果

「令和3年度 全国学力・学習状況調査報告書 概要版」及び「令和3年度 全国学力・学習状況調査報告書」のとおり。

全国学力・学習状況調査報告書 概要版

調査の概要

- ◆調査日時：令和3年5月27日（木）
- ◆調査事項：①児童生徒：教科調査【国語、算数・数学】、質問紙調査
②学校：質問紙調査
- ◆調査集計対象 児童・生徒数 学校数

【小学校調査】	対象学校数	学校数	(実施率)	参加児童数
世田谷区立小学校	61校	61校	(100.0%)	6,049人
【中学校調査】	対象学校数	学校数	(実施率)	参加生徒数
世田谷区立中学校	29校	29校	(100.0%)	3,363人

教科に関する調査結果概要

- ◆世田谷区・全国・東京都の平均正答数・平均正答率

(1) 小学校

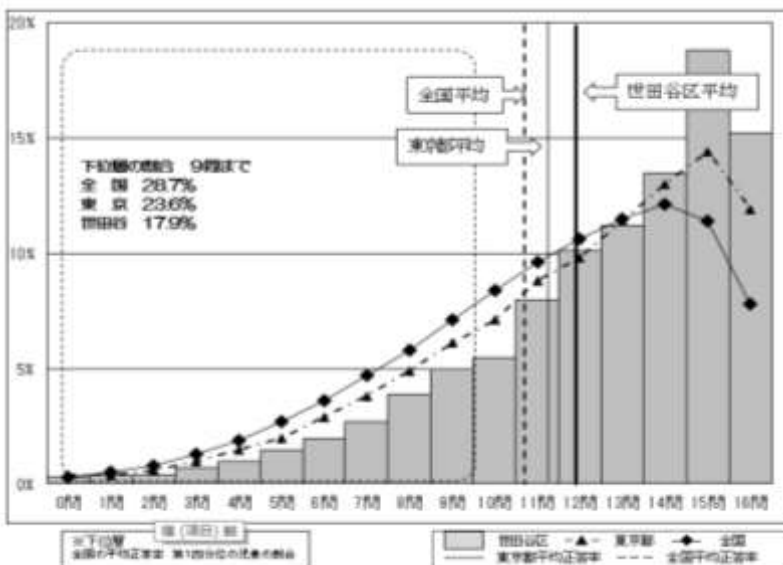
	平均正答率	
	国語	算数
世田谷区	73%	78%
都（公立）	68%	74%
国（公立）	64.7%	70.2%

(2) 中学校

	平均正答率	
	国語	数学
世田谷区	69%	64%
都（公立）	67%	60%
国（公立）	64.6%	57.2%

*世田谷区の平均正答率は、全ての校種・教科において都(公立)、国(公立)よりも高い。

- ◆教科に関する調査結果（算数） 【報告書5ページ】



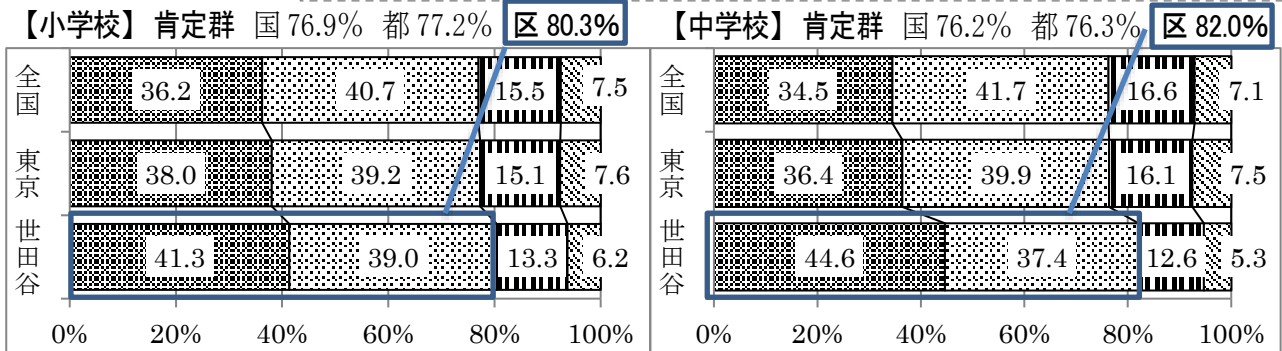
- 世田谷区の正答率は全ての問題において都（公立）、国（公立）よりも高い。
- 第1四分位の下位層児童の割合も都、国よりも低くなっており、正答数が最も高くなっているのは、15問（全16問）となっている。
- 正答率の高い設問は、6年生の本の貸し出し冊数を、棒グラフから読み取って選ぶ問題で、96.5%【全国95.8%】となっている。

質問紙調査結果（概要）

キャリア・未来デザイン教育に関する取組状況

6 自分には、よいところがあると思いますか。（自己有用感） 【報告書16ページ】

□当てはまる ■どちらかといえば当てはまる ▨どちらかといえば当てはまらない □当てはまらない

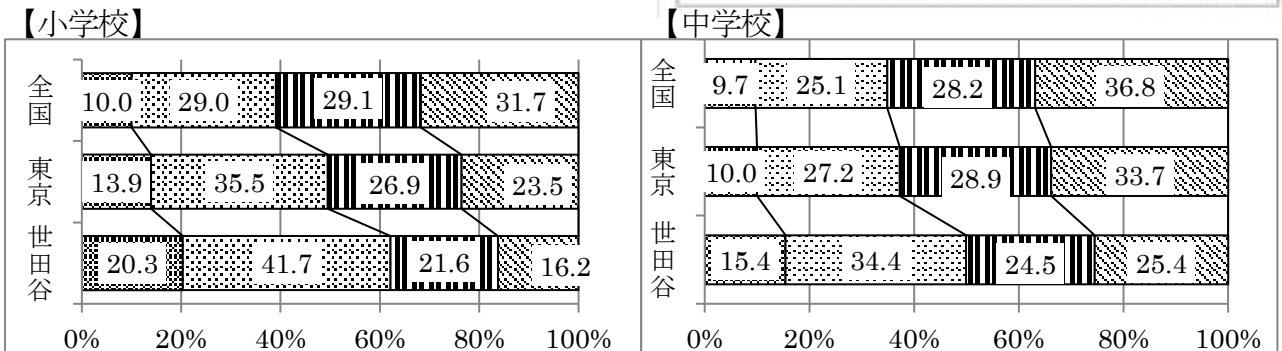


◆「自分には、よいところがあると思いますか」との質問に肯定的に回答した児童・生徒の割合は約80%で高い傾向が見られる。

ICT を活用した学習状況

27 あなたは学校で、コンピューターなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか。（ICT活用） 【報告書28ページ】

■1.ほぼ毎日 ■2.週1回以上 ■3.月1回以上 ■4.月1回未満

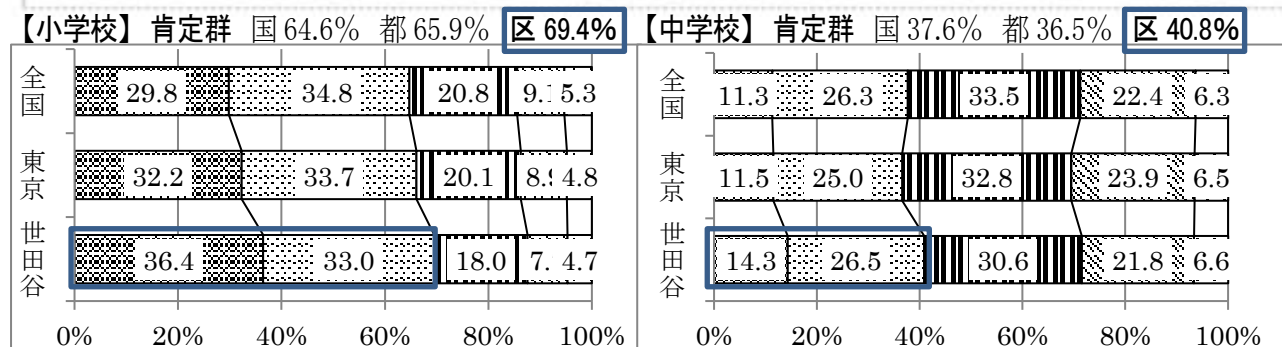


◆「コンピューターやICT機器の使用について」との質問に国や都より高い傾向が見られる。

新型コロナウイルス感染症の影響

65 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか。 【報告書44ページ】

■1.当てはまる ■2.どちらかといえば、当てはまる ■3.どちらかといえば、当てはまらない ■4.当てはまらない ■5.聞いけません



◆コロナ禍においても計画的に学習を続けることができていた児童・生徒が多い。

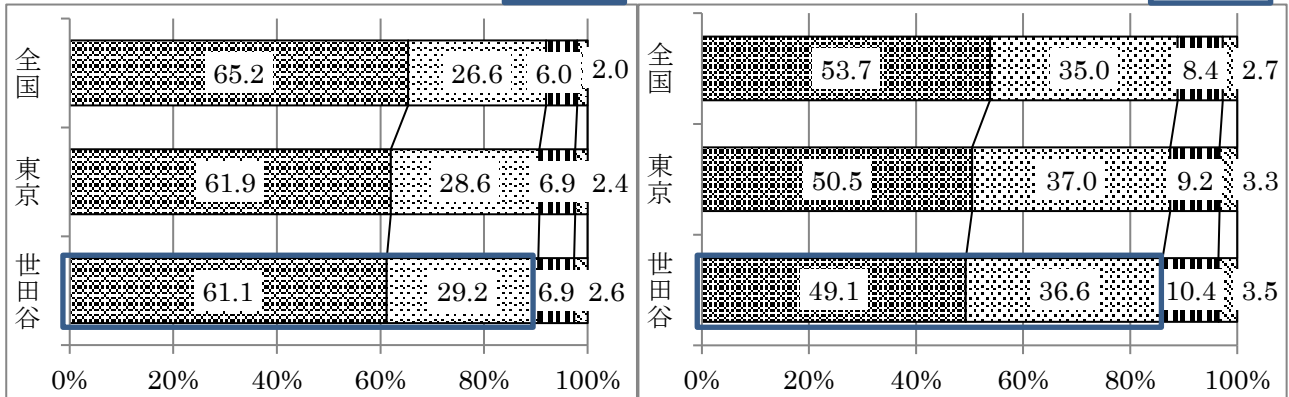
学習に関する興味・関心や授業の理解度等（国語）

46 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに、役に立つと思いますか。

（興味や関心：キャリア形成） 【報告書35ページ】

□当てはまる ■どちらかといえば当てはまる ▨どちらかといえば当てはまらない □当てはまらない

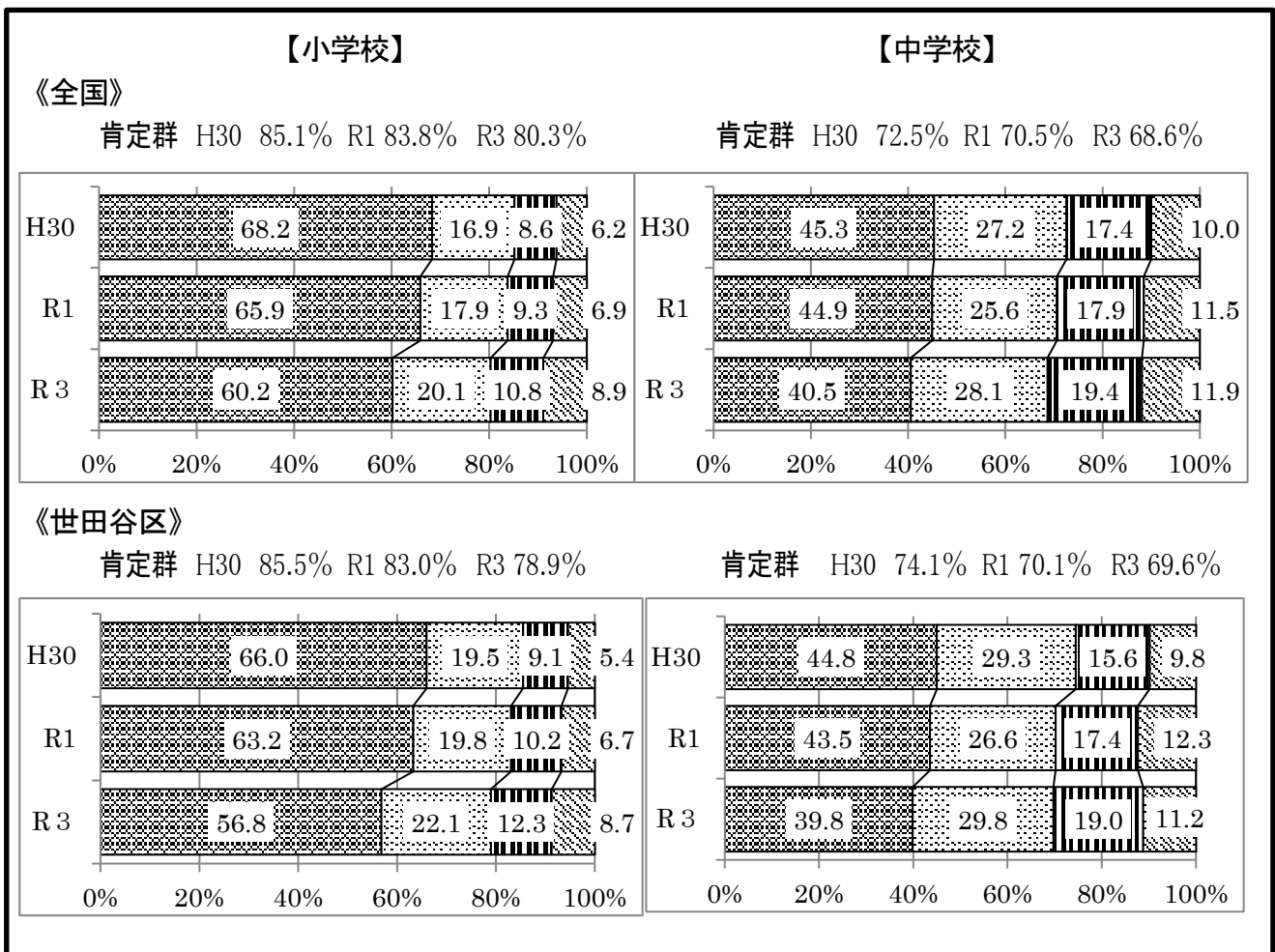
【小学校】肯定群 国 91.8% 都 90.5% **区 90.3%** 【中学校】肯定群 国 88.7% 都 87.5% **区 85.7%**



◆当てはまると回答した児童生徒の割合が国や都よりも低い傾向が見られる。

挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等

7 将来の夢や目標を持っていますか。（挑戦心：キャリア形成） 【報告書17ページ】



◆「将来の夢や目標を持っていますか」との質問に世田谷区・国ともに下降傾向が見られる。

令和3年度 全国学力・ 学習状況調査 報告書

令和3年12月

世田谷区教育委員会

目次

1	調査の概要	
(1)	調査目的	- 2 -
(2)	対象	- 2 -
(3)	調査内容	- 2 -
(4)	調査実施日	- 2 -
(5)	参加児童・生徒数等	- 2 -
2	調査結果	
(1)	小学校	- 3 -
(2)	中学校	- 3 -
3	各教科の結果と考察	
(1)	小学校 国語	- 4 -
(2)	小学校 算数	- 5 -
(3)	中学校 国語	- 6 -
(4)	中学校 数学	- 7 -
4	「読み解く力」に関連する問題について	
(1)	全体	- 8 -
(2)	各教科	- 9 -
5	世田谷区における無解答率10%以上の問題等について	- 13 -
6	主な質問紙調査の結果	
(1)	挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等	- 16 -
(2)	学習習慣、学習環境等	- 21 -
(3)	地域や社会に関わる活動の状況等	- 27 -
(4)	ICTを活用した学習状況	- 28 -
(5)	主体的・対話的で深い学びの観点からの授業改善に関する取組状況	- 31 -
(6)	総合的な学習の時間、学級活動、特別教科道徳	- 34 -
(7)	学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）	- 16 -
(8)	学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数・数学）	- 38 -
(9)	学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）	- 41 -
(10)	新型コロナウイルス感染症の影響	- 43 -
7	考察	
(1)	教科全体（国語、算数・数学、英語）を通して	- 47 -
(2)	読み解く力に関連する問題を通して	- 47 -
(3)	無解答率について	- 47 -
(4)	質問紙調査から	- 47 -
(5)	授業改善の視点	- 48 -

1 調査の概要

(1) 調査目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 対象

小学校第6学年の全児童、中学校第3学年の全生徒（知的障害学級等の児童・生徒を除く）

(3) 調査内容

- | | |
|------------|----------------|
| ① 教科 国語 | 小45分 中50分 |
| ② 教科 算数・数学 | 小45分 中50分 |
| ③ 質問紙調査 | 小・中 20分から40分程度 |

(4) 調査実施日

令和3年5月27日（木）

(5) 参加児童・生徒数等

【小学校調査】	対象学校数	学校数	(実施率)	参加児童数
世田谷区立小学校	61校	61校	(100.0%)	6,049人
公立学校	18,965校	18,939校	(99.9%)	1,009,674人
国立学校	75校	75校	(100.0%)	6,308人
私立学校	240校	127校	(52.9%)	6,911人
合計	19,280校	19,141校	(99.3%)	1,022,893人

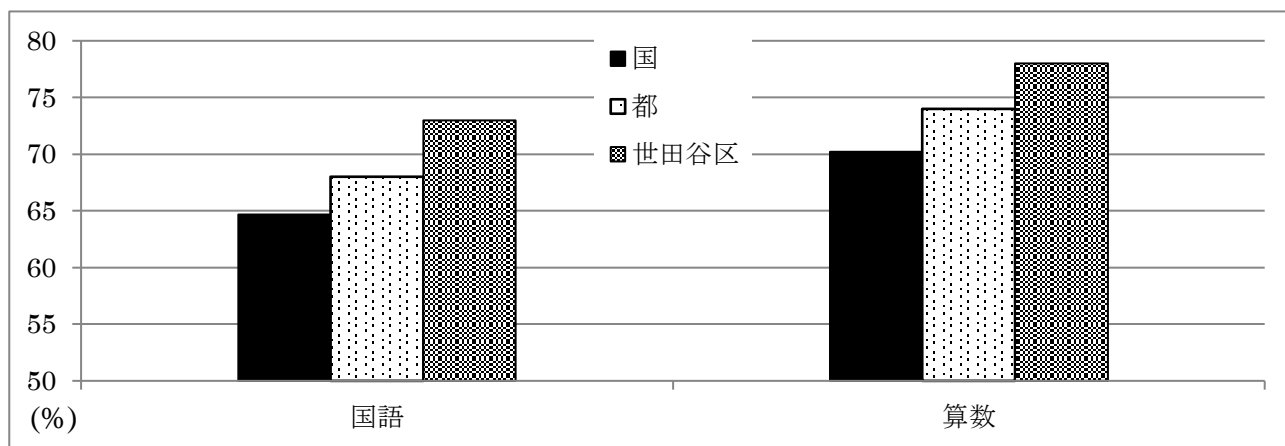
【中学校調査】	対象学校数	学校数	(実施率)	参加生徒数
世田谷区立中学校	29校	29校	(100.0%)	3,363人
公立学校	9,475校	9,450校	(99.7%)	919,949人
国立学校	80校	80校	(100.0%)	9,851人
私立学校	761校	334校	(43.9%)	26,261人
合計	10,316校	9,864校	(95.6%)	956,061人

2 調査結果

(1) 小学校

	平均正答率	
	国語	算数
国（公立）	64.7%	70.2%
都（公立）	68%	74%
世田谷区	73%	78%

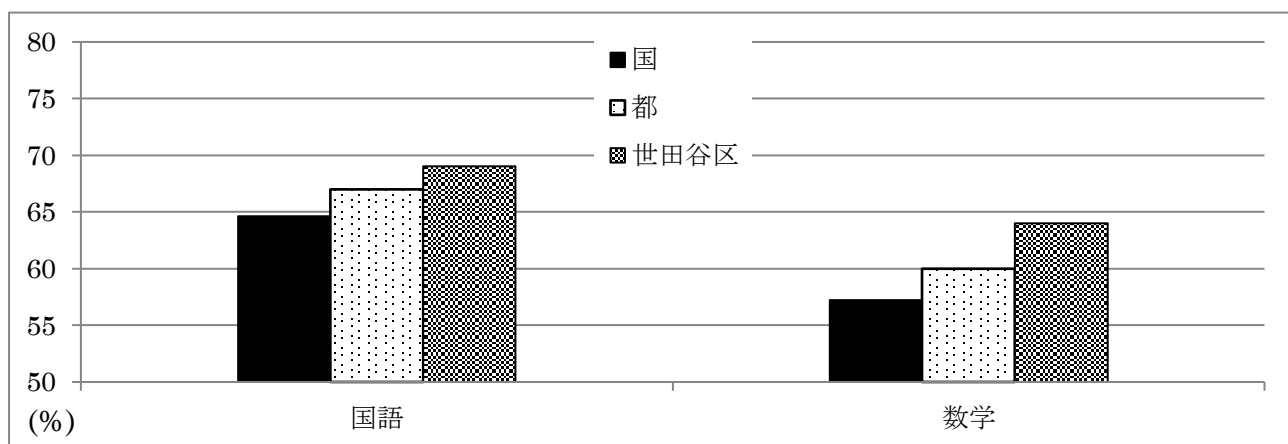
* 世田谷区の平均正答率は、都(公立)国(公立)よりも高く、上位層にある。



(2) 中学校

	平均正答率	
	国語	数学
国（公立）	64.6%	57.2%
都（公立）	67%	60%
世田谷区	69%	64%

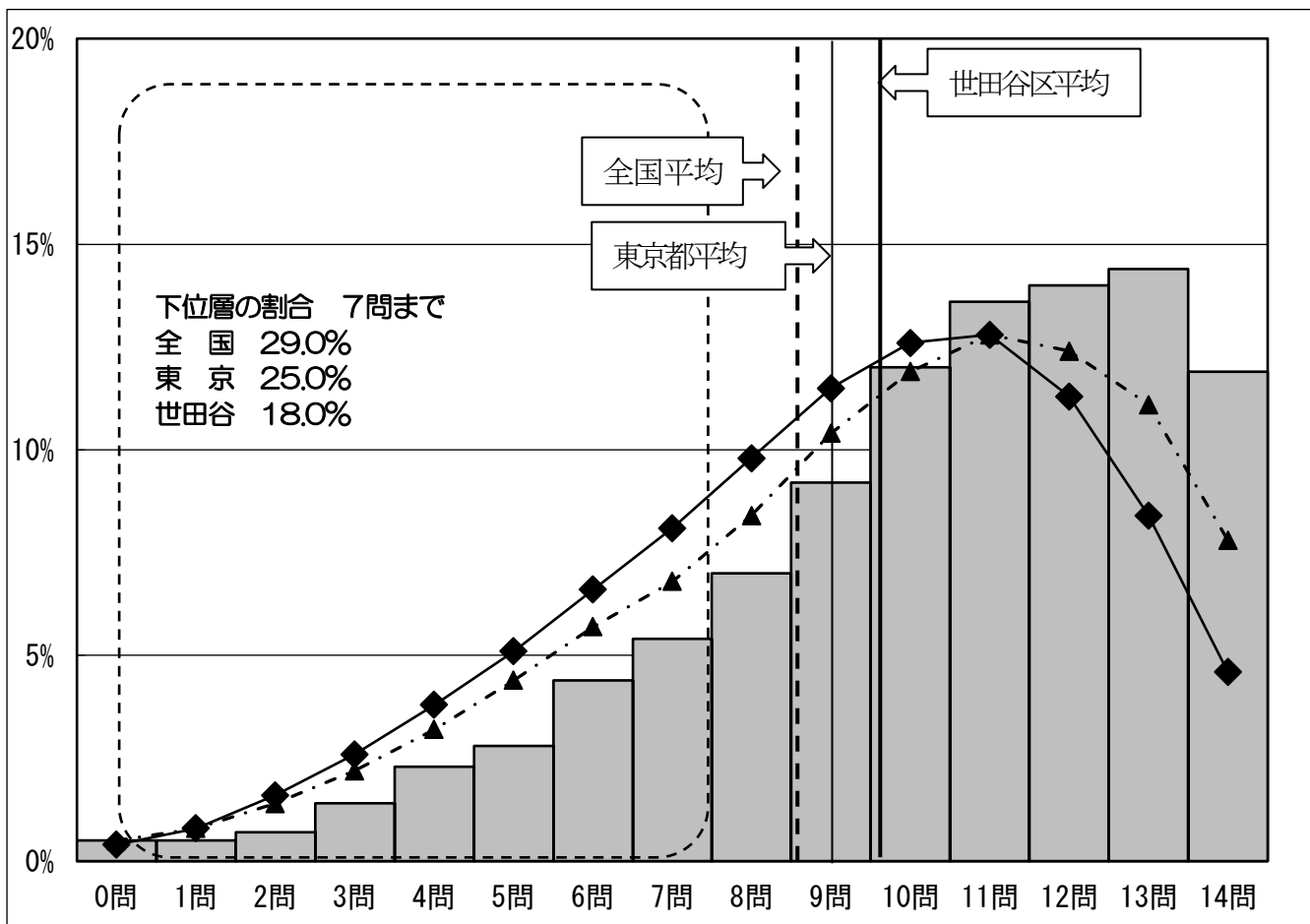
* 世田谷区の平均正答率は、都(公立)国(公立)よりも高く、上位層にある。



3 各教科の結果と考察

(1) 小学校 国語

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
全国	993、975	9.1 / 14	64.7
東京都	94、079	9.5 / 14	68
世田谷区	6、049	10.2 / 14	73



※下位層
 全国の平均正答率 第1四分位の児童の割合

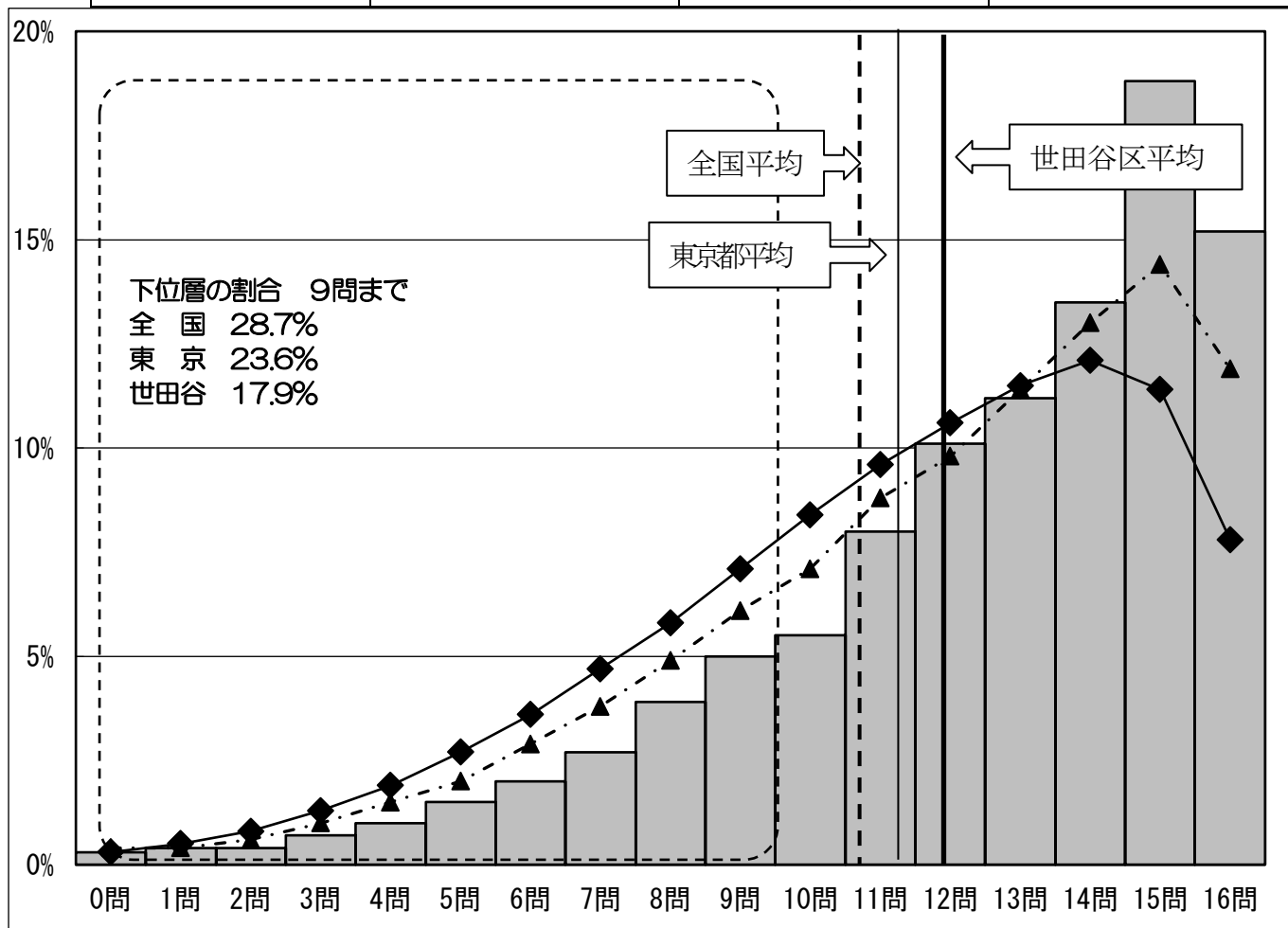
■ 世田谷区 ▲ 東京都 ◆ 全国
 — 東京都平均正答率 - - - 全国平均正答率

【調査結果から分かったこと】

- ① **正答率の高い設問**
 - ・面ファスナーに関する【資料】の文章の中の「より」と同じ使い方として適切なものを選択する。
 - 93% [全国 87.5%] 【問題：2二】
- ② **正答率の低い設問**
 - ・面ファスナーに関する【資料】を読み、面ファスナーが、国際宇宙ステーションの中でどのように使われているかをまとめて書く。
 - 44.8% [全国 29.7%] 【問題：2四】
- ③ **正答率の低い設問への今後の指導**
 - 文章を要約するためには、目的に応じて文章全体から必要な部分を選び、内容を端的に説明することが大切であるので、要約する分量などについても目的に応じて考えるなど、工夫して指導する。

(2) 小学校 算数

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
全国	994、101	11.2 / 16	70.2
東京都	94、098	11.8 / 16	74
世田谷区	6、049	12.4 / 16	78



※下位層
 全国の平均正答率 第1四分位の児童の割合

■ 世田谷区 ▲ 東京都 ◆ 全国
 — 東京都平均正答率 - - - 全国平均正答率

【調査結果から分かったこと】

① 正答率の高い設問

・ 6年生の本の貸し出し冊数を、棒グラフから読み取って選ぶ。

96.5% [全国 95.8%] 【3(1)】

② 正答率の低い設問

・ 30mを1としたときに12mが0.4に当たるわけを書く。

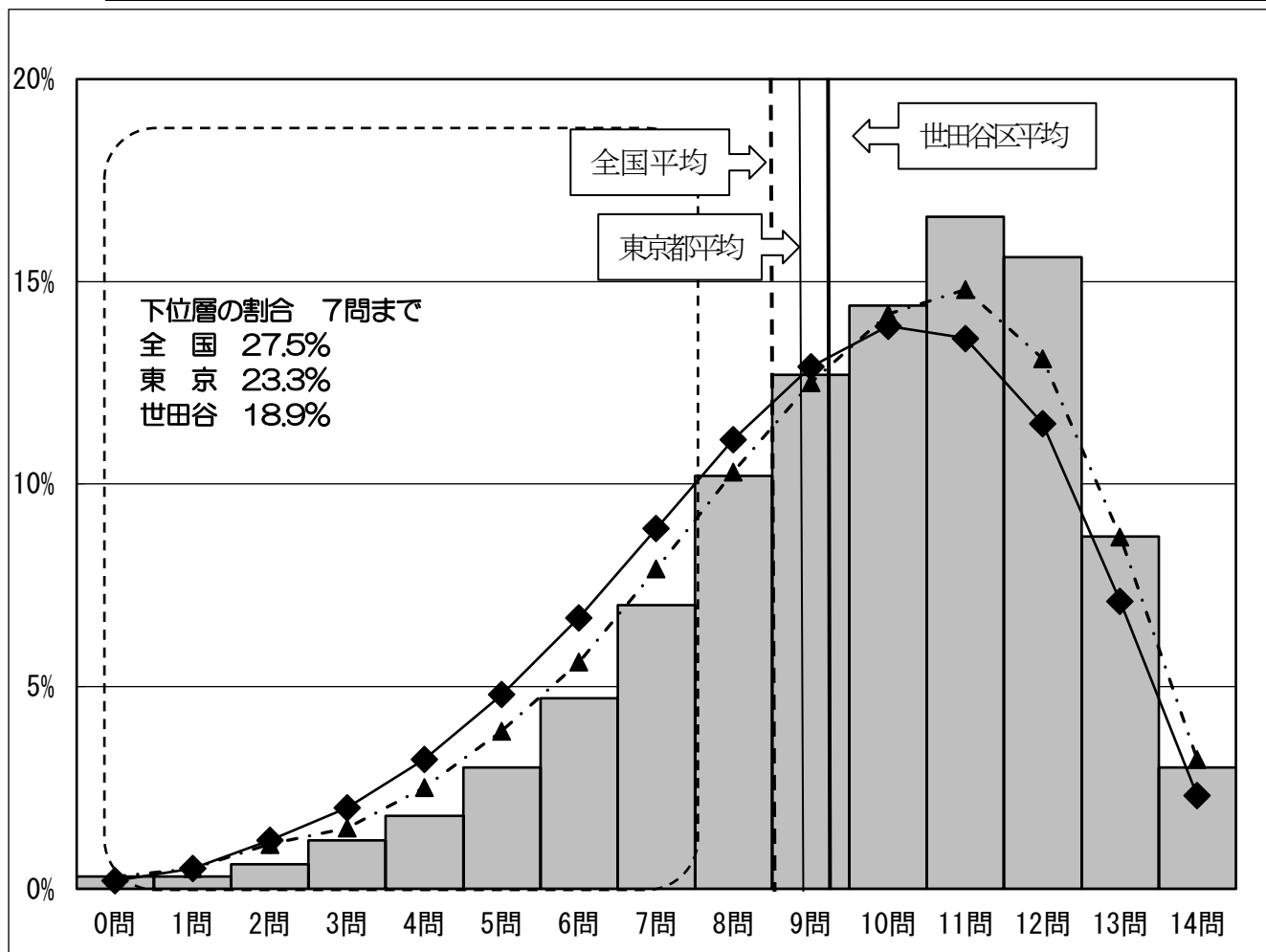
54.2% [全国 51.5%] 【4(3)】

③ 正答率の低い設問への今後の指導

数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、整数を用いた倍の意味を捉え直して、小数を用いた倍についても、基準量を1としたときに比較量が幾つに当たるかという意味について理解できるように指導する。

(3) 中学校 国語

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
全国	903、157	9.0 / 14	64.6
東京都	70、017	9.4 / 14	67
世田谷区	3、363	9.7 / 14	69



※下位層
 全国の平均正答率 第1四分位の生徒の割合

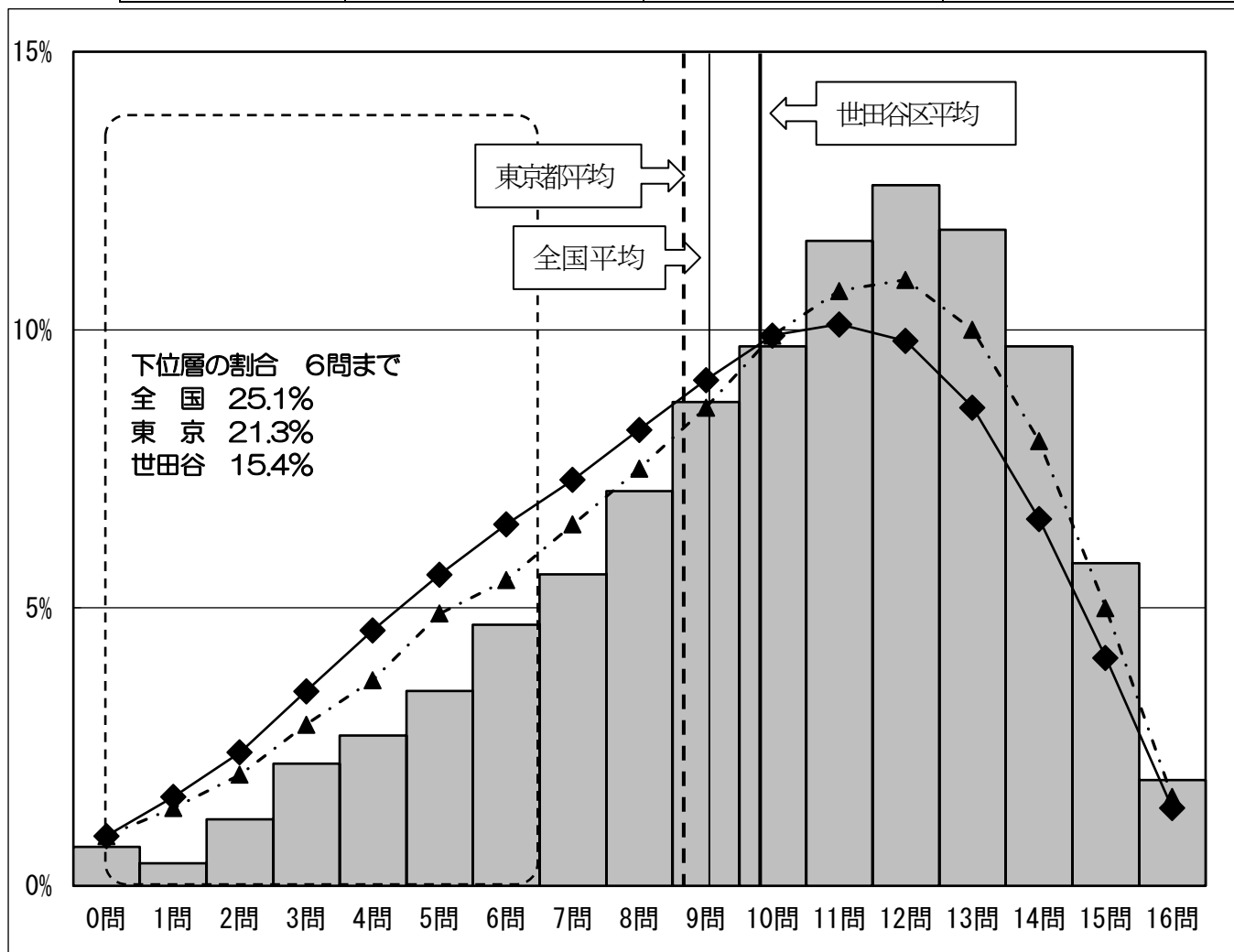
■ 世田谷区 ▲ 東京都 ◆ 全国
 — 東京都平均正答率 - - - 全国平均正答率

【調査結果から分かったこと】

- ① **正答率の高い設問**
 ・漢字（伸ばして）を読む
 97.7% [全国 97.5%] 【4—①】
- ② **正答率の低い設問**
 ・「吾輩」が「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしているのかや、そのような接し方をどう思うかを書く。
 20.4% [全国 20.5%] 【3四】
- ③ **正答率の低い設問への今後の指導**
 文学的な文章を読んで自分の考えをもつためには、「構造と内容の把握」や「精査・解釈」の学習過程を通して理解したことを他者に説明したり、他者の考えやその根拠などを知ったりするような指導をする。

(4) 中学校 数学

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
全国	903、253	9.1 / 16	57.2
東京都	70、014	9.6 / 16	60
世田谷区	3、359	10.2 / 16	64



※下位層
 全国の平均正答率 第1四分位の生徒の割合

■ 世田谷区 —▲— 東京都 ◆ 全国
 — 東京都平均正答率 — — 全国平均正答率

【調査結果から分かったこと】

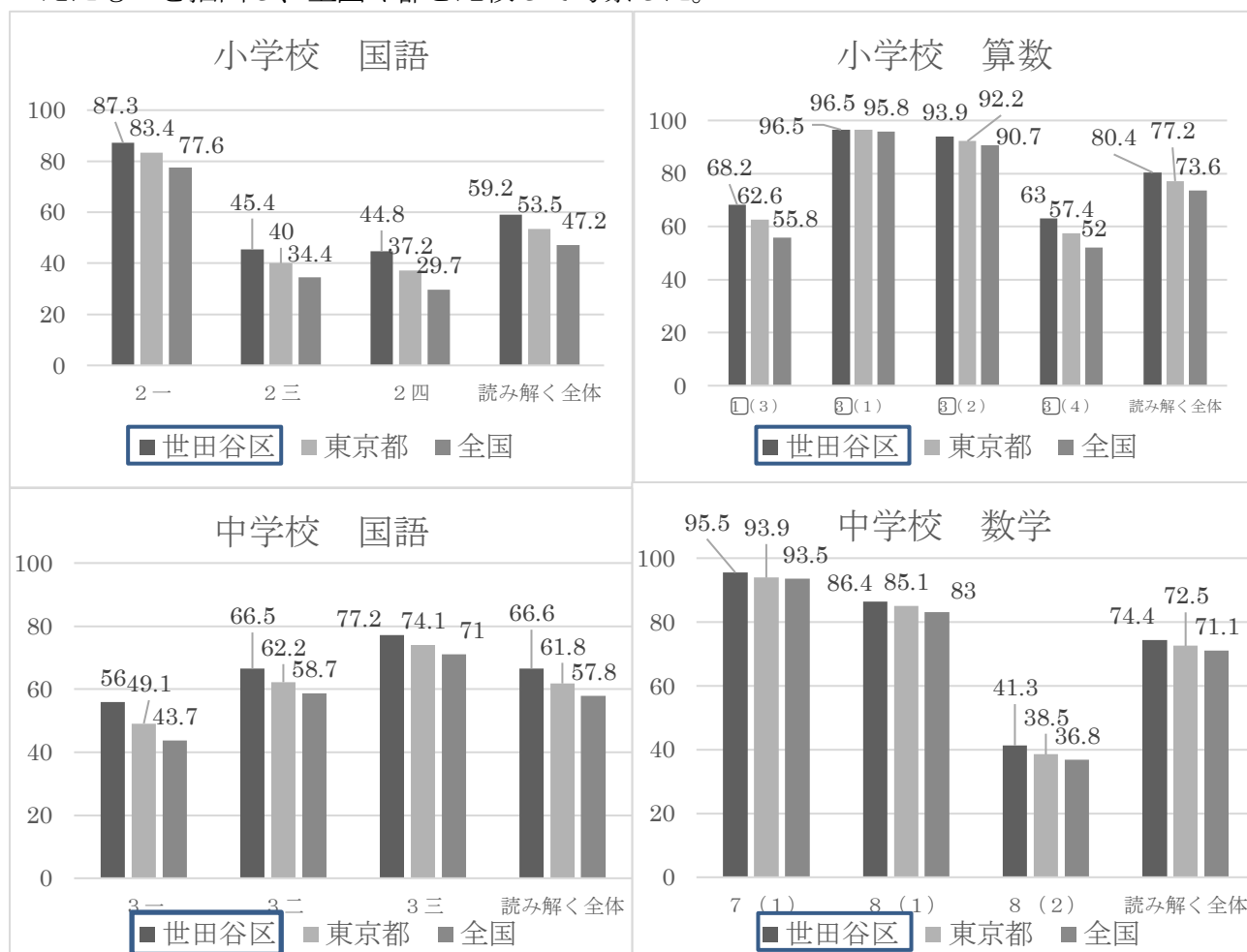
- ① **正答率の高い設問**
 - ・与えられた表やグラフから、砂の重さ75gのとき、砂が落ちきるまでの時間が36.0秒であったことを表す点を求める。95.5% [全国 93.5%] 【7 (1)】
- ② **正答率の低い設問**
 - ・「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する。12.3% [全国 11.1%] 【8 (3)】
- ③ **正答率の低い設問への今後の指導**
 - データの分布の様子を捉える場面を想定し、データの傾向を的確に捉え、判断したこととその理由について説明する活動を取り入れるなど、工夫して指導する。

4 読み解く力に関連する問題について

(1) 全体

学習指導要領において「言語能力」の育成は、すべての教科等の枠を越えた全ての学習の基盤として位置付けられている。その中で、問題や文章、図表などから必要な情報を正確に読み取り、解釈しながら問題を解決する力である「読み解く力」については、主体的・対話的で深い学びの実現に必要な力と捉えられている。

そこで、今年度の全国・学力学習状況調査の問題で、「読み解く力」に関連する内容と考えたものを抽出し、全国や都と比較して考察した。



【結果から分かったこと】

多くの問題において、区の正答率は、全国や東京都の正答率を上回っている。読み解く力の問題の平均正答率を考えると、小学校においては、国語・算数ともに全国より6ポイント程度高くなっている。中学校では、国語・数学が全国より3ポイント以上高くなっている。

今後も「読み解く力」の育成について、意図的・計画的に取り組んでいく。

小学校算数 3 (2)

〔棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができる〕

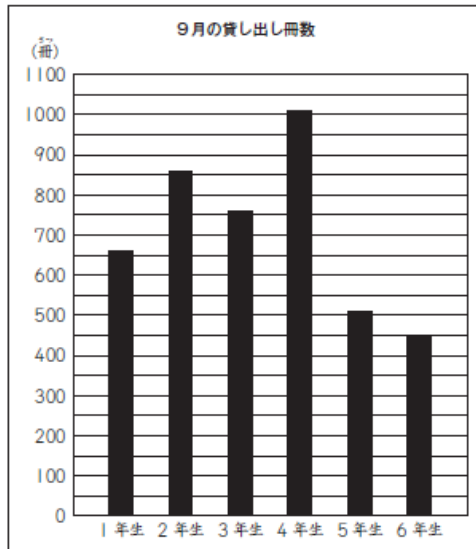
3

ひよりさんたちは、10月の図書委員会で、図書室の本の貸し出しの様子について話し合っています。



最近、5年生と6年生は、ほかの学年より本を借りていないのではないのでしょうか。

そこで、9月の貸し出し冊数を調べ、下のグラフに表しました。



小算-11

(2) 9月の貸し出し冊数について、左のグラフからどのようなことがわかりますか。

下のアからエまでの中から、最もふさわしいものを1つ選んで、その記号を書きましょう。

ア 貸し出し冊数がいちばん多い学年は、2年生である。

イ 2年生の貸し出し冊数は、3年生の貸し出し冊数の約2倍である。

ウ 5年生の貸し出し冊数は、4年生の貸し出し冊数の半分くらいである。

エ 1年生と3年生の貸し出し冊数の差は、約200冊である。

【考察】

〔問題の要旨〕

身の回りの事象について、統計的に問題解決するために、集めるべきデータを判断したり、データを分類整理したり、表やグラフからデータの特徴や傾向を読み取ったりすることができるかどうかをみる問題である。

〔結果〕

正答率は、世田谷区 93.9%、東京都 92.2%、全国 90.7%であり、全国や東京都を上回っている。

〔今後の指導〕

棒グラフから、目的に応じて、各項目の数量の大きさを読み取ったり、最大値や最小値を捉えたりすることで、項目間の関係や集団のもつ全体的な特徴などを読み取ったりできるように、繰り返し指導する。

8 桃花さんは、5月にA市のキャンプ場に行くことになりました。キャンプの準備をするために、キャンプ場の過ごしやすさについて、気候に着目し、A市の昨年5月の最高気温、最低気温、日照時間、最大瞬間風速、降水量をインターネットで調べました。さらに、調べた最高気温から最低気温をひいて気温差を求め、下の表のようにまとめました。

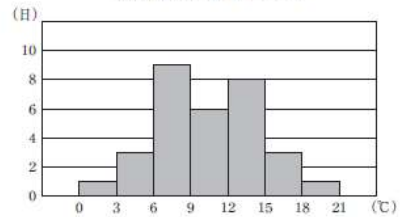
調べたこと

日付	最高気温(℃)	最低気温(℃)	気温差(℃)	日照時間(時間)	最大瞬間風速(m/秒)	降水量(mm)
1日	20.9	6.9	14.0	5.8	7.4	0.0
2日	25.9	9.1	16.8	12.0	7.3	0.0
3日	27.3	12.8	14.5	10.3	8.2	0.0
4日	20.3	11.8	8.5	2.5	9.5	0.0
5日	23.5	9.4	14.1	9.9	11.9	0.5
6日	13.2	5.5	7.7	0.1	8.7	2.0
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
31日	20.9	9.2	11.7	2.2	9.1	0.0

○日照時間とは、1日のうちで、日光によってものの影ができた時間の合計のこと。

(1) 桃花さんは、前ページの調べたこと表から、気温差が大きい日や小さい日があることが気になり、気温差の分布のようすを、次のヒストグラムにまとめました。例えば、気温差が3℃以上6℃未満の日は3日あったことを表しています。

気温差のヒストグラム



気温差が9℃以上12℃未満の階級の度数を求めなさい。

【考察】

〔問題の要旨〕

データに基づいて不確定な事象を考察する場面において、表やグラフなどからデータの傾向を適切に読み取ることができるかどうかをみる問題である。

〔結果〕

正答率は、世田谷区 86.4%、東京都 85.1%、全国 83.0%であり、全国や東京都を上回っている。

〔今後の指導〕

データの分布の傾向を捉える場面を設定し、目的に応じて同数分布表やヒストグラムにおける階級の度数に着目するなどして、必要な情報を読み取るための指導を行う。

5 世田谷区における無解答率10%以上の問題等について

学校	教科	問題番号	解答形式	無解答率 (%)		
				世田谷区	東京都	全国
小学校	国語	3 三(1)ウ	短答	13.1	17.3	14.4
	算数	3 (4)	記述	10.1	11.1	10.3
		4 (3)	記述	10.9	12.0	10.3
中学校	国語	3 四	記述	17.2	21.4	24.1
	数学	6 (3)	記述	24.0	27.9	29.9
		7 (2)	記述	17.5	22.0	24.7
		8 (3)	記述	27.2	31.9	32.2
		9 (3)	短答	21.8	27.1	28.7

※白抜きは全国よりも無回答率が高いもの

【結果】

- 無解答率10%以上の問題は、上記の表のとおり、小学校3問、中学校5問、合計で8問であった。また15%以上の問題は、5問であり、すべて中学校である。

【小学校】

- 小学校国語では、漢字の記述問題（3 三(1)ウ）「積み」を漢字で書く。小学校算数では、帯グラフから、割合の違いが一番大きい項目を選び、その項目と割合を書く問題（3 (4)）、30mを1としたときに12mが0.4に当たるわけを書く問題（4 (3)）である。

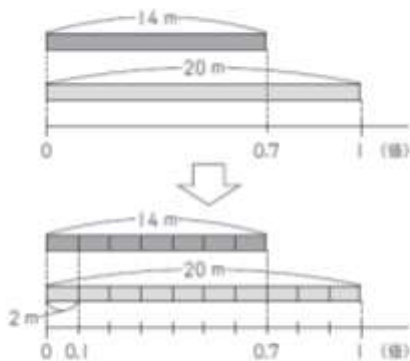
小学校 算数 4 (3) : 無解答率 10.9%

(例) 14mのテープと20mのテープがあります。
こはるさんたちは、14mは20mの何割かについて考えています。

こはる $14 \div 20 = 0.7$ で、0.7倍です。0.7倍というのは、20mを1としたとき、14mが0.7にあたることを表していましたね。

れんと 20 mを1としたとき、14mが本来に0.7にあたるのから。

れんとさんの話を聞いて、ゆうまさんは、20mを1としたときに14mが0.7にあたるわけについて、20mを10等分した1つ分の長さが0.1にあたることをもとにして考え、アのように図を書いて説明しました。



【ゆうまさんの説明】

ゆうま 20 mを1としたとき、0.1にあたる長さは2mです。
14mは、2mの7つ分になるので、20mを1としたときの0.7にあたります。

12mのテープと30mのテープもあります。
たくみさんたちは、12mは30mの何割かについて考えています。

たくみ $12 \div 30 = 0.4$ で、0.4倍です。

さくら 30 mを1としたとき、12mが本来に0.4にあたるのから。

30mを1としたときに12mが0.4にあたるわけを、【ゆうまさんの説明】と同じように、0.1にあたる長さがわかるようにして、言葉や数を使って書きましょう。

※ 必要ならば、下の図を使って考えてもかまいません。



【中学校】

- 中学校国語では、「吾輩」が「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしているかや、そのような接し方をどう思うかを書く問題（3四）である。
- 中学校数学では、四角で4つの数を囲むとき、四角で囲んだ4つの数の和がどの位置にある2つの数の和の2倍であるかを説明する問題（6（3））、与えられた表やグラフを用いて、2分をはかるために必要な砂の重さを求める方法を説明する問題（7（2））、「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する問題（8（3））、 $\angle ARG$ や $\angle ASG$ の大きさについていつでも言えることを書く問題（9（3））がある。

中学校 数学 8（3）：無解答率 27.2%

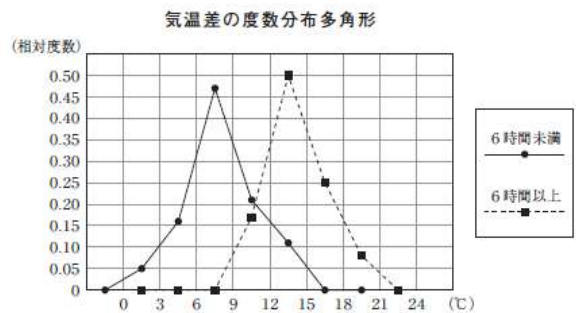
8 桃花さんは、5月にA市のキャンプ場に行くことになりました。キャンプの準備をするために、キャンプ場の過ごしやすさについて、気候に着目し、A市の昨年5月の最高気温、最低気温、日照時間、最大瞬間風速、降水量をインターネットで調べました。さらに、調べた最高気温から最低気温をひいて気温差を求め、下の表のようにまとめました。

調べたこと

日付	最高気温 (°C)	最低気温 (°C)	気温差 (°C)	日照時間 (時間)	最大瞬間風速 (m/秒)	降水量 (mm)
1日	20.9	6.9	14.0	5.8	7.4	0.0
2日	25.9	9.1	16.8	12.0	7.3	0.0
3日	27.3	12.8	14.5	10.3	8.2	0.0
4日	20.3	11.8	8.5	2.5	9.5	0.0
5日	23.5	9.4	14.1	9.9	11.9	0.5
6日	13.2	5.5	7.7	0.1	8.7	2.0
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
31日	20.9	9.2	11.7	2.2	9.1	0.0

○日照時間とは、1日のうちで、日光によってものの影ができた時間の合計のこと。

(3) 桃花さんは、前ページの気温差の度数分布表をもとに、横軸を気温差、縦軸を相対度数として度数分布多角形(度数折れ線)に表しました。



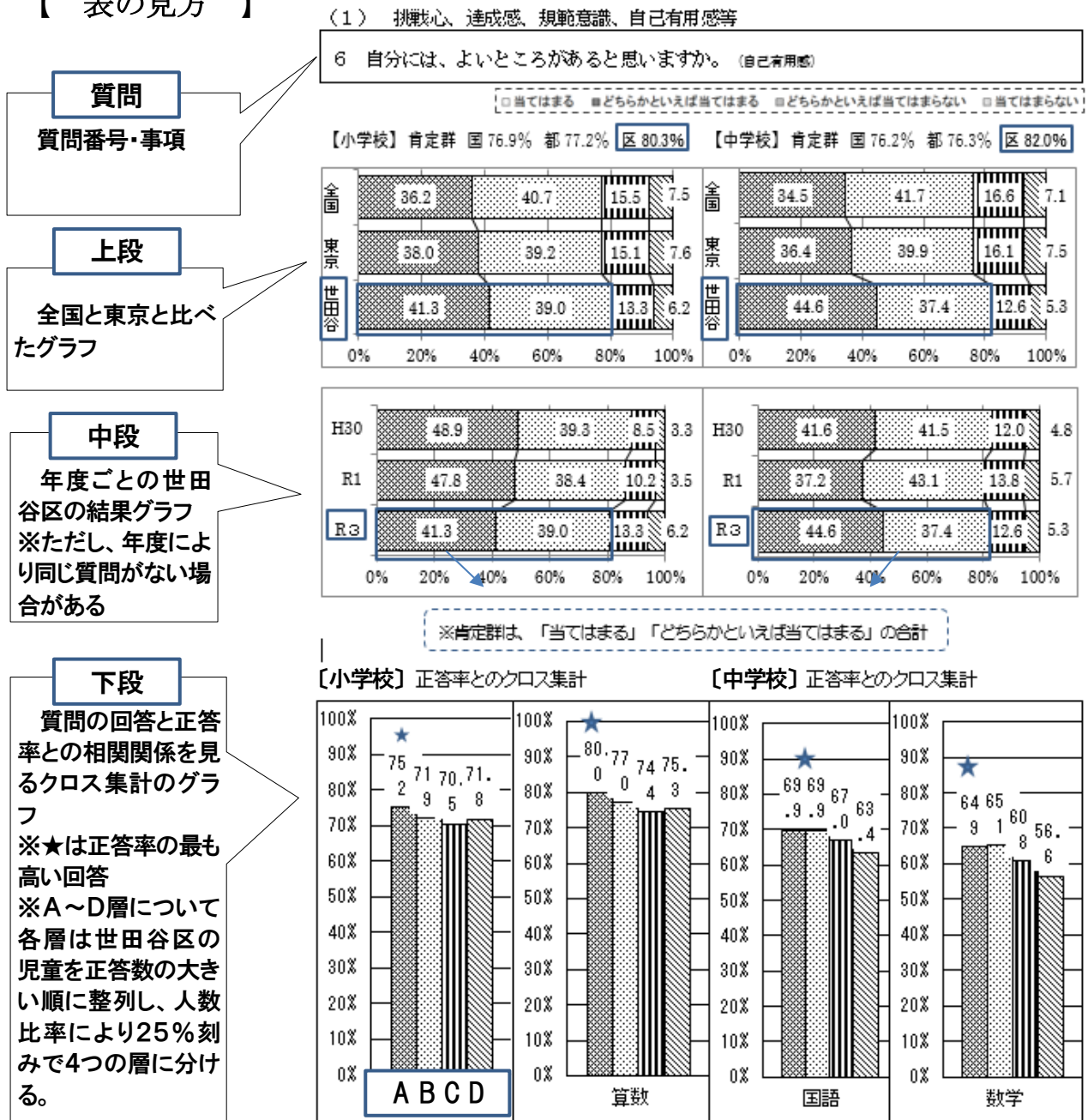
気温差の度数分布多角形から、「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、気温差の度数分布多角形の2つの度数分布多角形の特徴を比較して説明しなさい。

6 主な質問紙調査の結果

児童質問紙や生徒質問紙、学校質問紙から、以下の項目に分けた中で主な結果を表記する。

- (1) 挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等 - 16 -
- (2) 学習習慣、学習環境等 - 21 -
- (3) 地域や社会に関わる活動の状況等 - 27 -
- (4) ICT を活用した学習状況 - 28 -
- (5) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況 - 31 -
- (6) 総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科 道徳 - 34 -
- (7) 学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語） - 16 -
- (8) 学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数・数学） - 38 -
- (9) 学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語） - 41 -
- (10) 新型コロナウイルス感染症の影響 - 43 -

【 表の見方 】



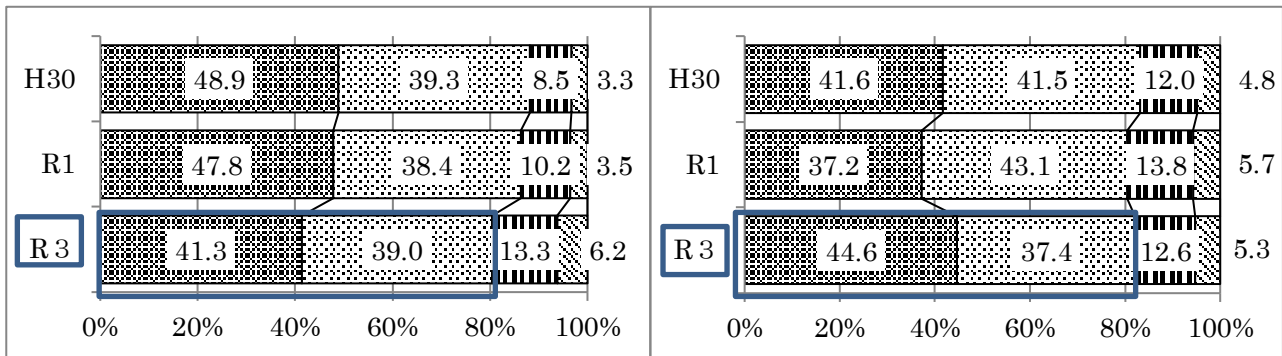
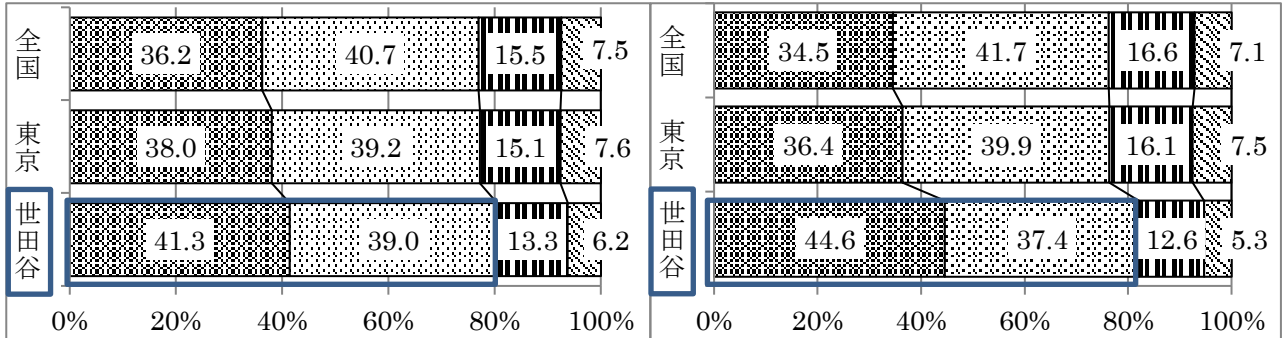
(1) 挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等

6 自分には、よいところがあると思いますか。(自己有用感)

□当てはまる ■どちらかといえば当てはまる ▨どちらかといえば当てはまらない □当てはまらない

【小学校】肯定群 国 76.9% 都 77.2% **区 80.3%**

【中学校】肯定群 国 76.2% 都 76.3% **区 82.0%**

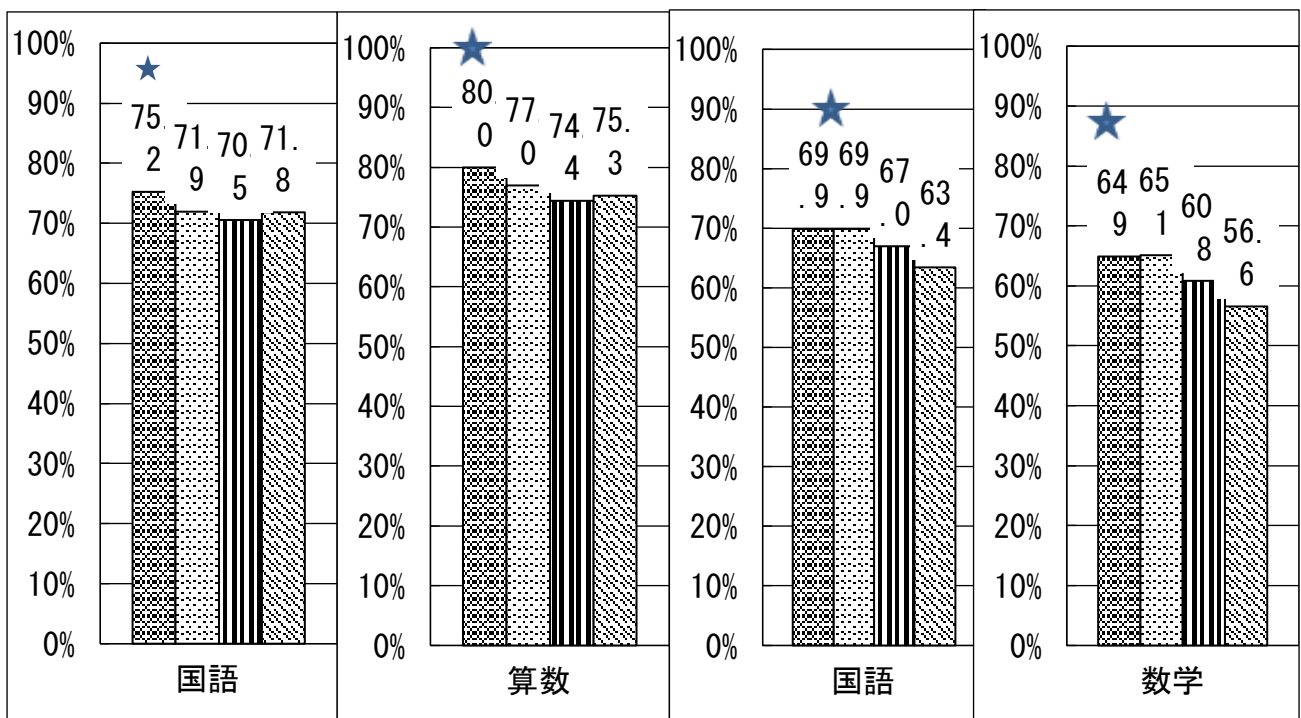


※肯定群は、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計

【小学校】

正答率とのクロス集計

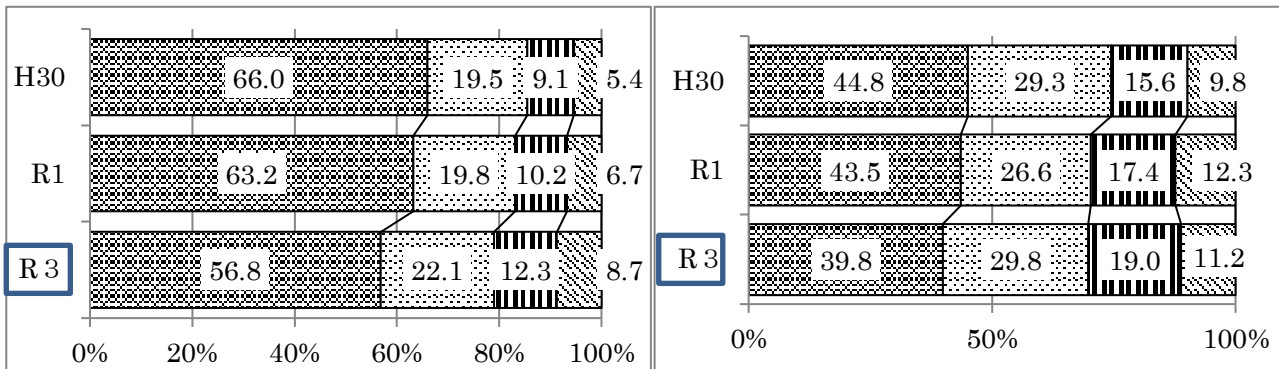
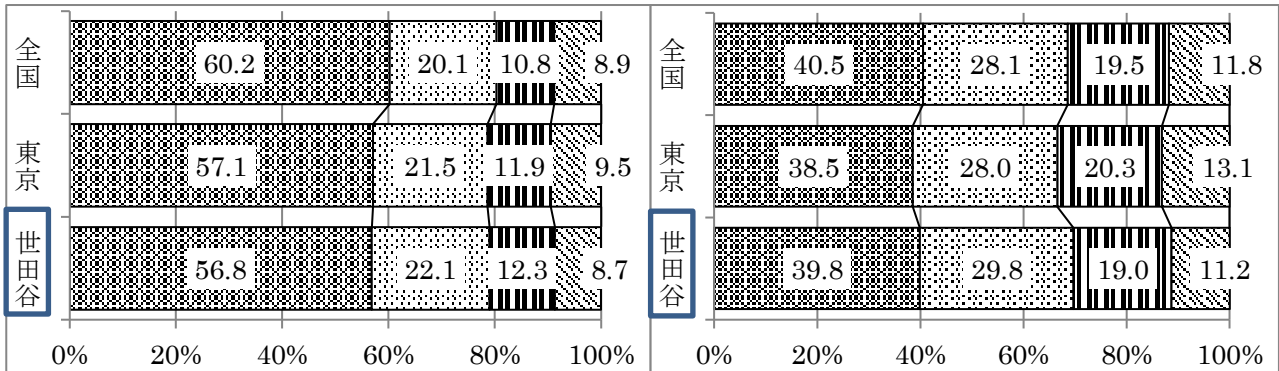
【中学校】



7 将来の夢や目標を持っていますか。(挑戦心：キャリア形成)

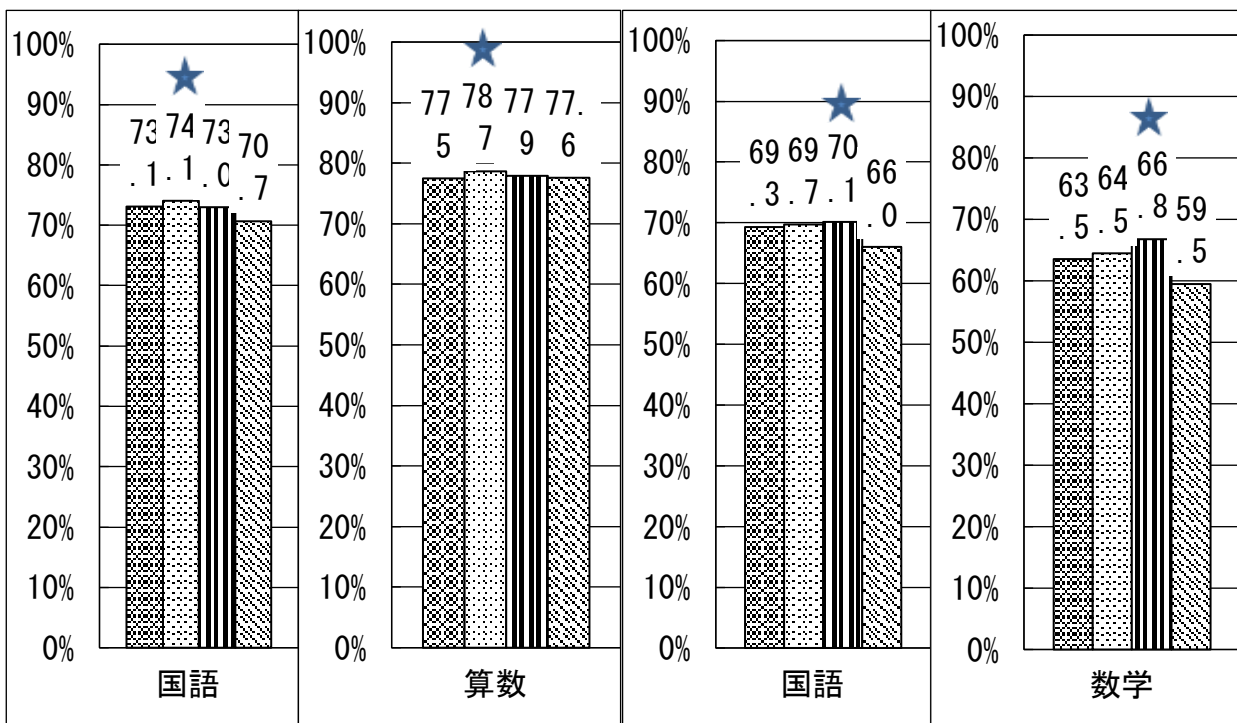
□当てはまる ■どちらかといえば当てはまる ▨どちらかといえば当てはまらない □当てはまらない

【小学校】肯定群 国 80.3% 都 78.6% **区 78.9%** 【中学校】肯定群 国 68.6% 都 66.5% **区 69.6%**



※肯定群は、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計

【小学校】 正答率とのクロス集計 【中学校】

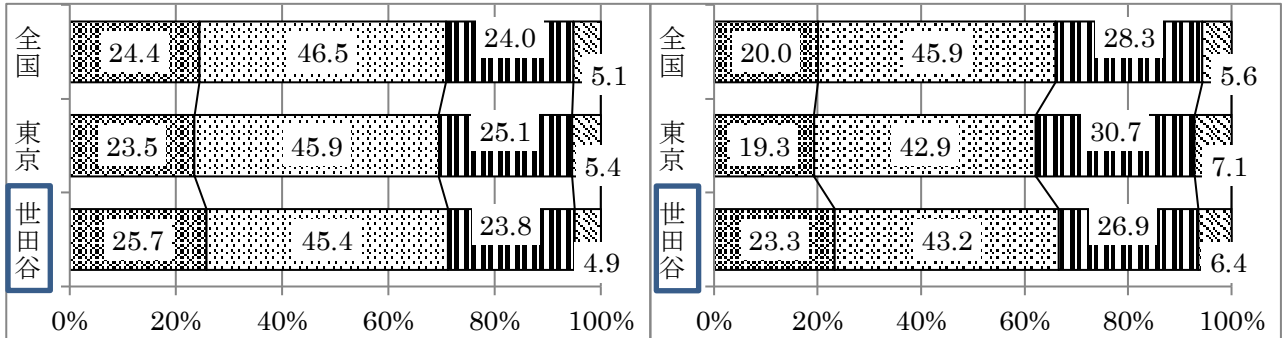


9 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。(挑戦心)

□当てはまる ■どちらかといえば当てはまる ▨どちらかといえば当てはまらない □当てはまらない

【小学校】肯定群 国 70.9% 都 69.4% **区 71.1%**

【中学校】肯定群 国 65.9% 都 62.2% **区 66.5%**

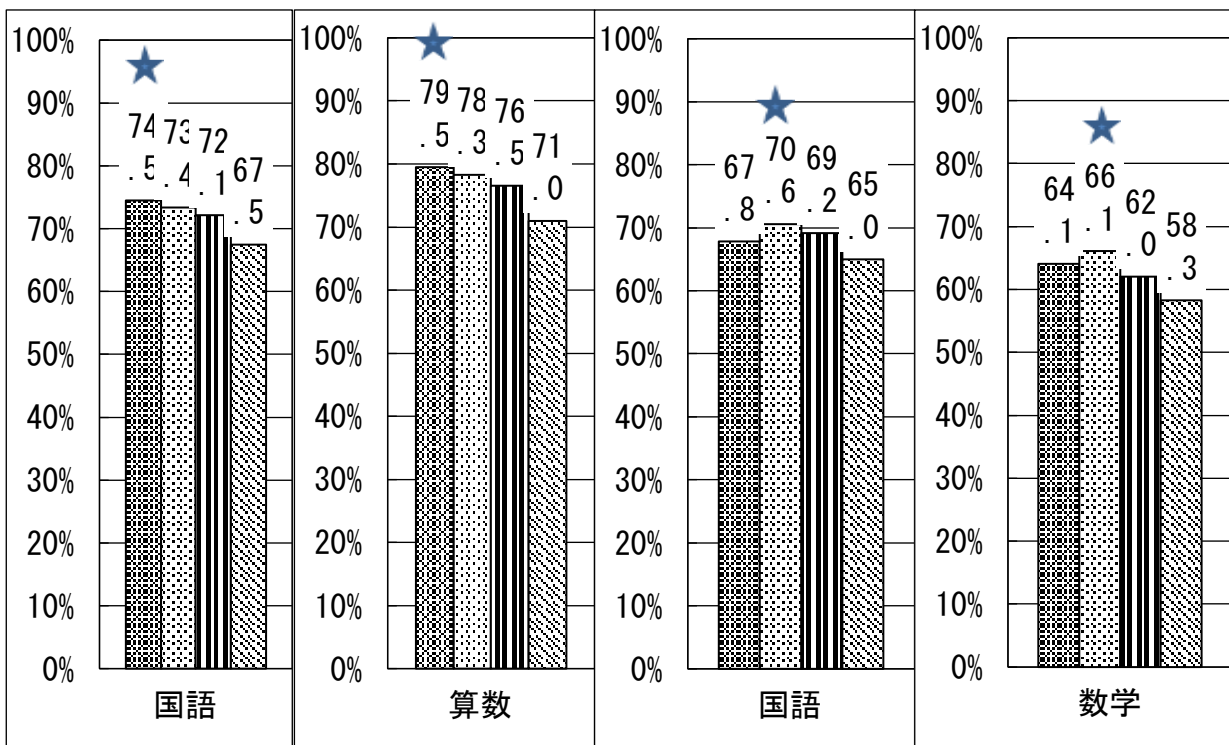


※肯定群は、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計

【小学校】

正答率とのクロス集計

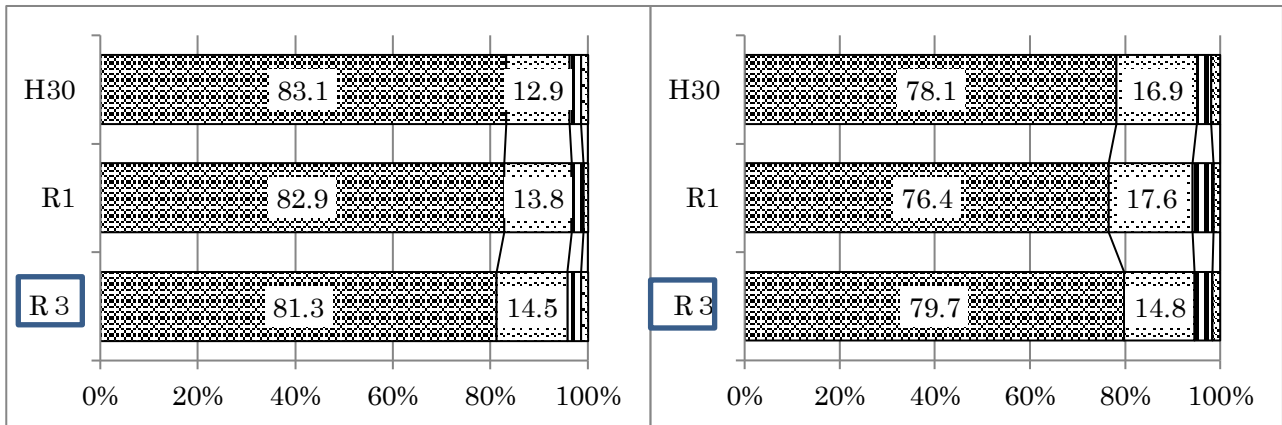
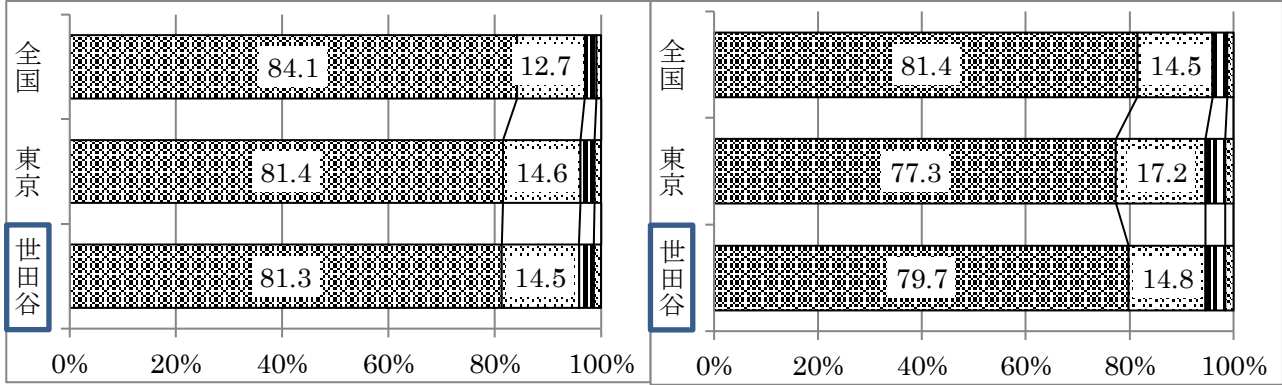
【中学校】



11 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。(規範意識)

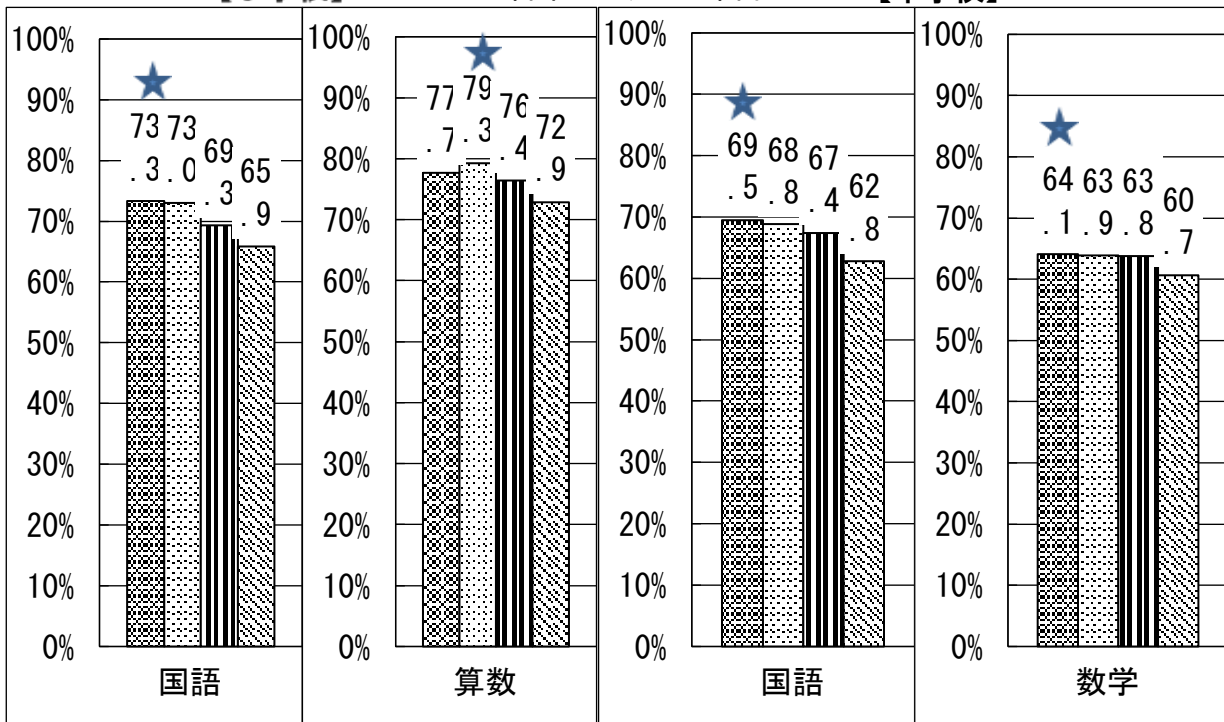
□当てはまる ■どちらかといえば当てはまる □どちらかといえば当てはまらない □当てはまらない

【小学校】肯定群 国 96.8% 都 96.0% **区 95.8%** 【中学校】肯定群 国 95.9% 都 94.5% **区 94.5%**



※肯定群は、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計

【小学校】 正答率とのクロス集計 【中学校】

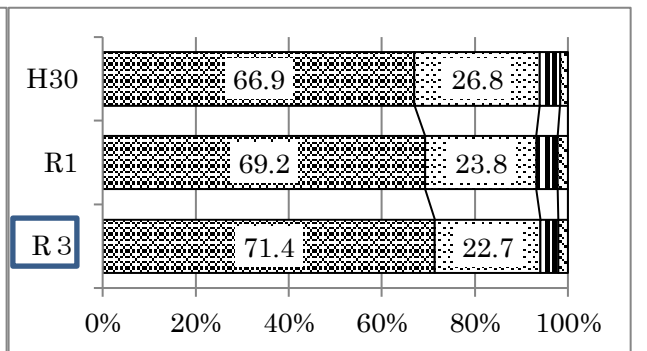
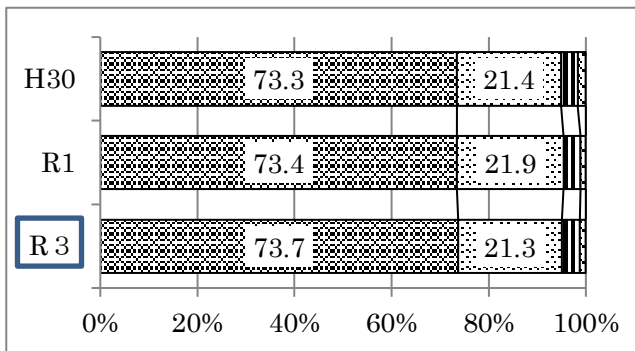
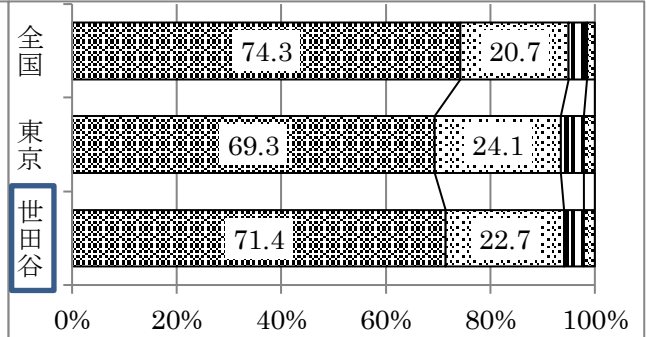
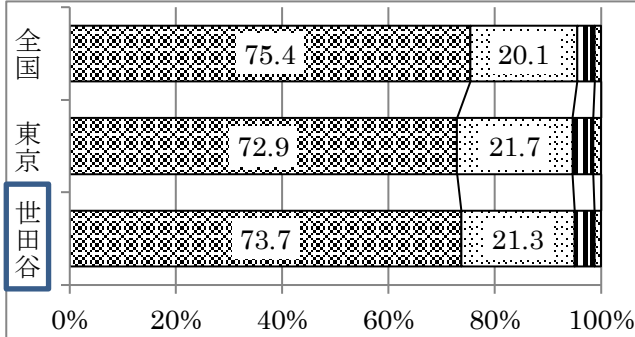


12 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。(自己有用感)

□当てはまる ■どちらかといえば当てはまる ▨どちらかといえば当てはまらない □当てはまらない

【小学校】肯定群 国 96.3% 都 96.0% **区 95.0%**

【中学校】肯定群 国 95.0% 都 93.4% **区 94.1%**

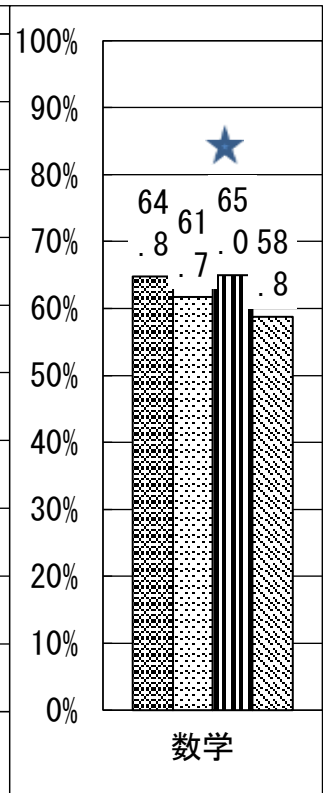
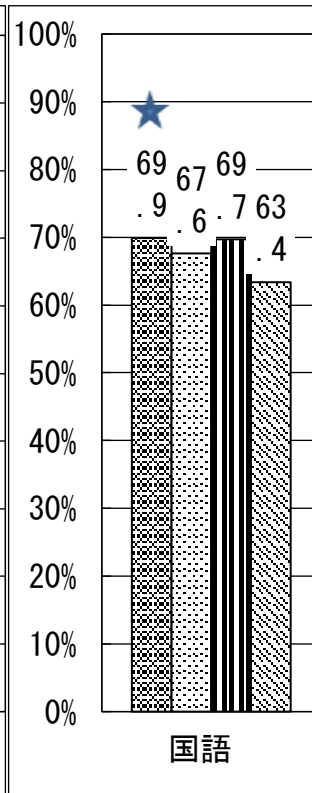
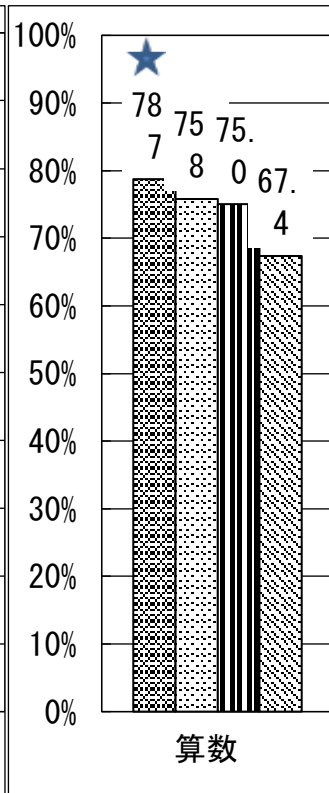
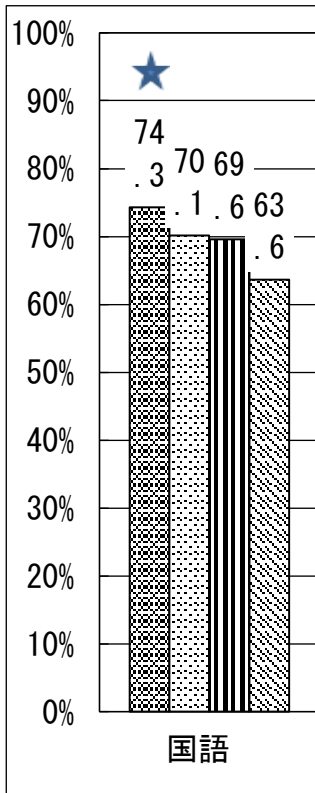


※肯定群は、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計

【小学校】

正答率とのクロス集計

【中学校】



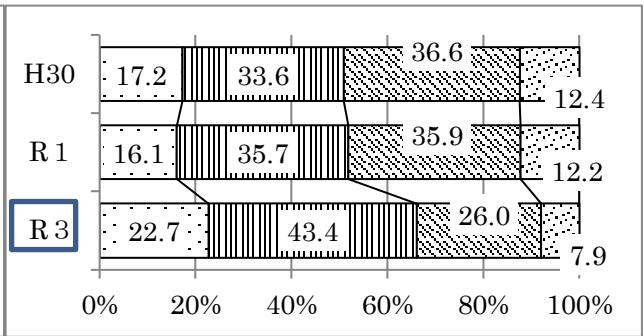
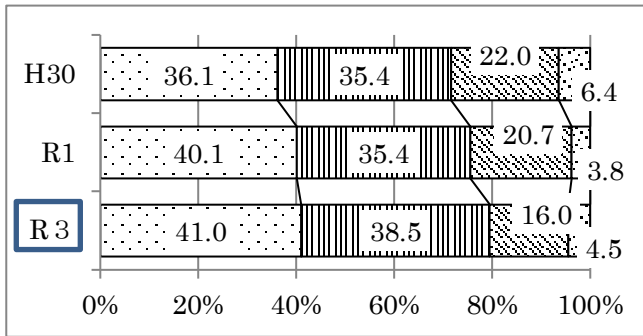
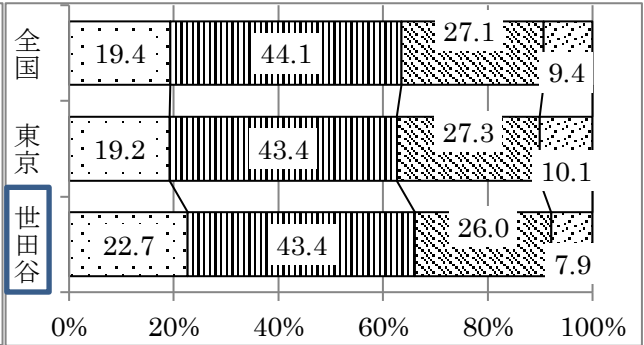
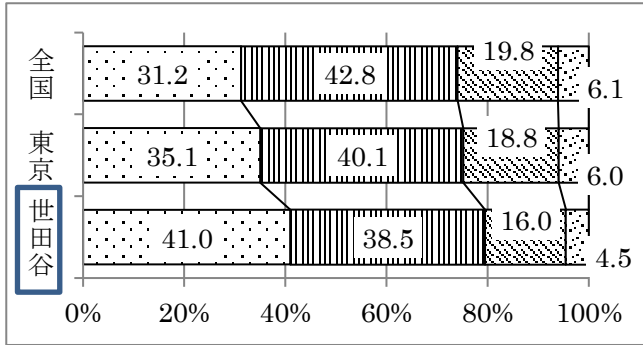
(2) 学習習慣、学習環境等

17 家で自分で計画を立てて勉強していますか。(学習習慣)

□当てはまる ■どちらかといえば当てはまる ▨どちらかといえば当てはまらない □当てはまらない

【小学校】肯定群 国 74.0% 都 75.2% **区 79.5%**

【中学校】肯定群 国 63.5% 都 62.6% **区 66.1%**

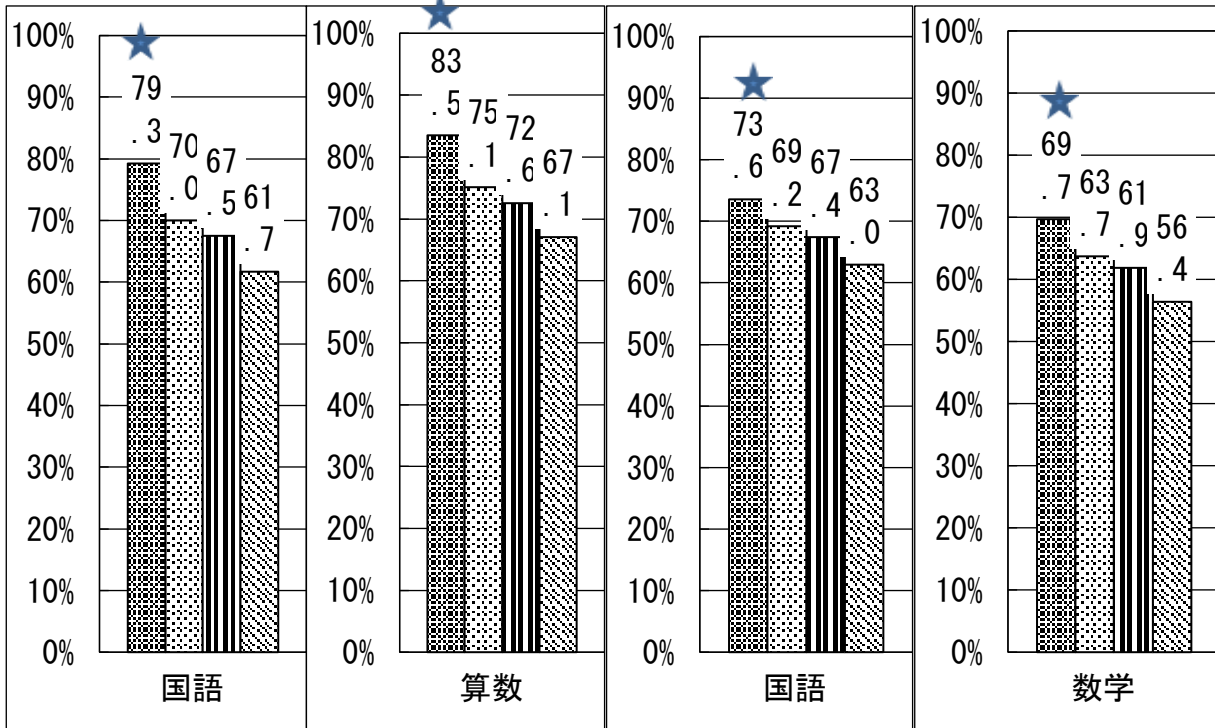


※肯定群は、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計

【小学校】

正答率とのクロス集計

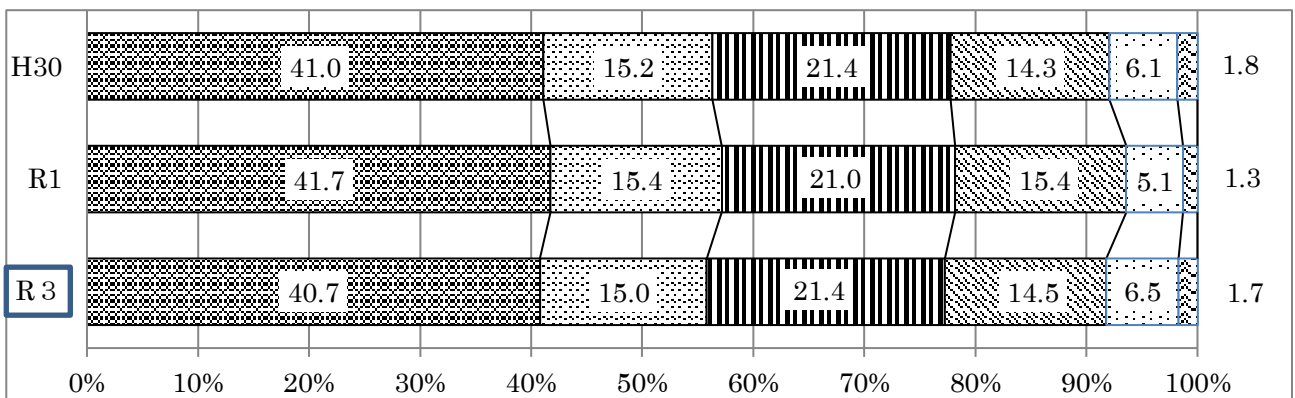
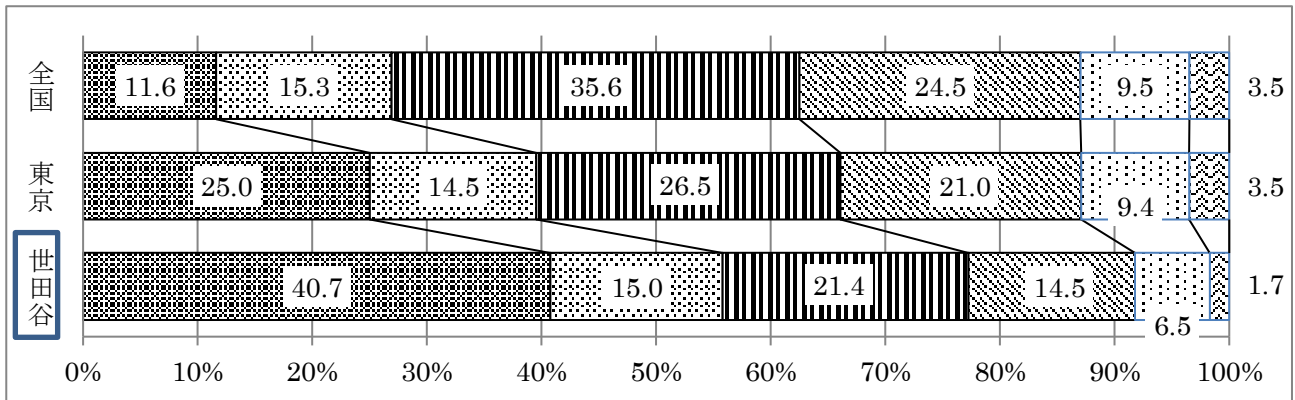
【中学校】



18 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）（学習習慣）

3時間以上
 2時間以上、3時間より少ない
 1時間以上、2時間より少ない
 30分以上、1時間より少ない
 30分より少ない
 全くしない

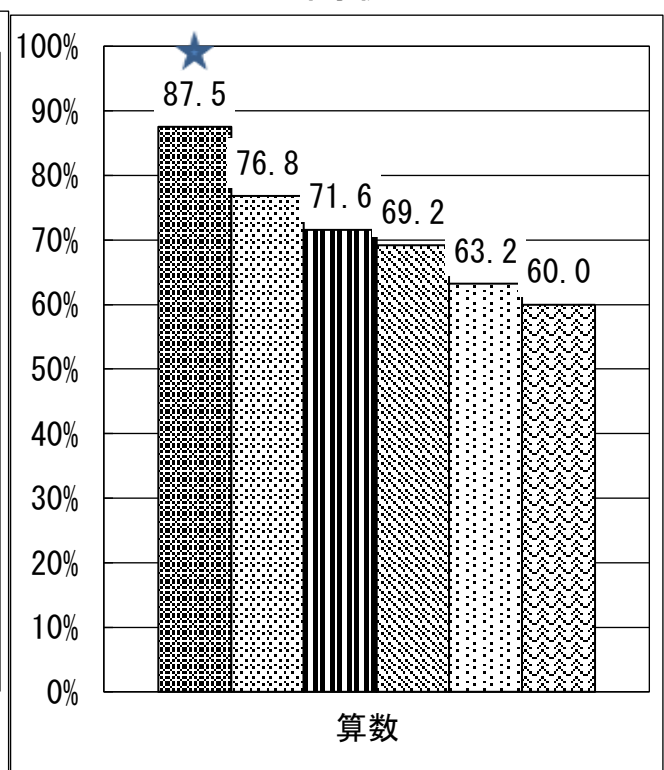
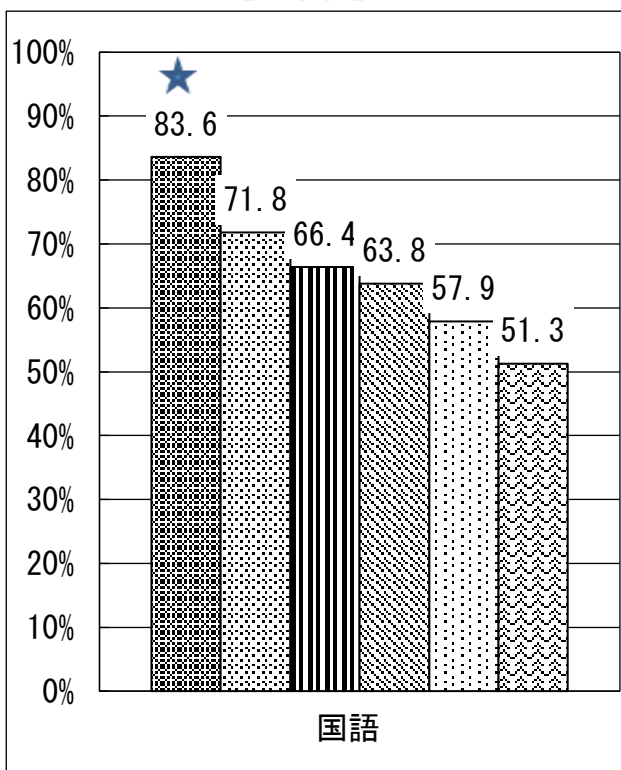
【小学校】



【小学校】

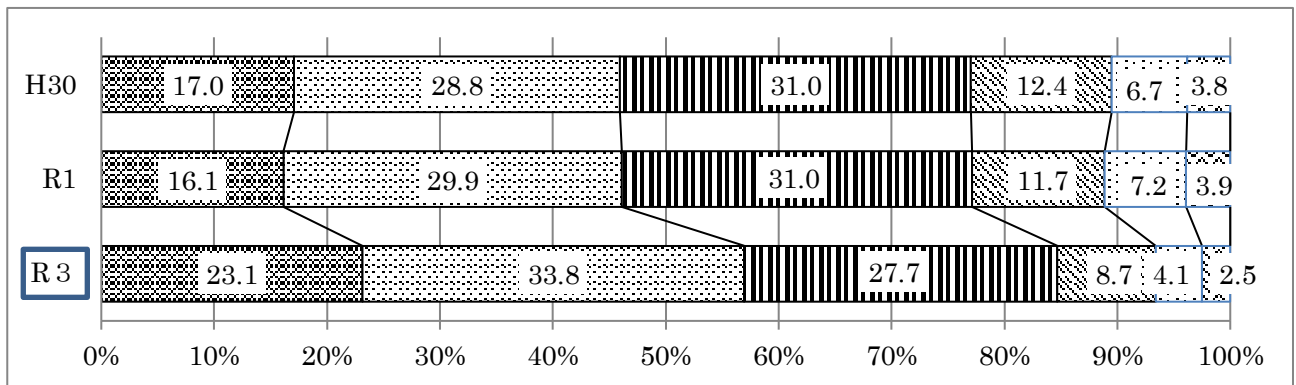
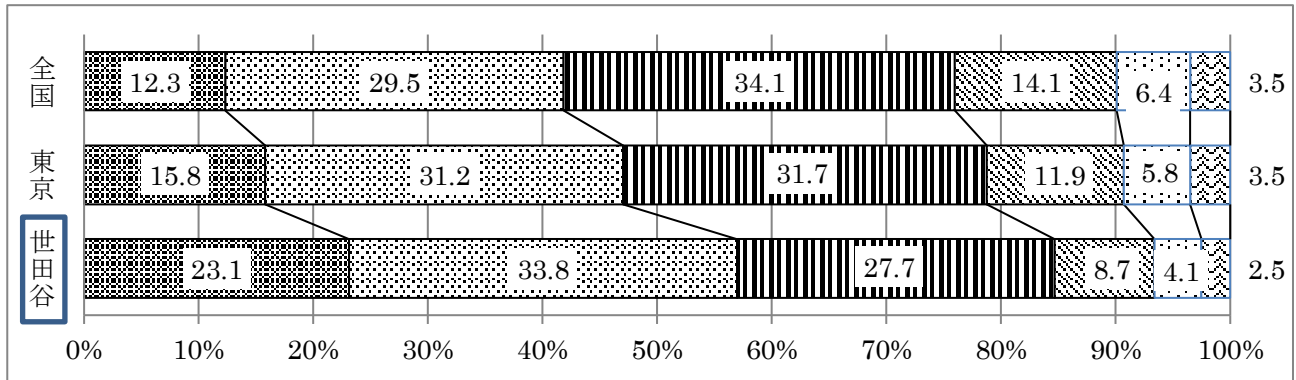
正答率とのクロス集計

【中学校】



3時間以上
 2時間以上、3時間より少ない
 1時間以上、2時間より少ない
 30分以上、1時間より少ない
 30分より少ない
 全くしない

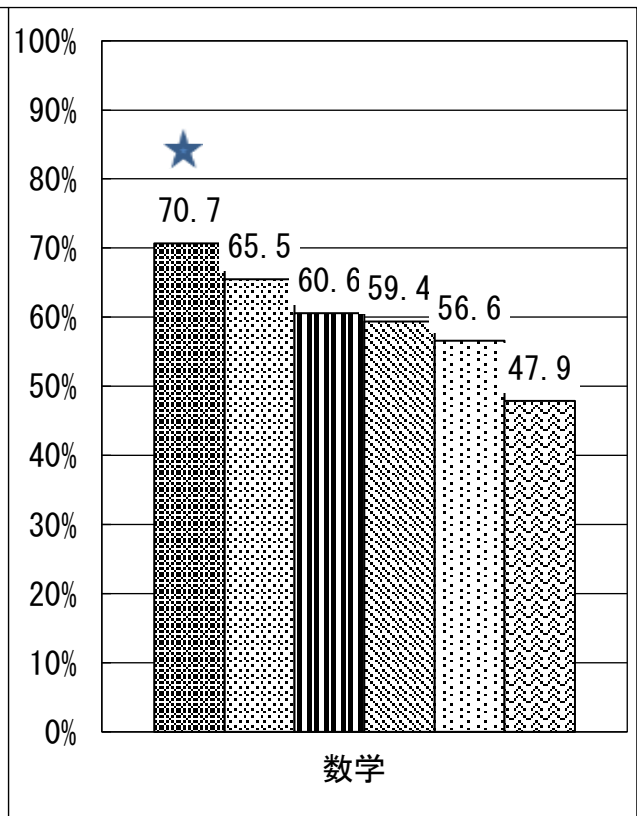
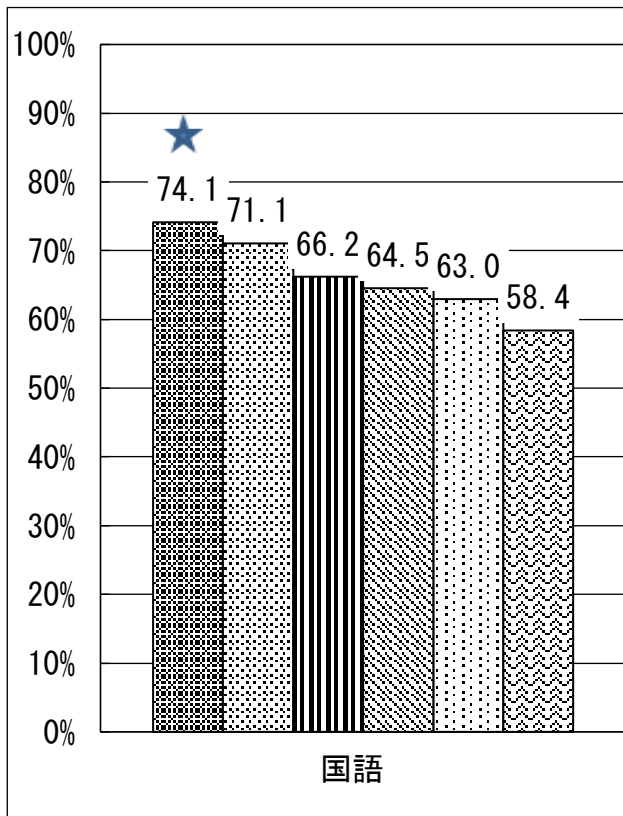
【中学校】



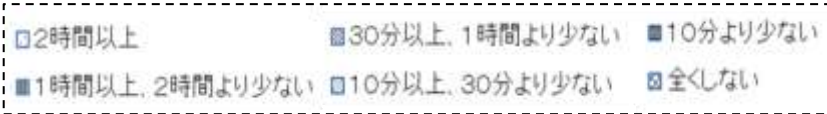
【小学校】

正答率とのクロス集計

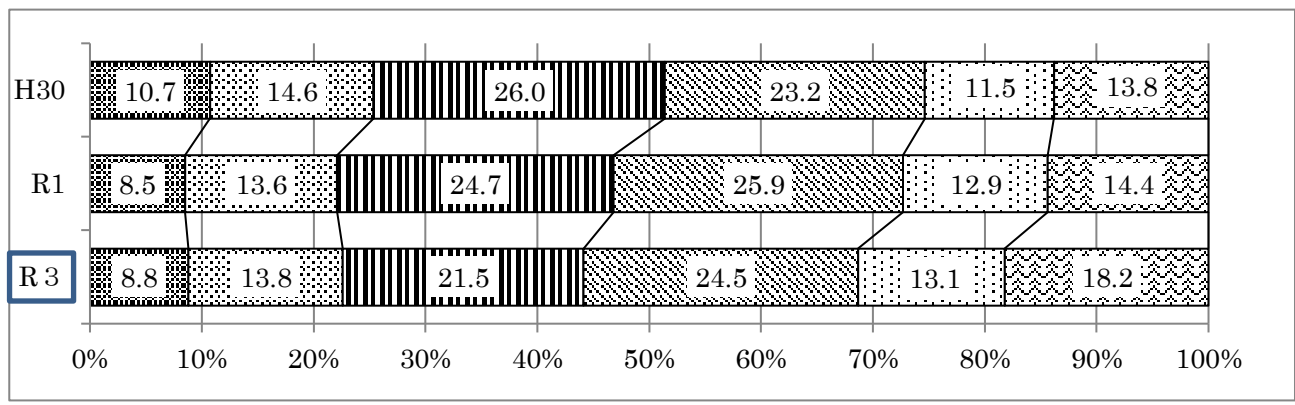
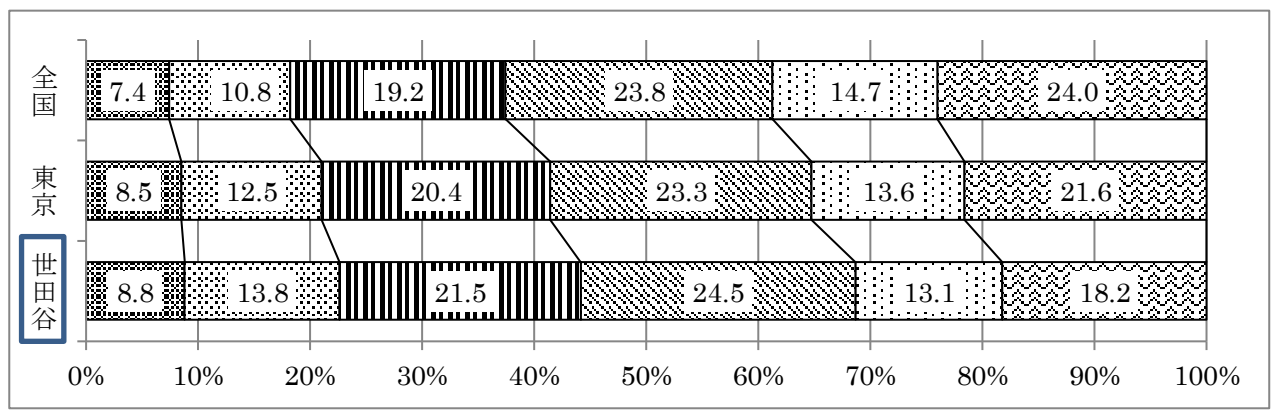
【中学校】



21 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか。（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）（学習環境）



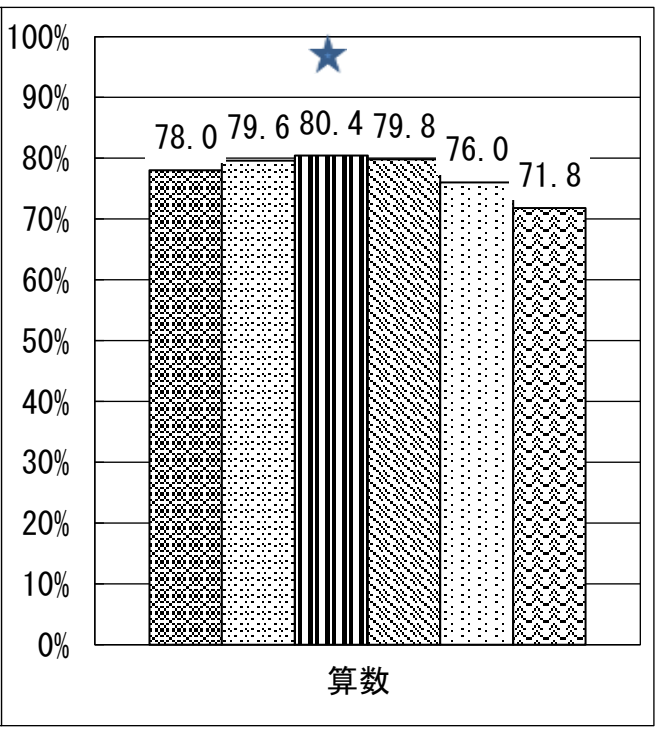
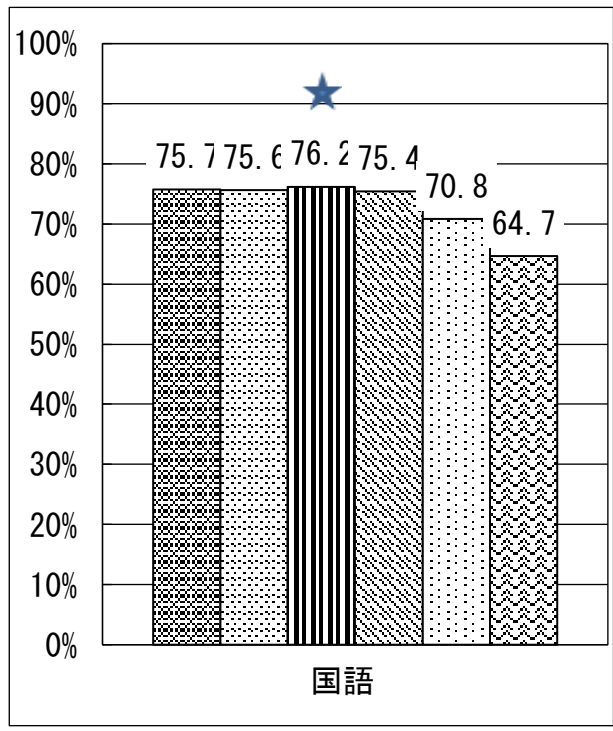
【小学校】

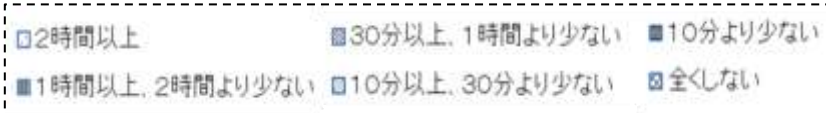


【小学校】

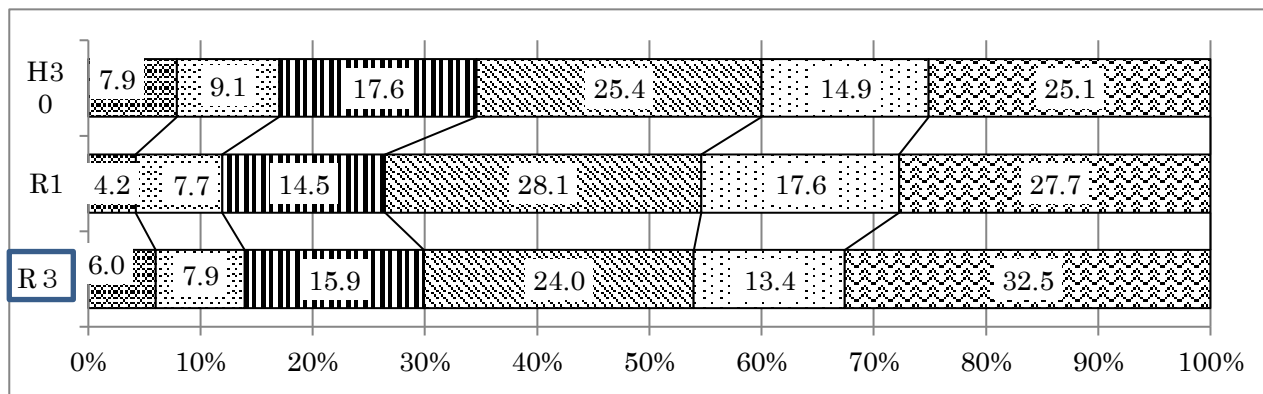
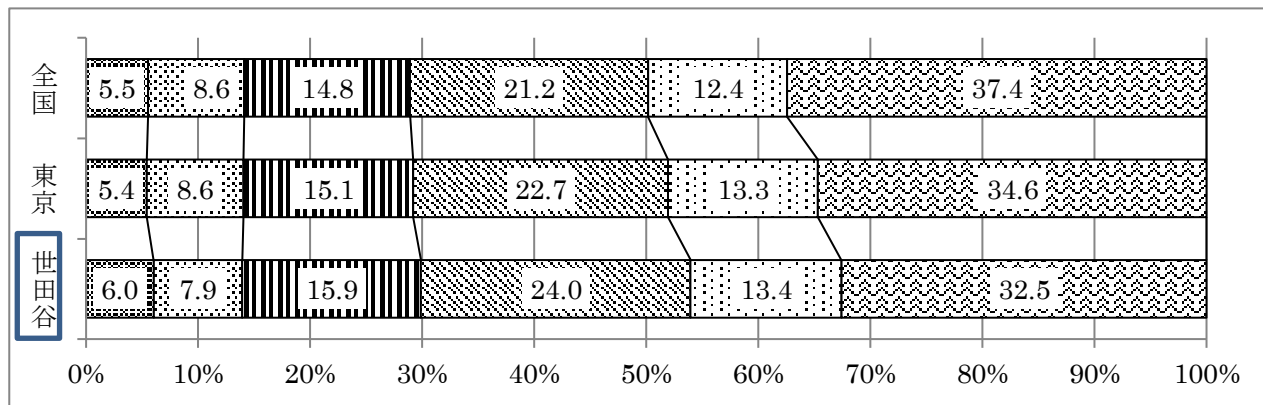
正答率とのクロス集計

【中学校】





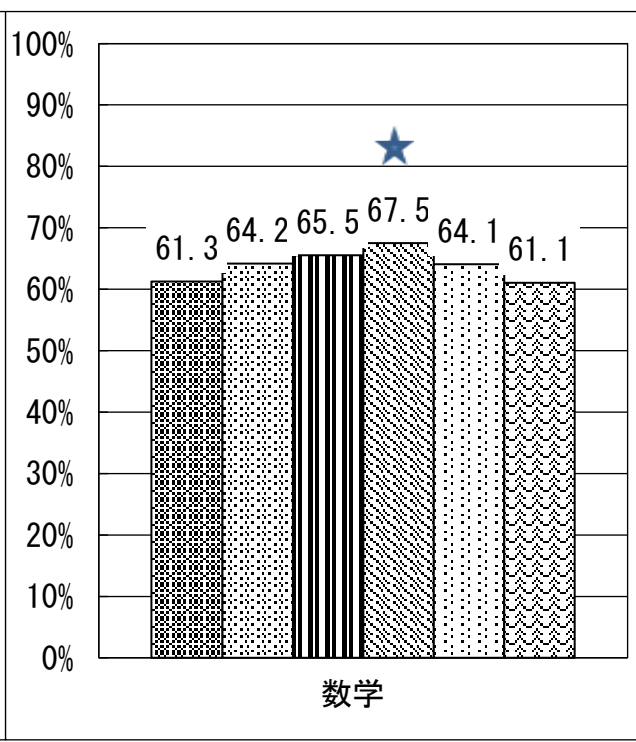
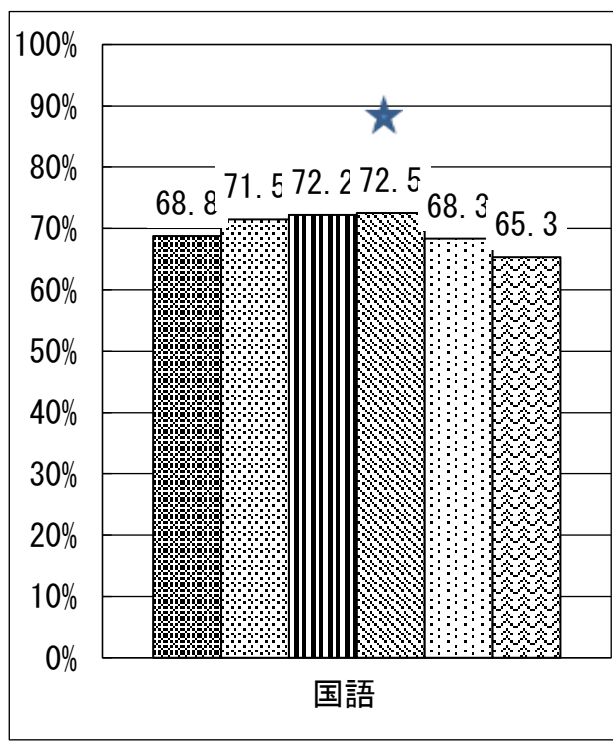
【中学校】



【小学校】

正答率とのクロス集計

【中学校】

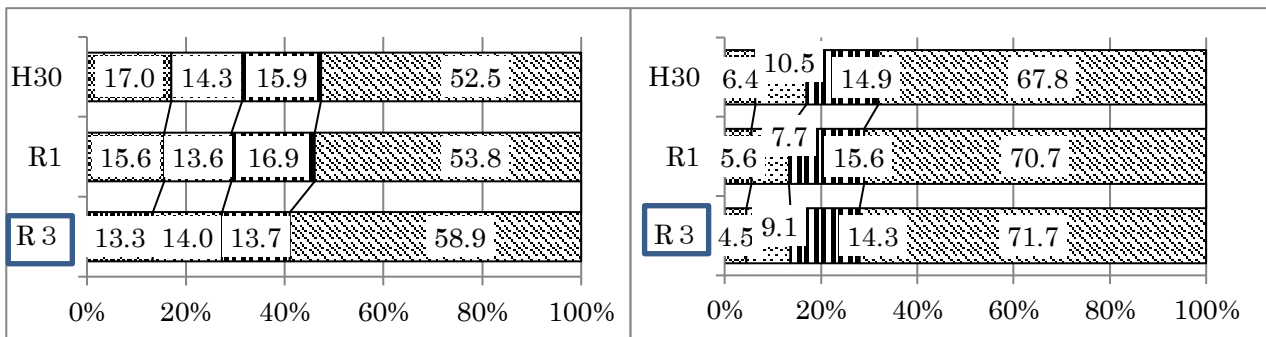
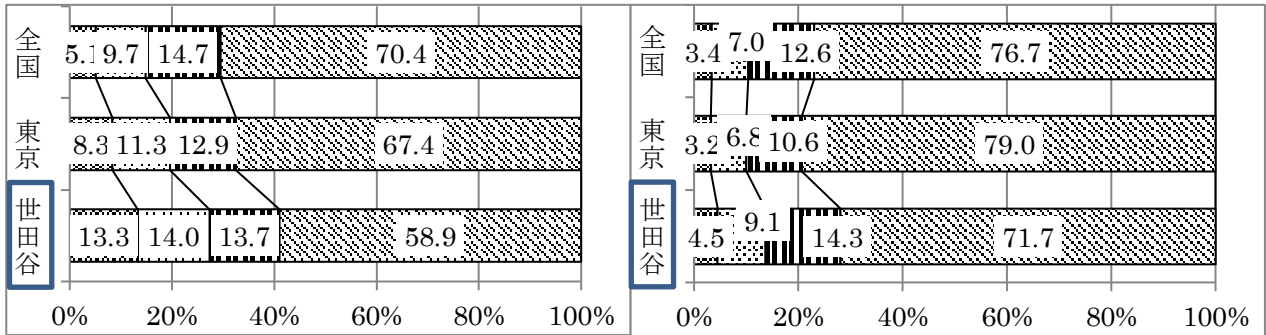


2 3 新聞を読んでいますか。(学習環境)

ほぼ毎日読んでいる
 週に1～3回程度読んでいる
 月に1～3回程度読んでいる
 ほとんど、または、全く読まない

【小学校】

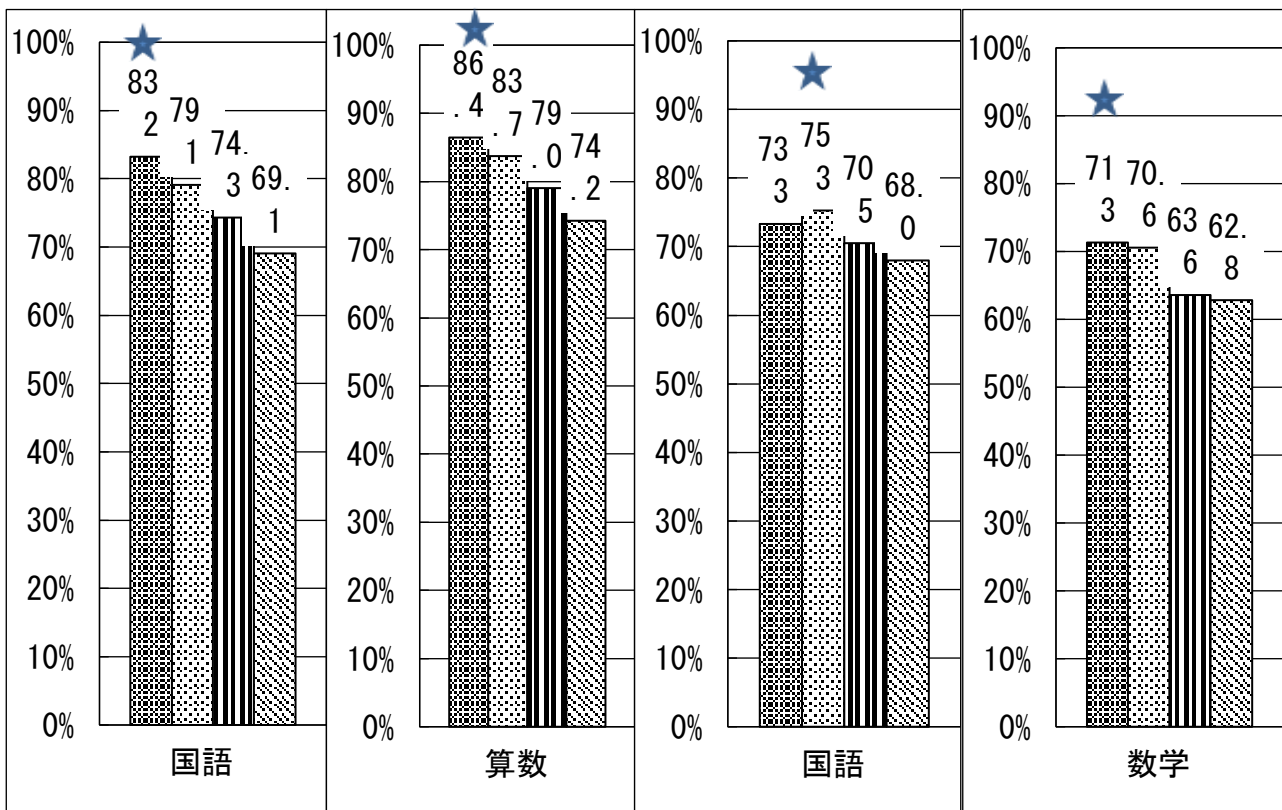
【中学校】



【小学校】

正答率とのクロス集計

【中学校】



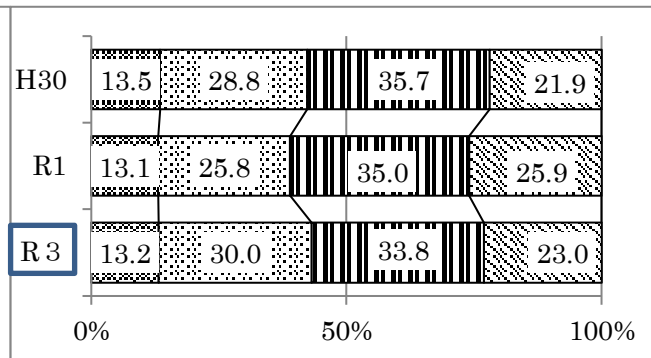
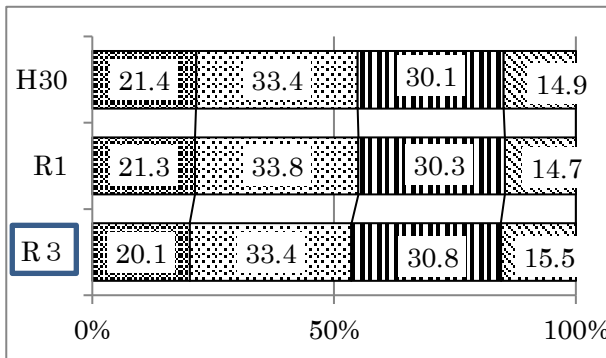
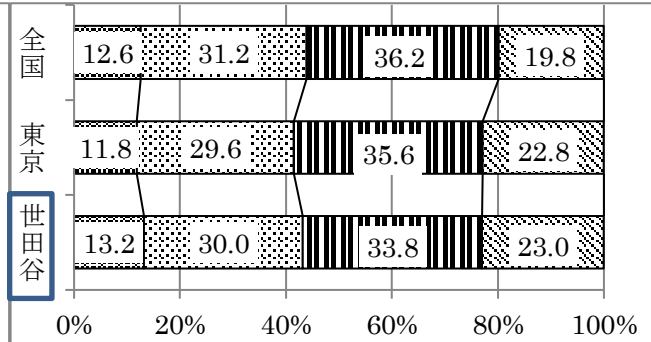
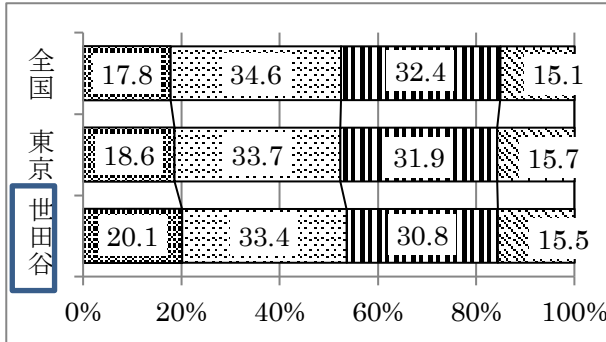
(3) 地域や社会に関わる活動の状況等

25 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。(キャリア形成)

□当てはまる ■どちらかといえば当てはまる ▨どちらかといえば当てはまらない □当てはまらない

【小学校】肯定群 国 52.4% 都 52.3% **区 53.5%**

【中学校】肯定群 国 43.8% 都 41.4% **区 43.2%**

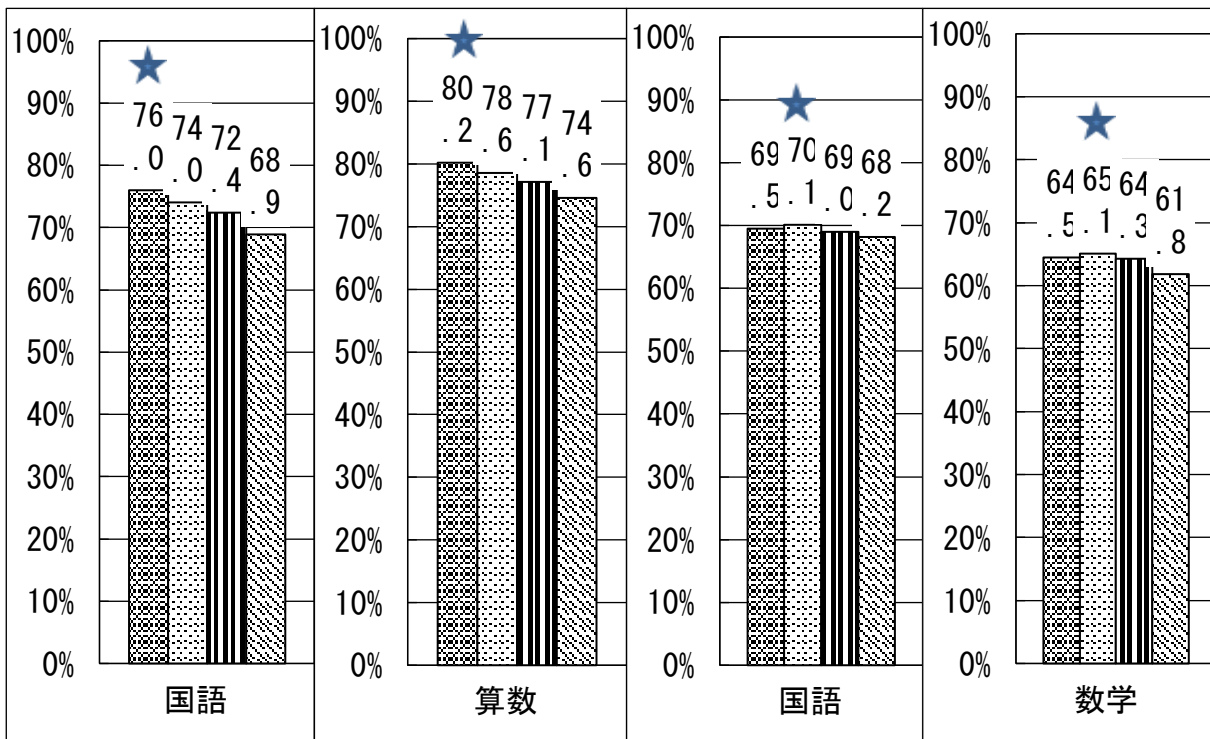


※肯定群は、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計

【小学校】

正答率とのクロス集計

【中学校】

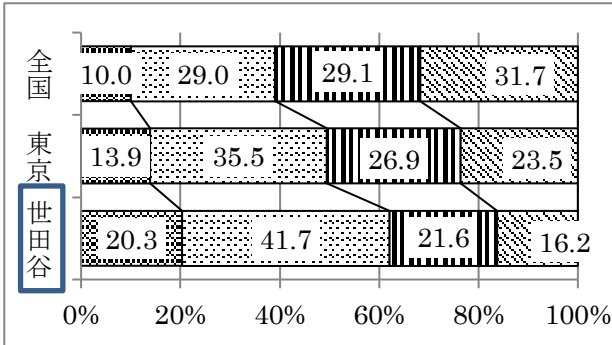


(4) ICTを活用した学習状況

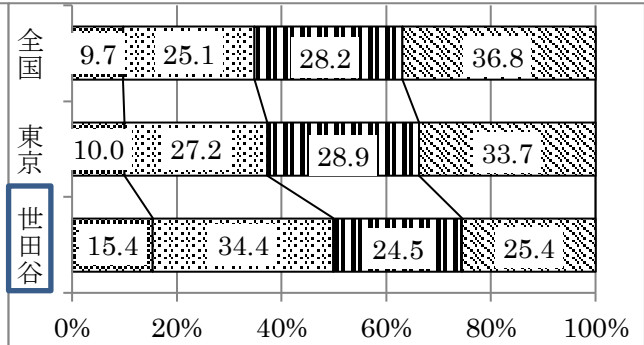
27 あなたは学校で、コンピューターなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか。(ICT活用)

■1.ほぼ毎日 ■2.週1回以上 ■3.月1回以上 ■4.月1回未満

【小学校】



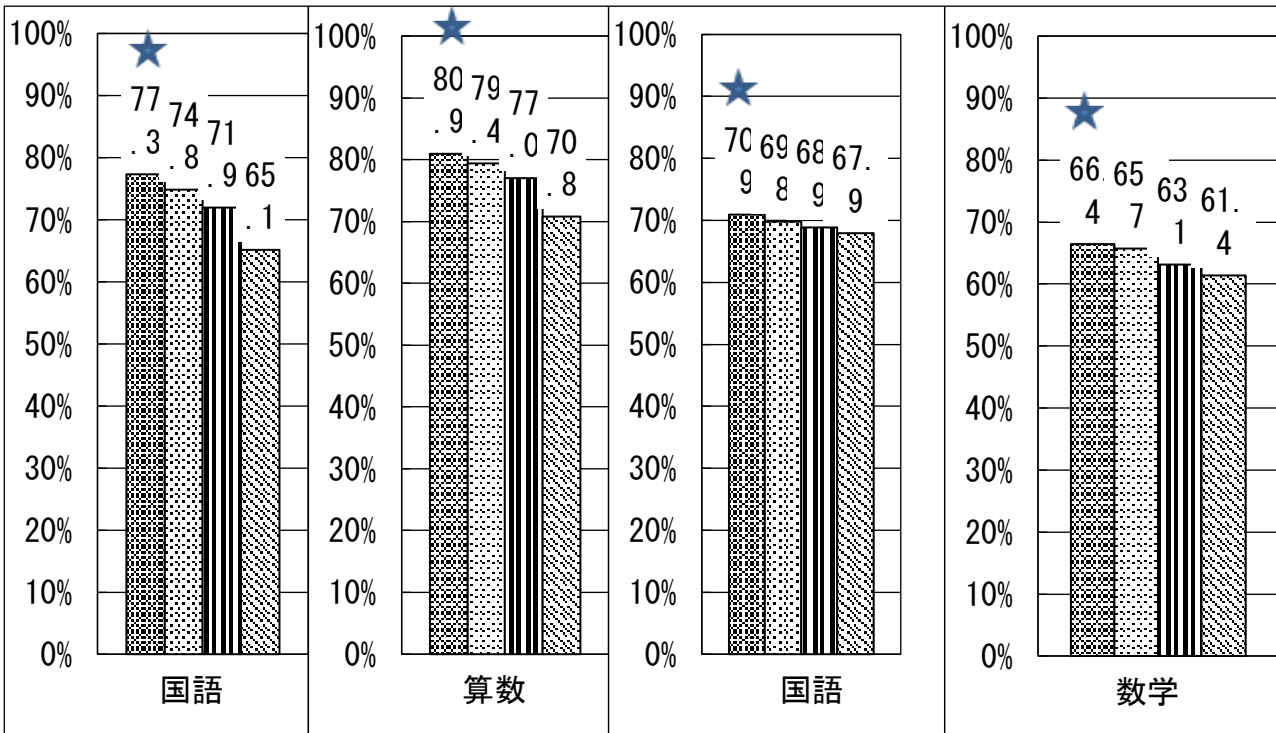
【中学校】



【小学校】

正答率とのクロス集計

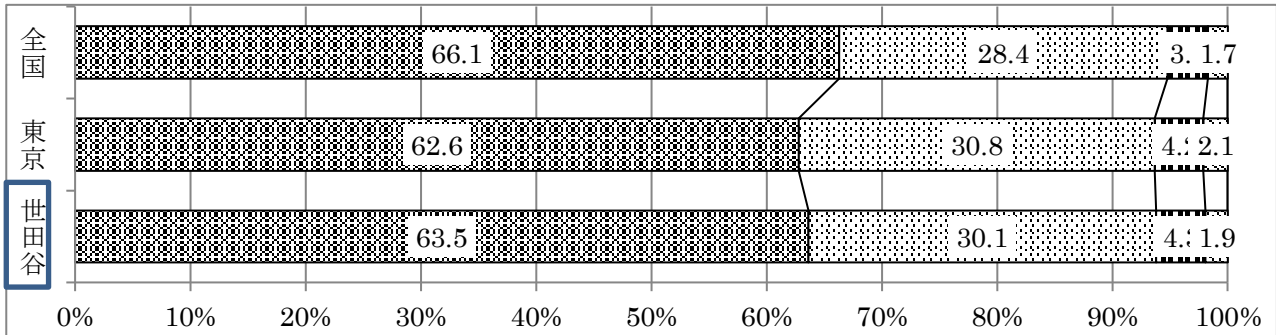
【中学校】



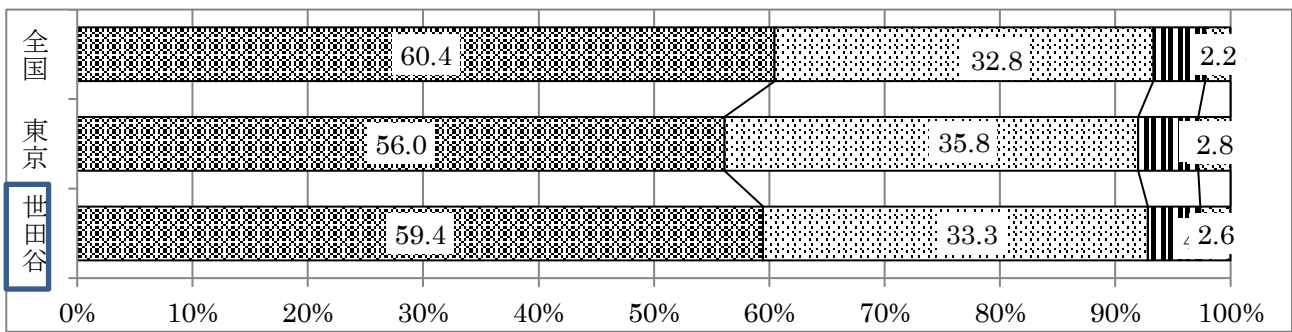
28 学習の中でコンピューターなどの ICT 機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。
(ICT活用)

■1.役に立つと思う ■2.どちらかといえば、役に立つと思う ■3.どちらかといえば、役に立たないと思う ■4.役に立たないと思う

【小学校】



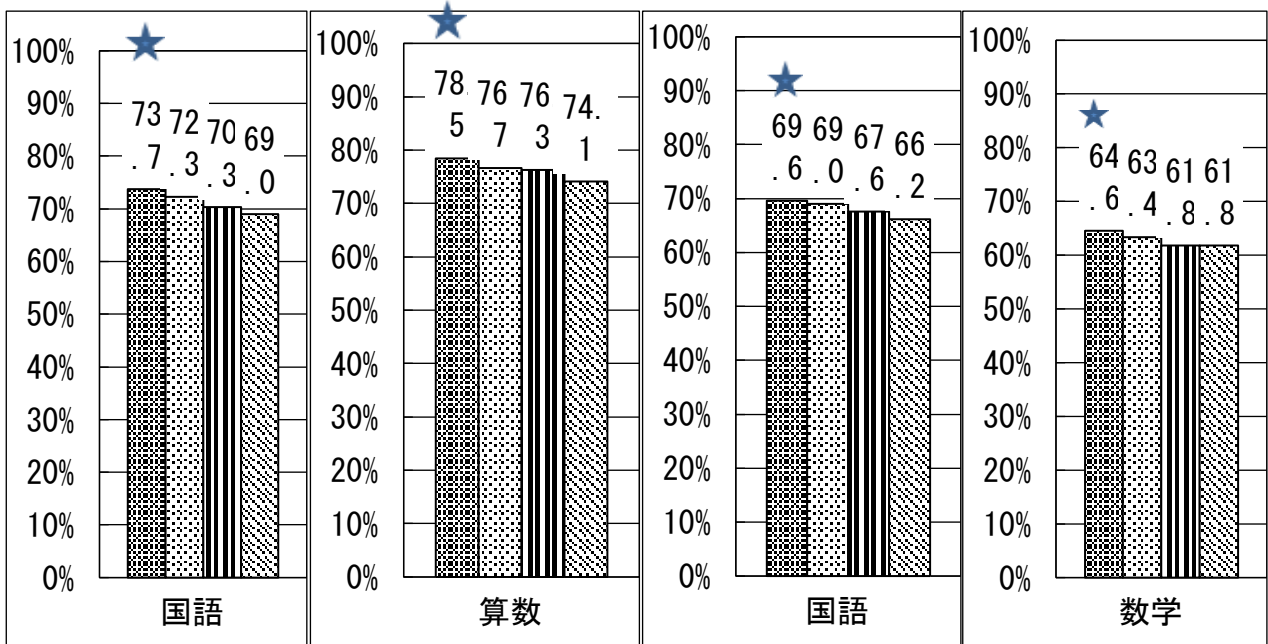
【中学校】



【小学校】

正答率とのクロス集計

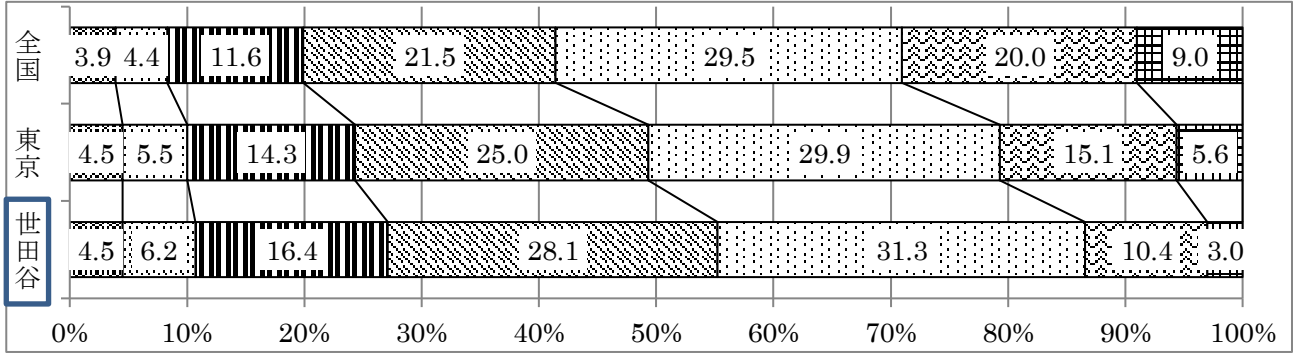
【中学校】



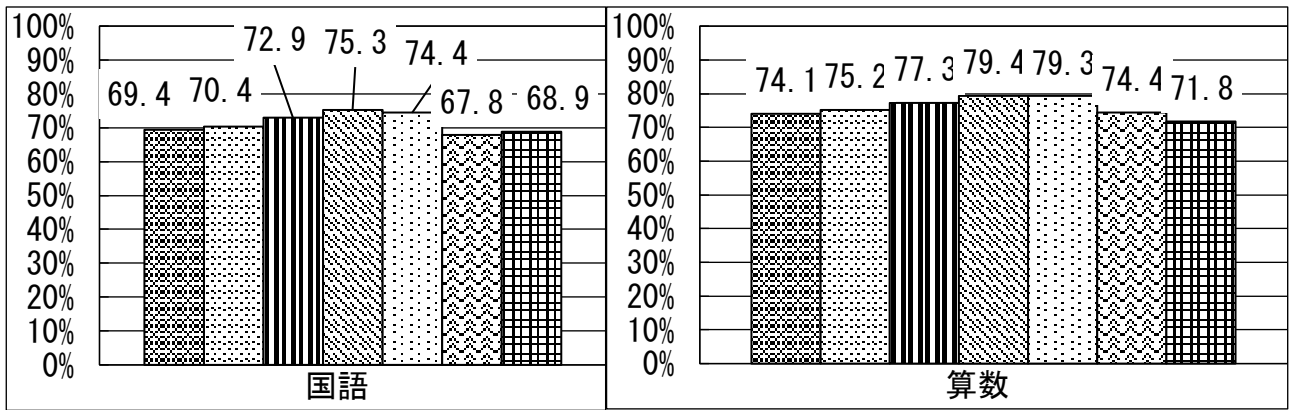
29 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか。（ICT活用）

- ※1. 3時間以上
- ※2. 2時間以上、3時間より少ない
- ※3. 1時間以上、2時間より少ない
- ※4. 30分以上、1時間より少ない
- ※5. 30分より少ない
- ※6. 全く使っていない
- ※7. スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を持っていない
- ※その他
- 無回答

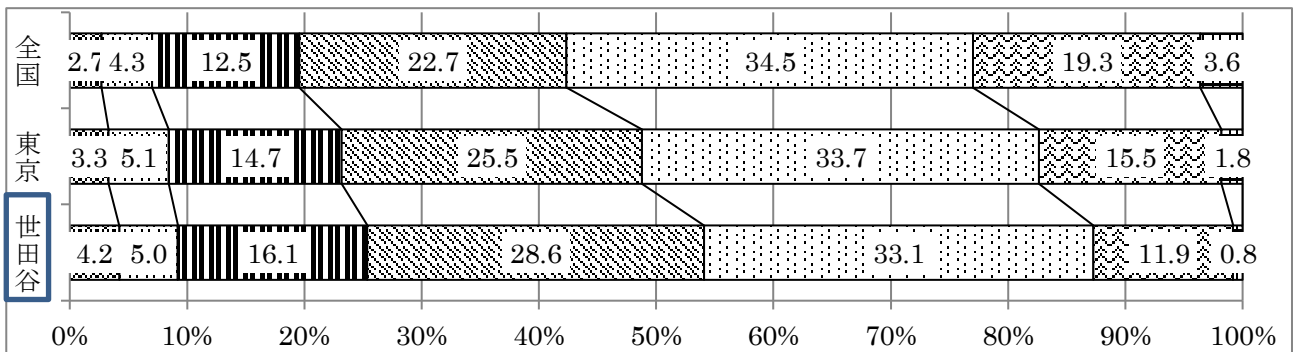
【小学校】



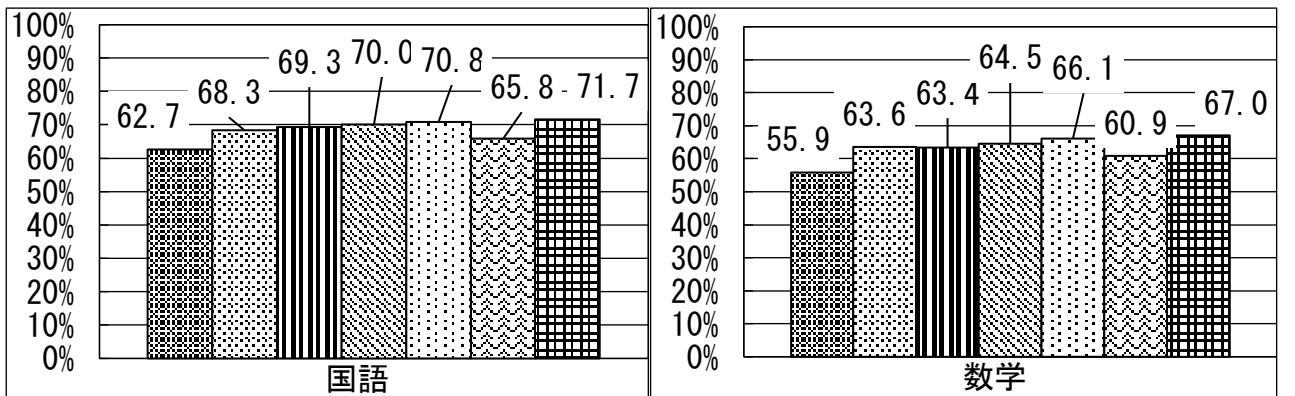
正答率とのクロス集計



【中学校】



正答率とのクロス集計

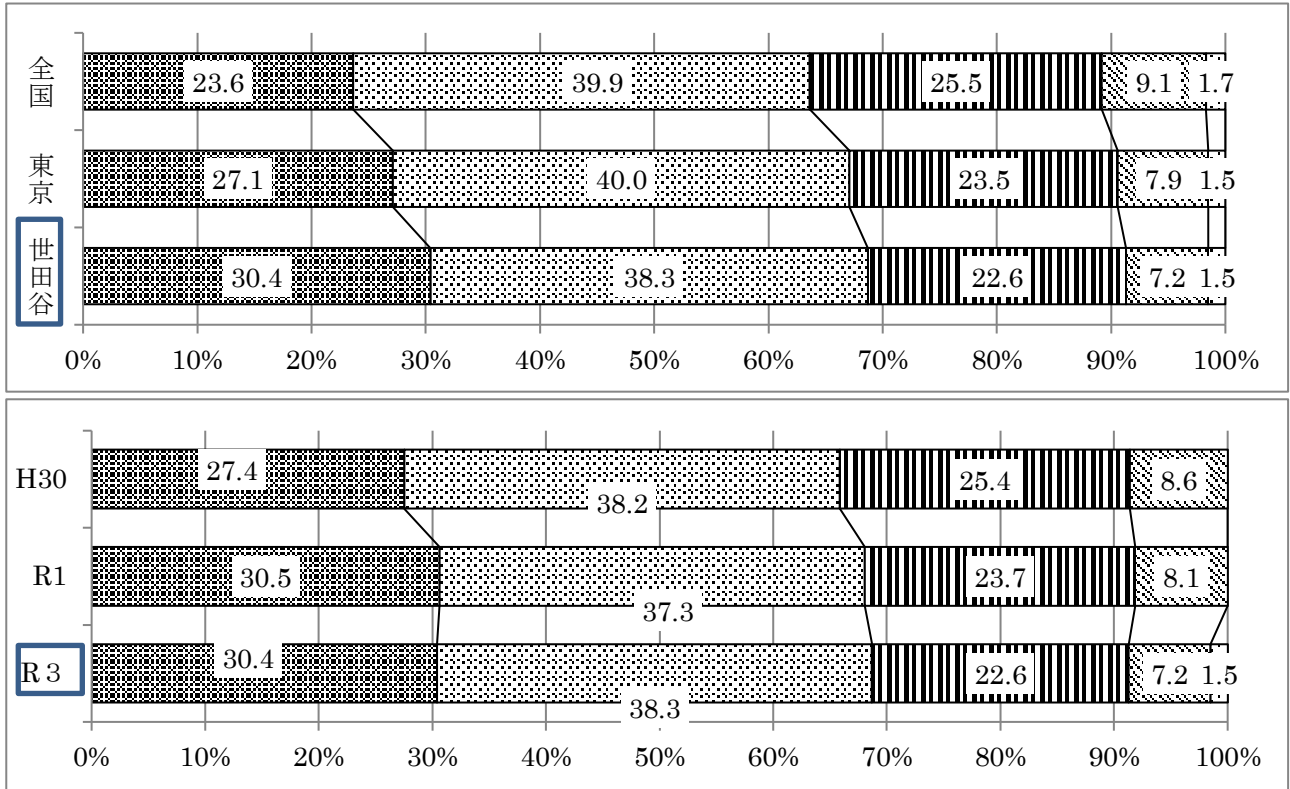


(5) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

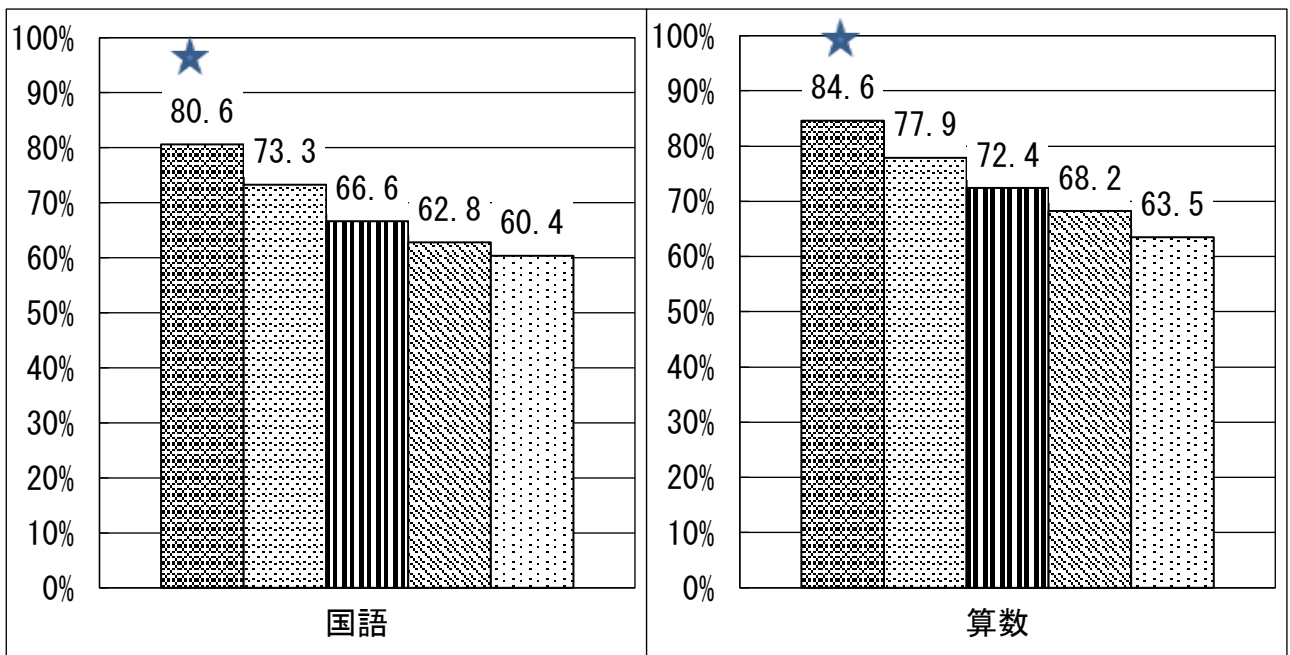
3 2 5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか。（学習意欲）※令和3年度調査においては、選択肢「考えを発表する機会はなかった」が追加

■1.発表していた ■2.どちらかといえば、発表していた ■3.どちらかといえば、発表していなかった ■4.発表していなかった ■5.考えを発表する機会はなかった

【小学校】

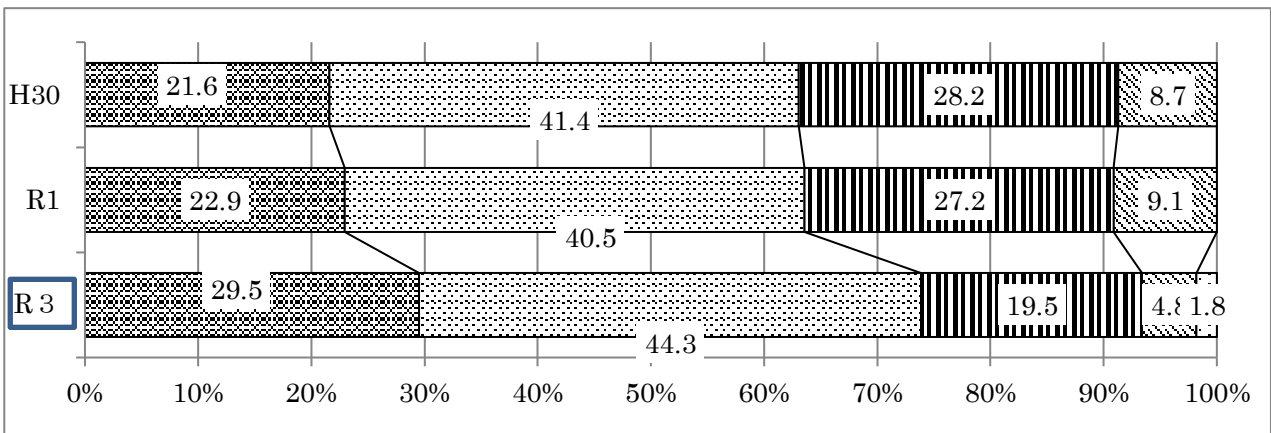
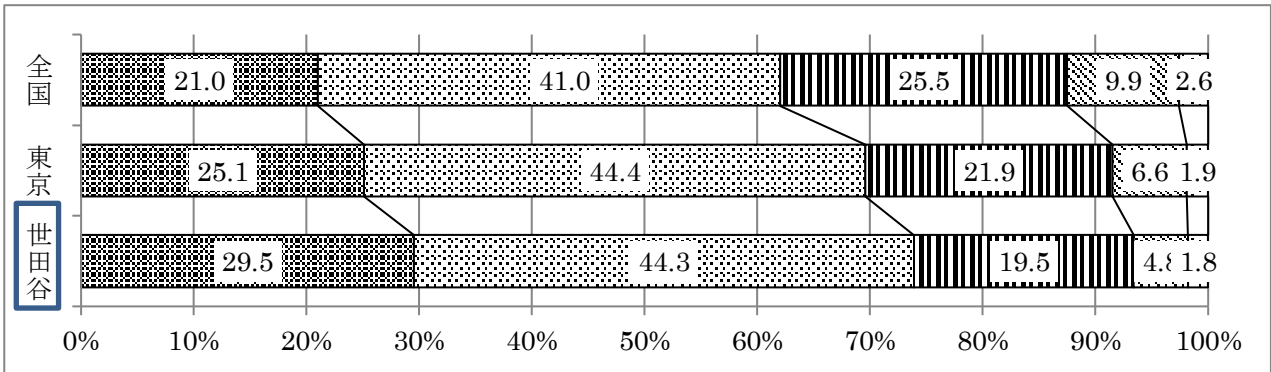


正答率とのクロス集計

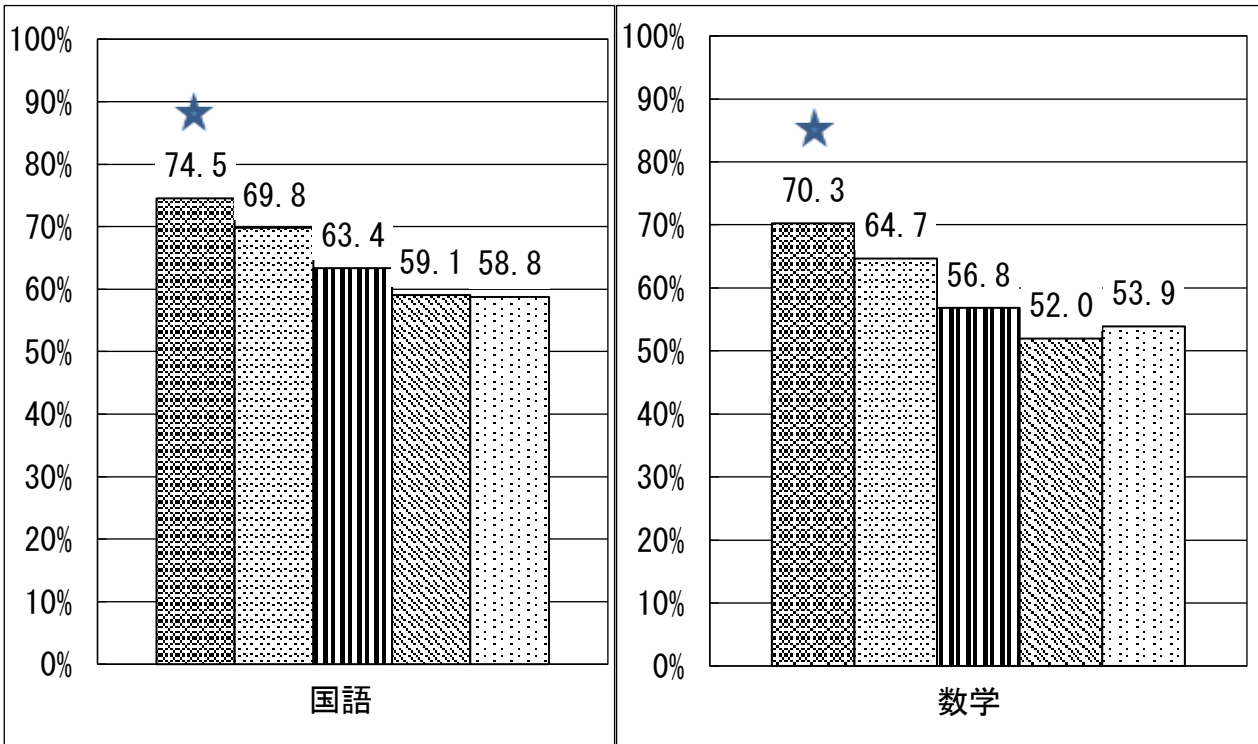


■1.発表していた ■2.どちらかといえば、発表していた ■3.どちらかといえば、発表していなかった ■4.発表していなかった ■5.考えを発表する機会はなかった

【中学校】



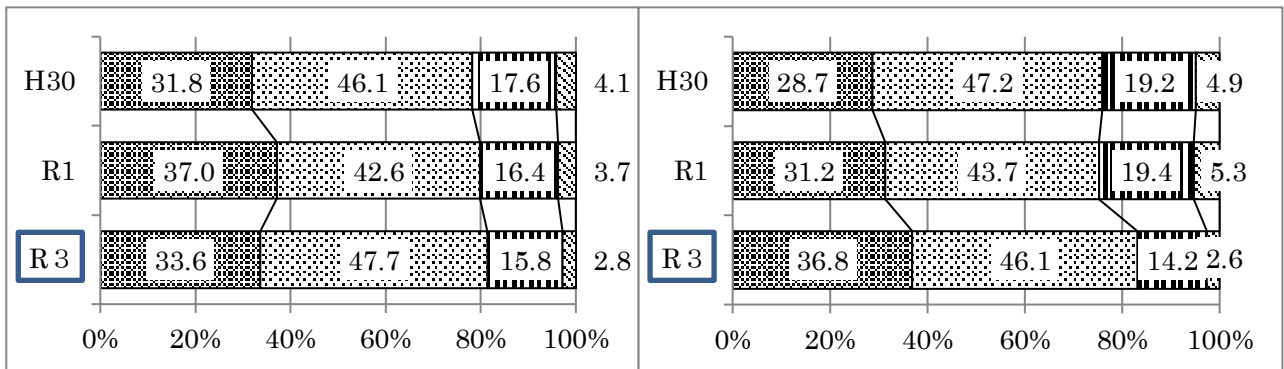
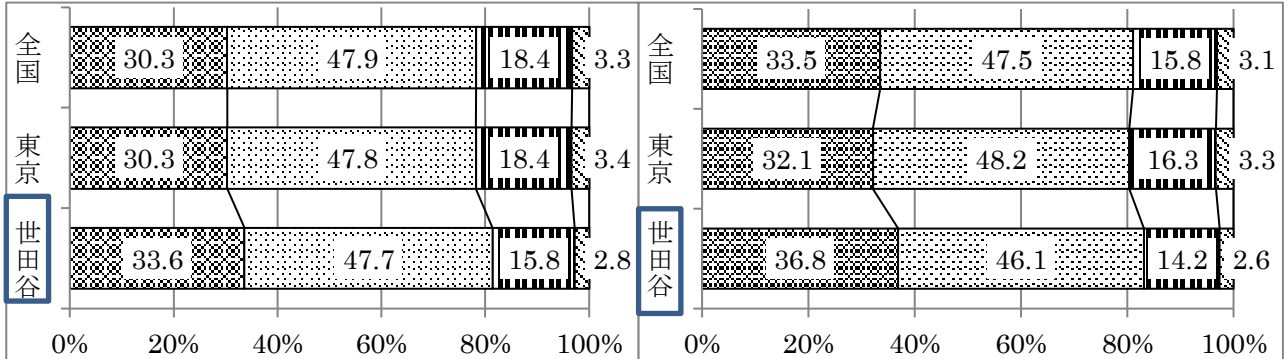
正答率とのクロス集計



3 3 5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。(学習意欲)

□当てはまる ■どちらかといえば当てはまる ▨どちらかといえば当てはまらない □当てはまらない

【小学校】肯定群 国 78.2% 都 78.1% **区 81.3%** 【中学校】肯定群 国 81.0% 都 80.32% **区 82.9%**

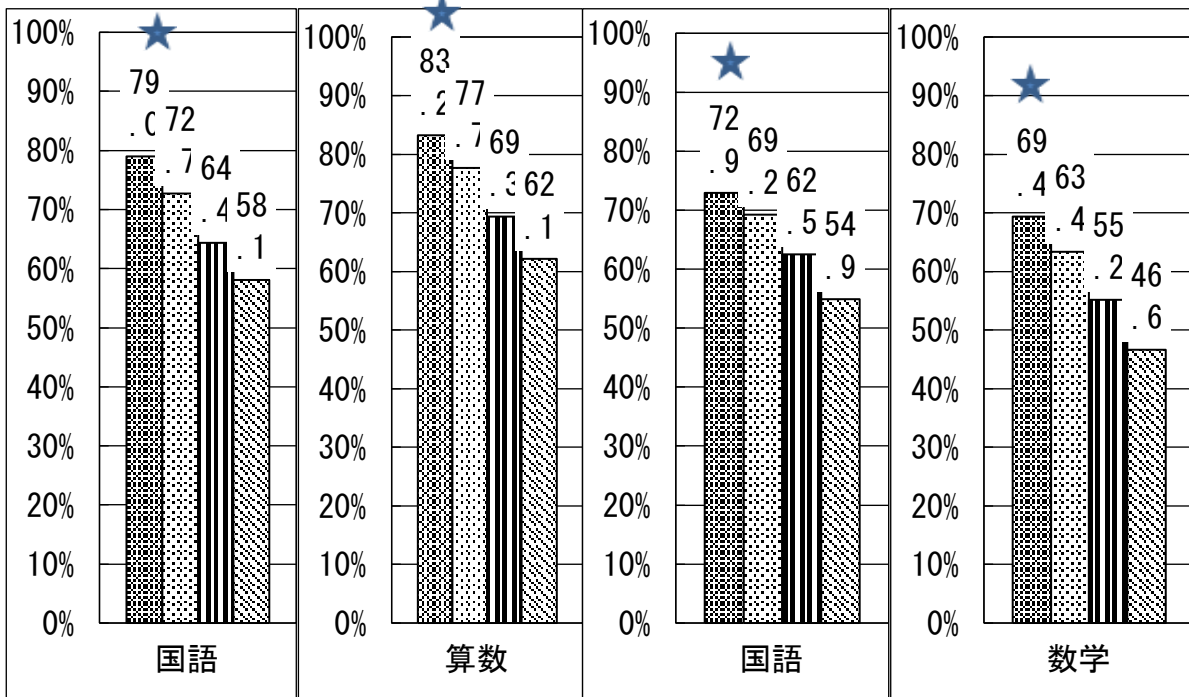


※肯定群は、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計

【小学校】

正答率とのクロス集計

【中学校】

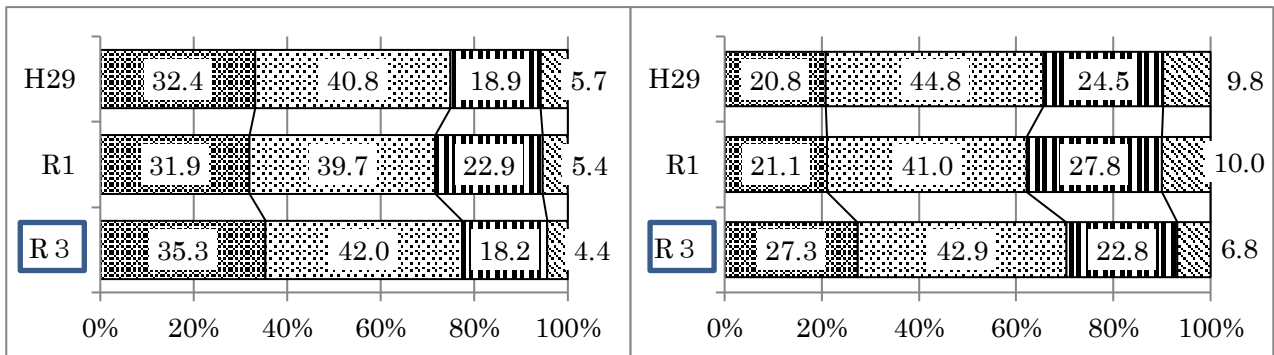
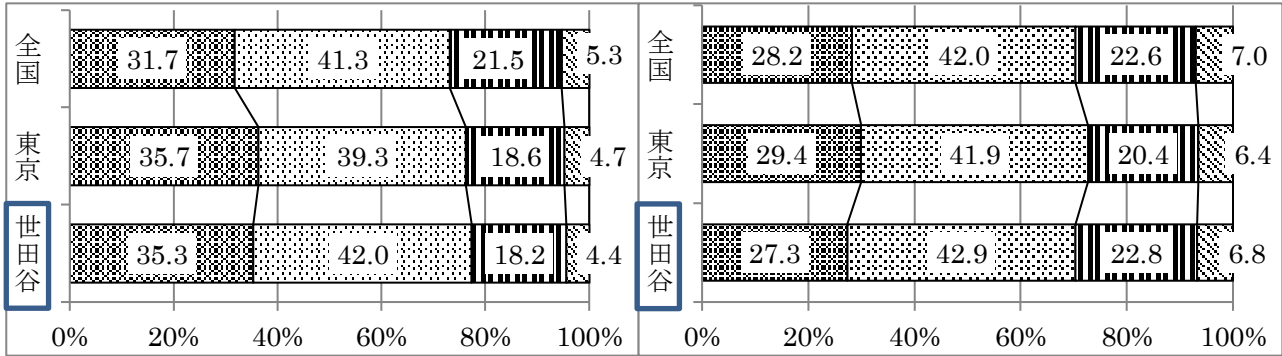


(6) 総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科 道徳

39 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか。

□当てはまる ■どちらかといえば当てはまる ▨どちらかといえば当てはまらない □当てはまらない

【小学校】肯定群 国 73.0% 都 75.0% **区 77.3%** 【中学校】肯定群 国 70.2% 都 71.3% **区 70.2%**

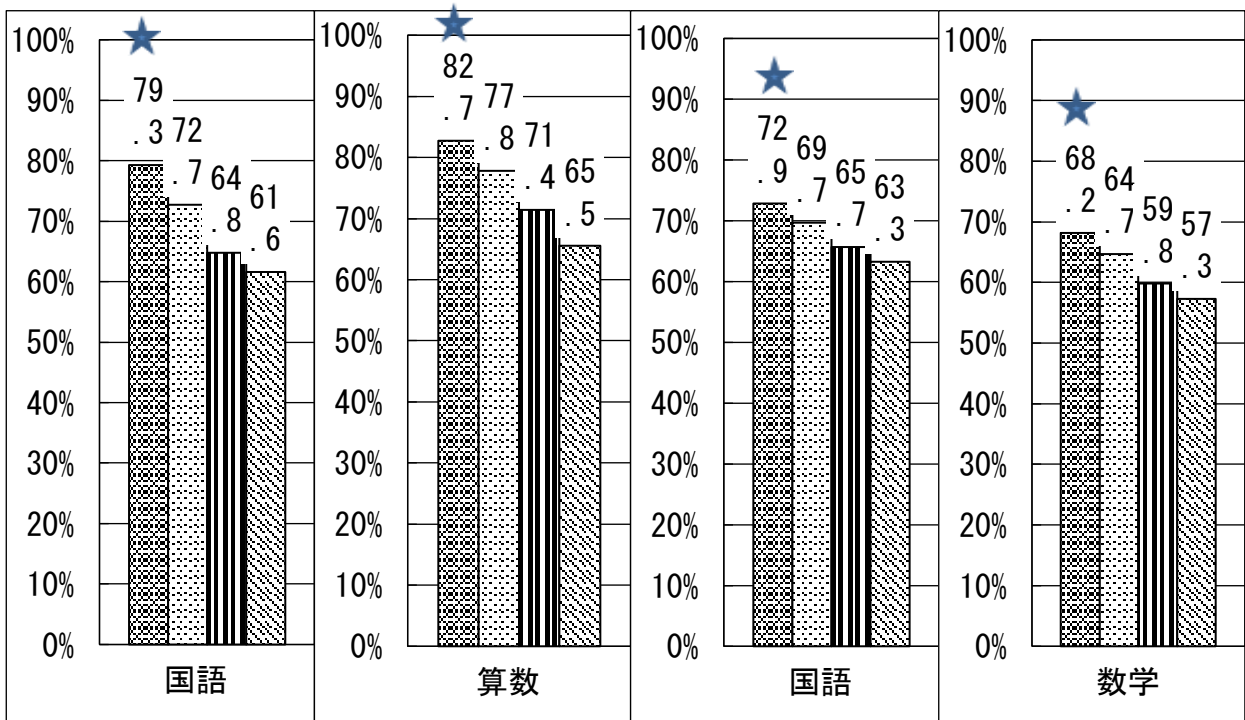


※肯定群は、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計

【小学校】

正答率とのクロス集計

【中学校】



(7) 学習に対する興味や関心や授業の理解度等 (国語)

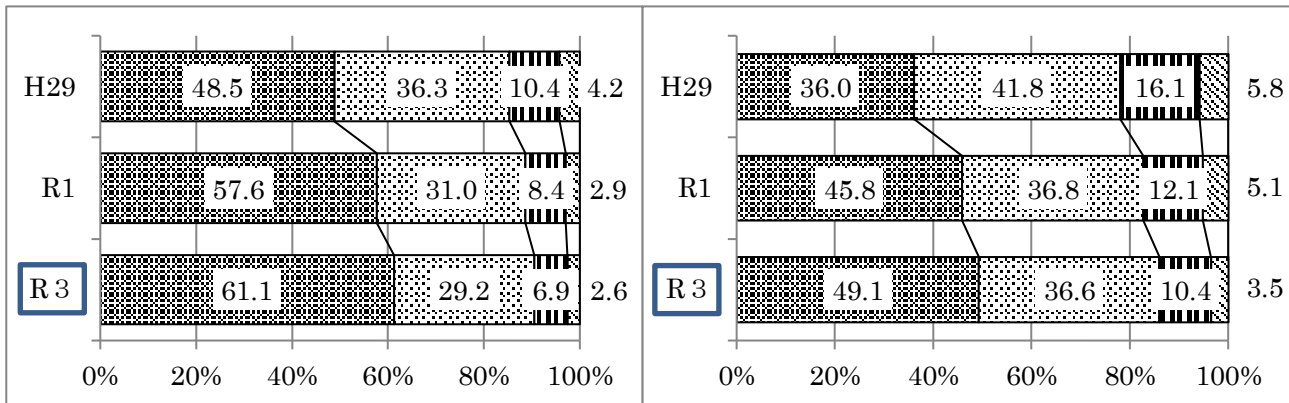
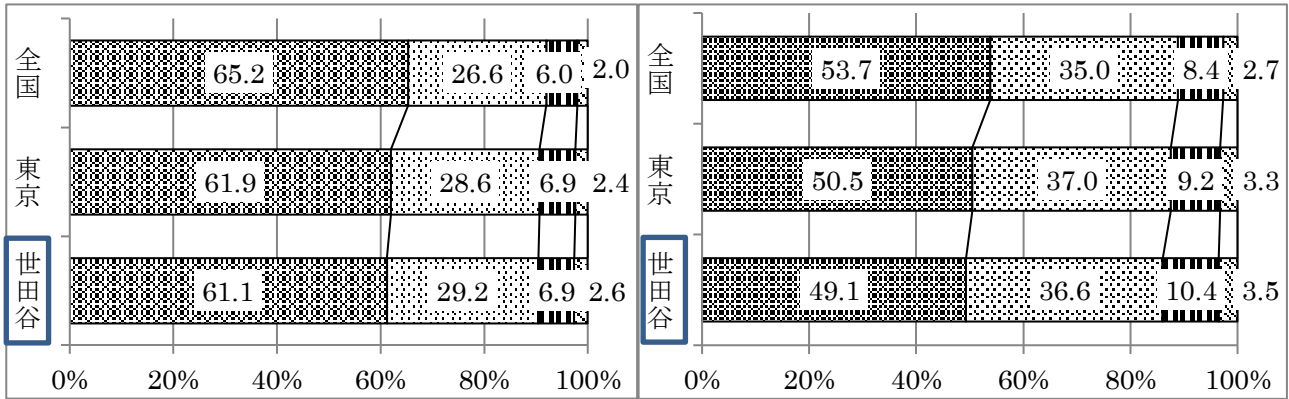
4 6 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに、役に立つと思いますか。

(興味や関心：キャリア形成)

□当てはまる ■どちらかといえば当てはまる ▨どちらかといえば当てはまらない ▩当てはまらない

【小学校】肯定群 国 91.8% 都 90.5% **区 90.3%**

【中学校】肯定群 国 88.7% 都 87.5% **区 85.7%**

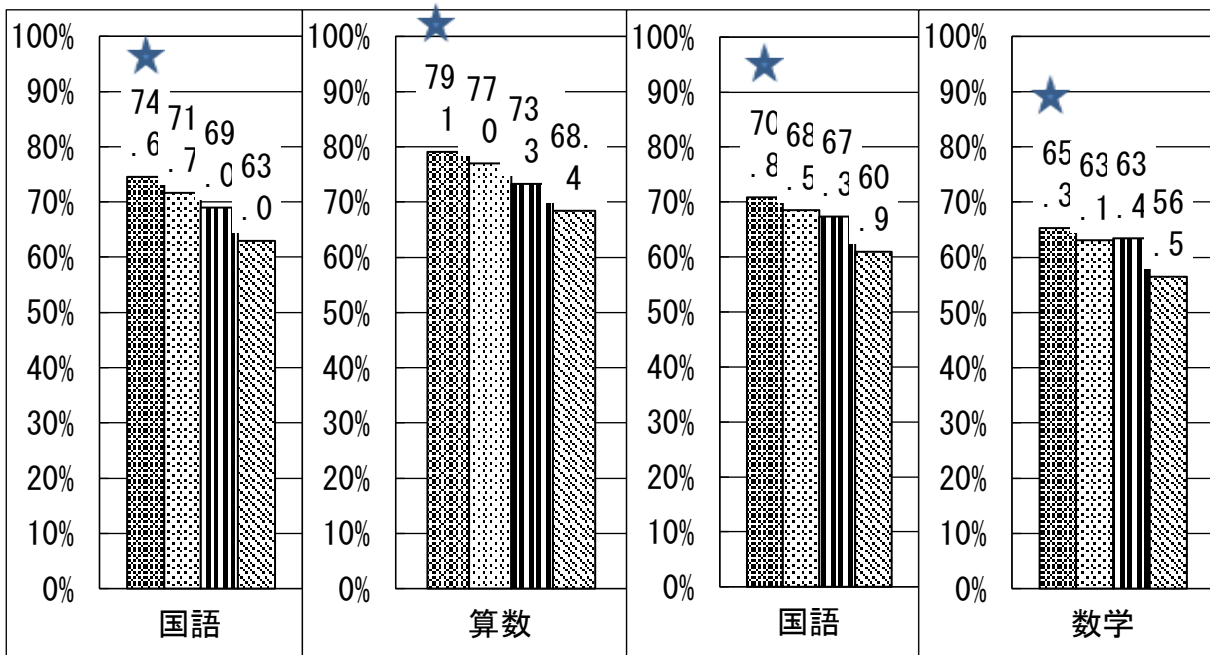


※肯定群は、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計

【小学校】

正答率とのクロス集計

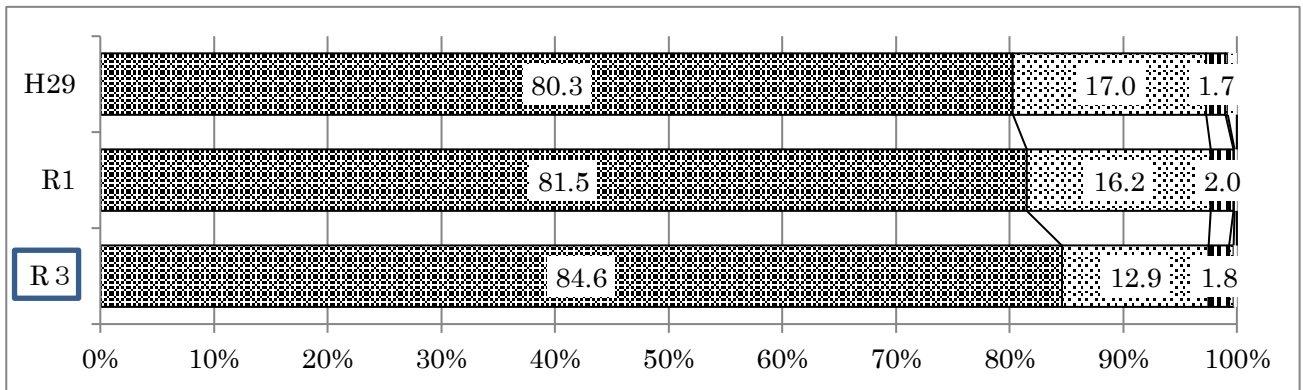
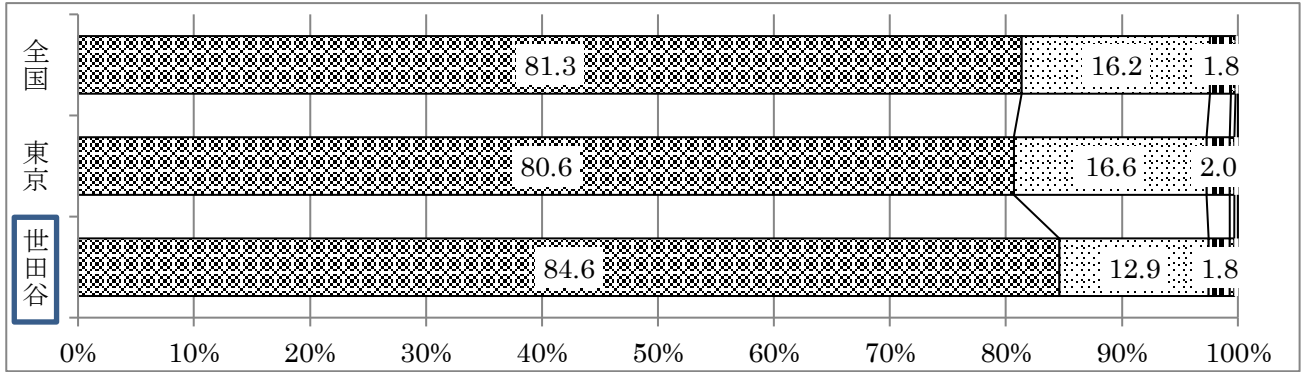
【中学校】



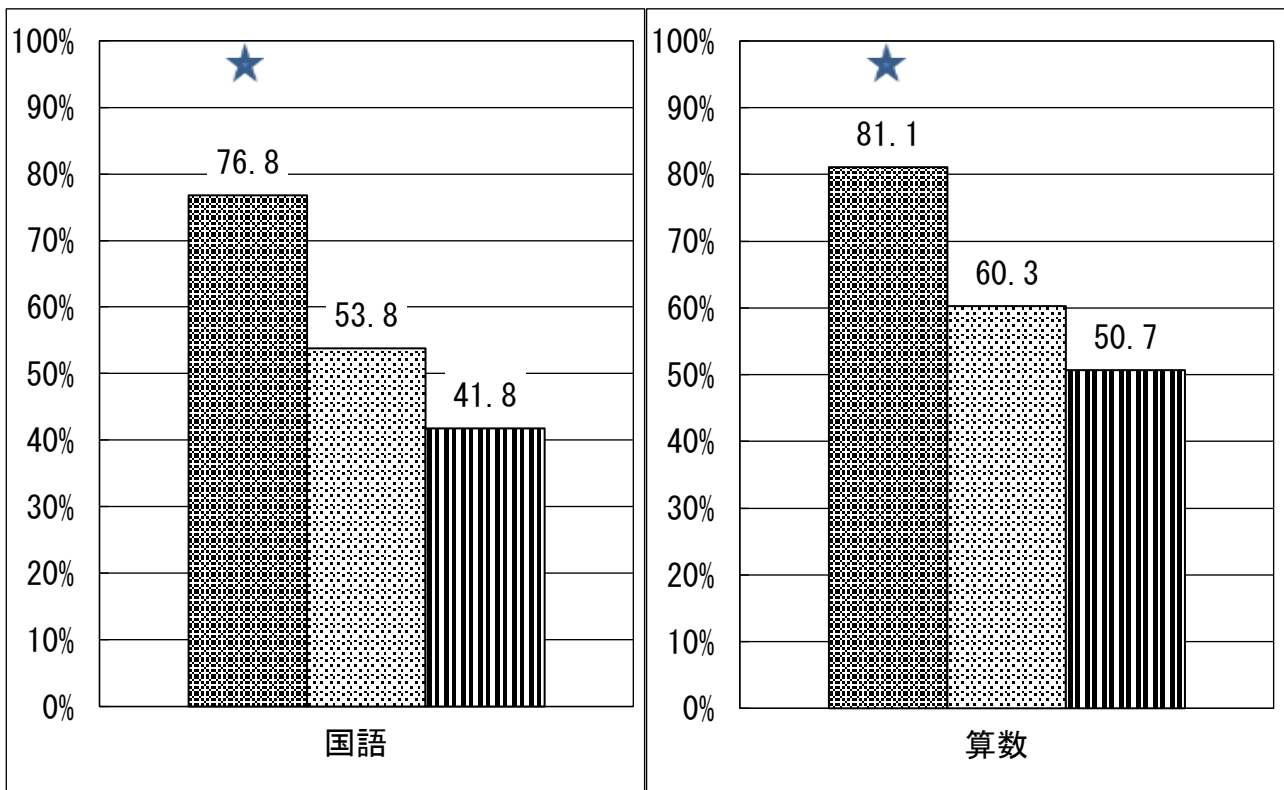
5 1 今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか。(挑戦心)

- 1. 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した
- 2. 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあった
- 3. 書く問題は全く解答しなかった
- その他
- 無回答

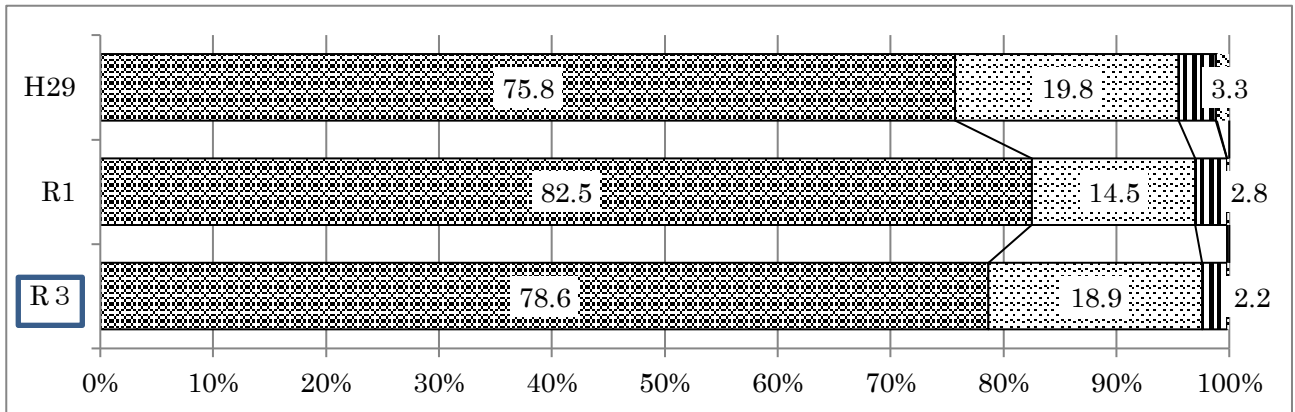
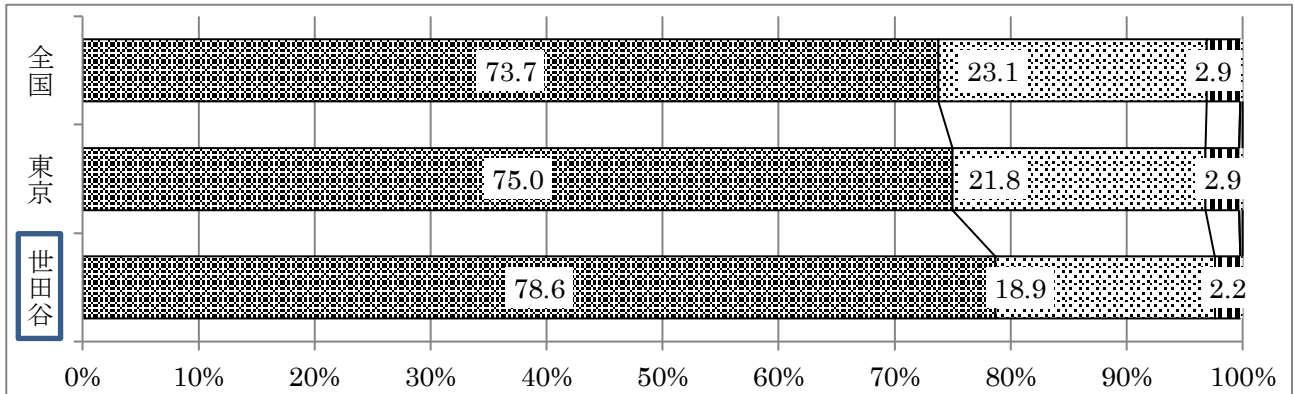
【小学校】



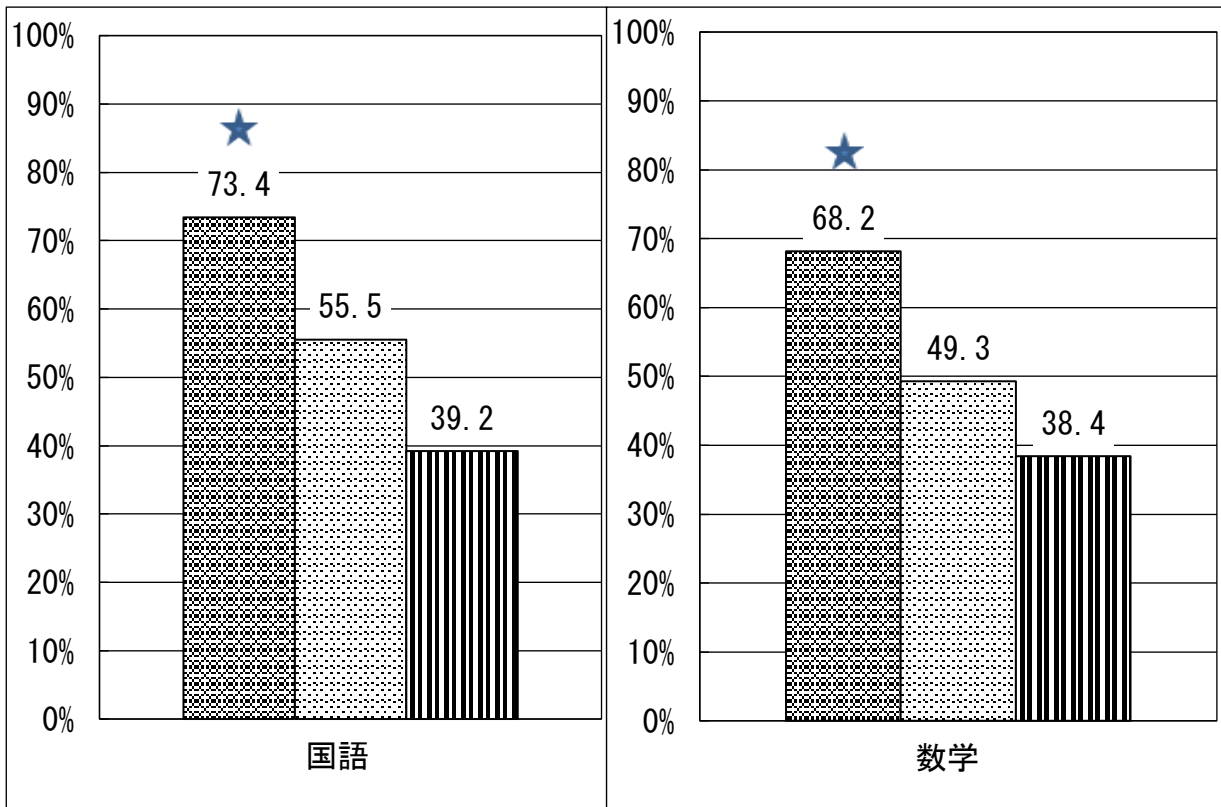
正答率とのクロス集計



【中学校】



正答率とのクロス集計

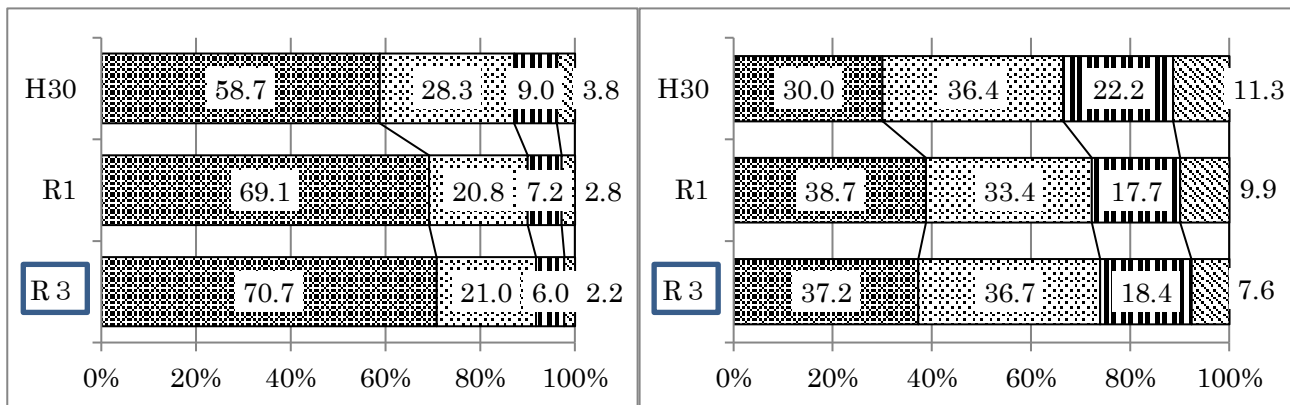
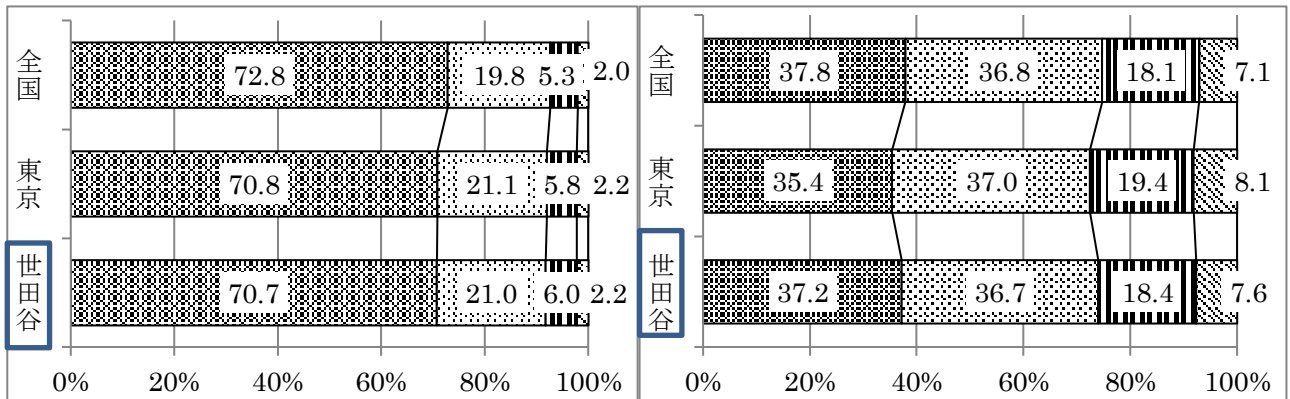


(8) 学習に対する興味や関心や授業の理解度等 (算数・数学)

55 算数 (数学) の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに、役に立つと思いますか。(興味や関心：キャリア形成)

□当てはまる ■どちらかといえば当てはまる ▨どちらかといえば当てはまらない □当てはまらない

【小学校】肯定群 国 91.8% 都 90.5% **区 91.7%** 【中学校】肯定群 国 88.7% 都 87.5% **区 73.9%**

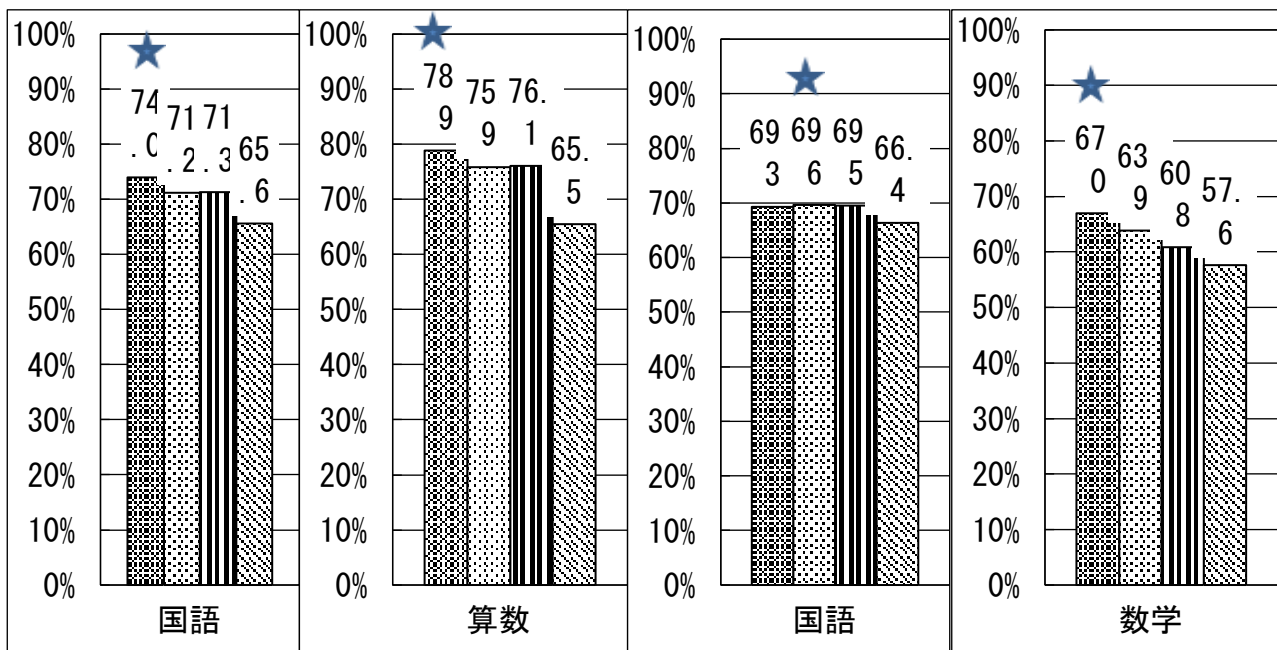


※肯定群は、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計

【小学校】

正答率とのクロス集計

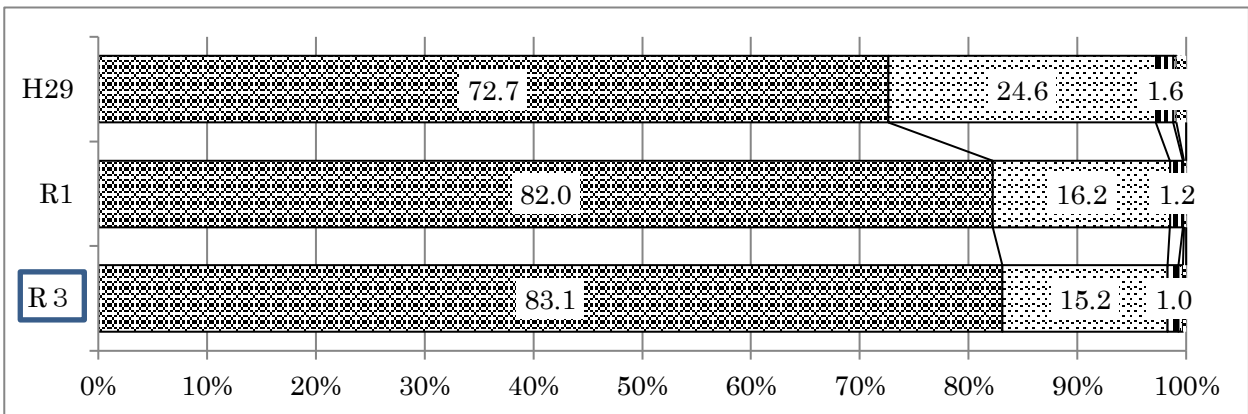
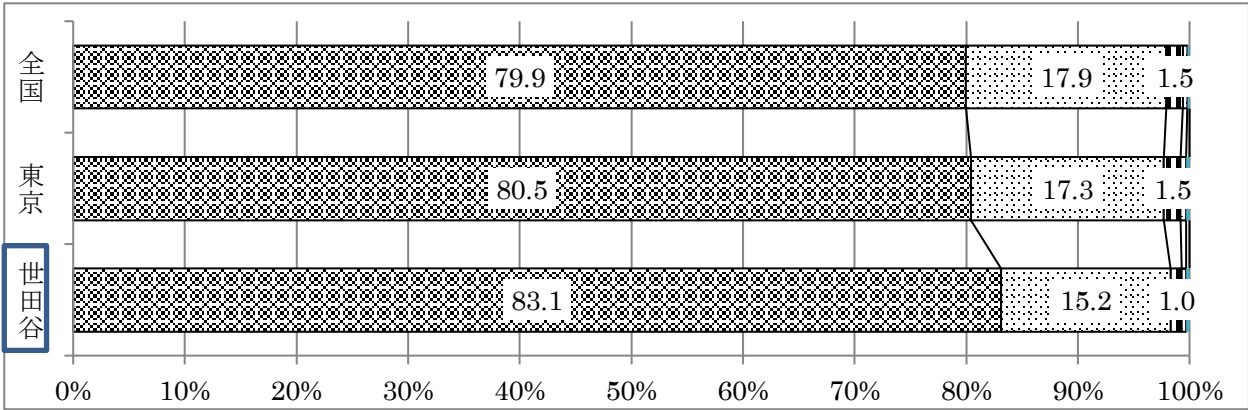
【中学校】



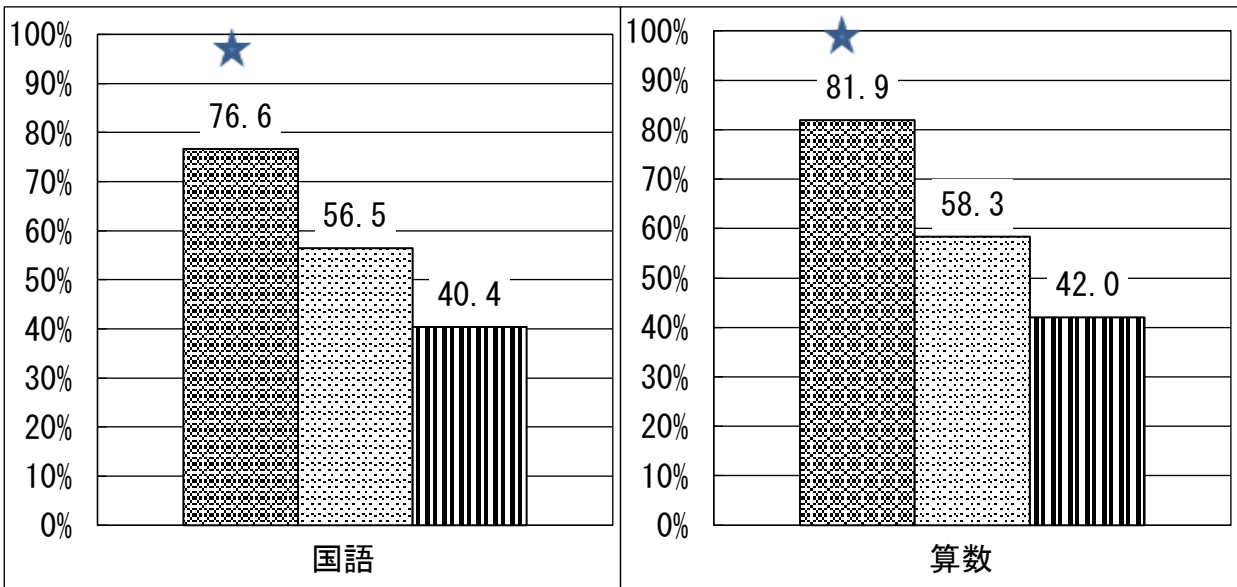
小学校 60 今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらについてどのように解答しましたか。(挑戦心)

- 1: 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した
- 2: 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあった
- 3: 書く問題は全く解答しなかった
- その他
- 無回答

【小学校】



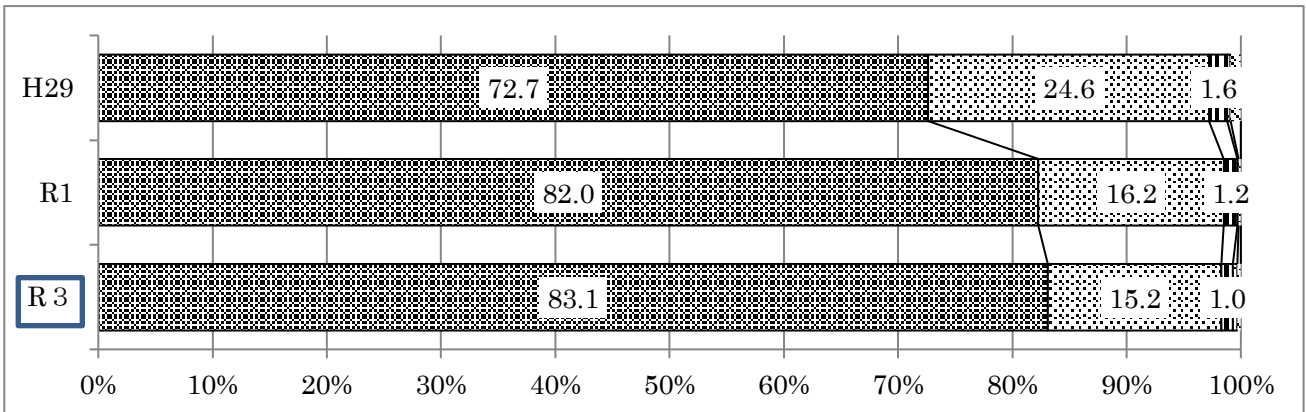
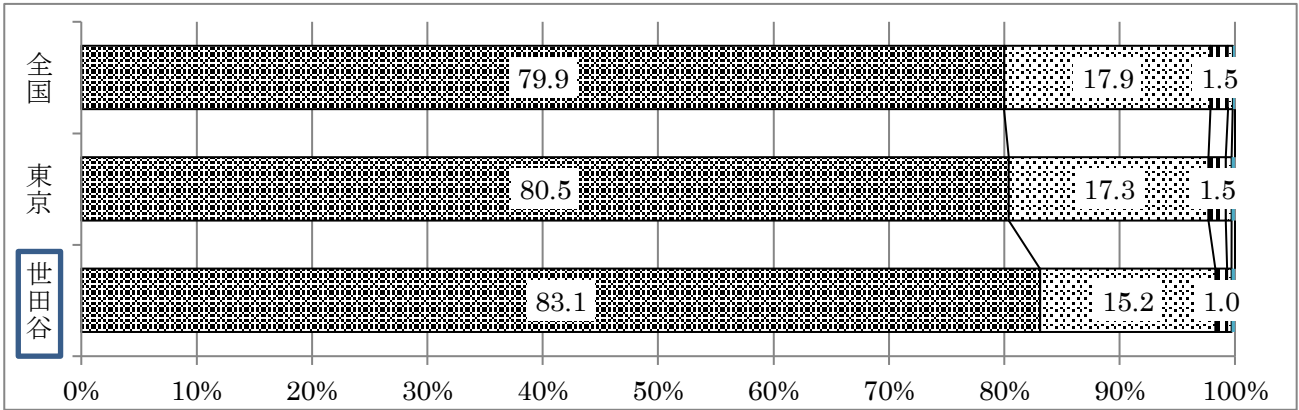
正答率とのクロス集計



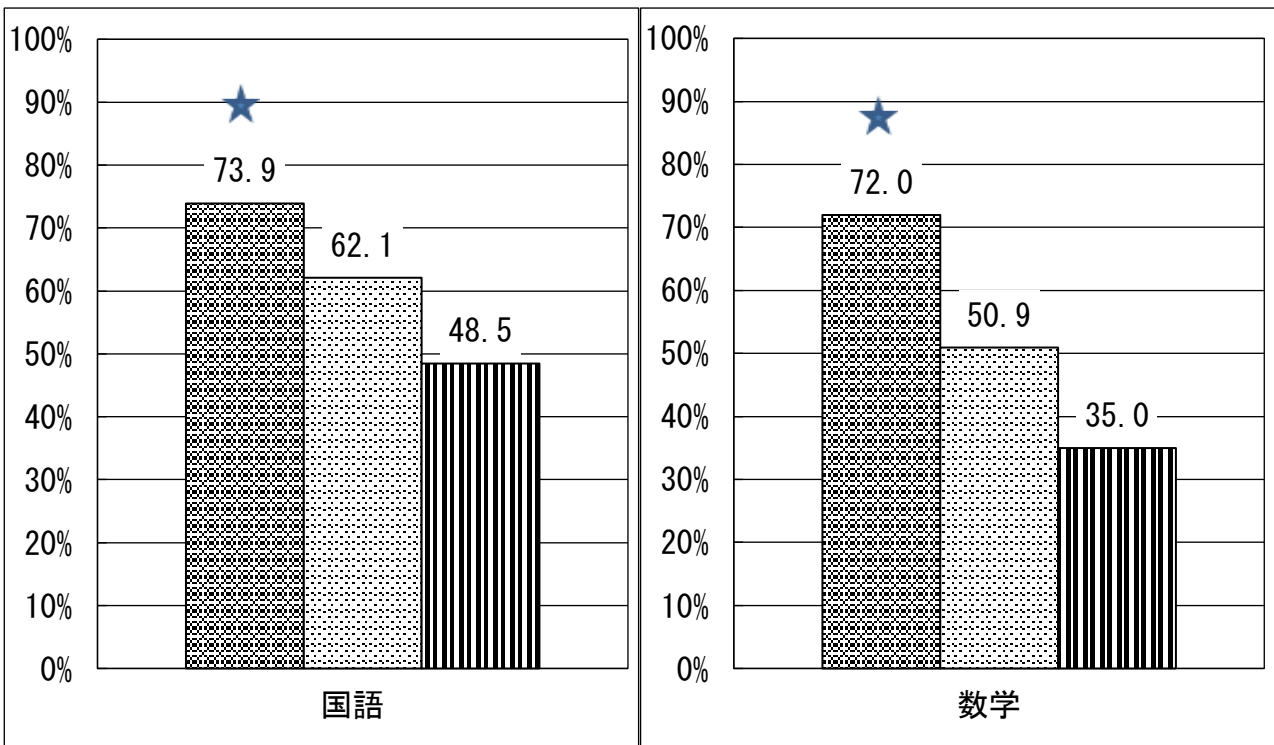
中学校 60 今回の数学の問題では、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか。(挑戦心)

【中学校】

- 1. 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した
- 2. 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあった
- 3. 書く問題は全く解答しなかった
- 4. その他
- 無回答



正答率とのクロス集計



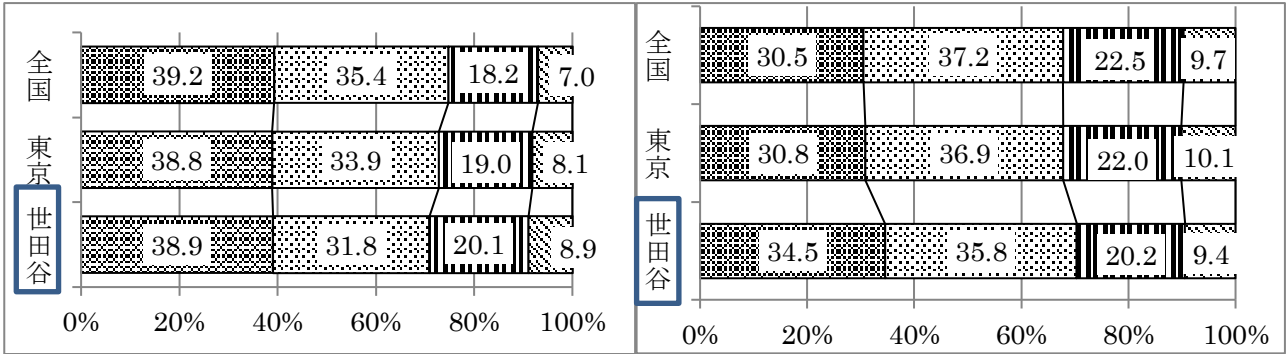
(9) 学習に対する興味や関心や授業の理解度等 (英語)

小学校	62 5年生までに受けた英語の授業では、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていましたか。
中学校	62 1、2年生までに受けた英語の授業では、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていましたか。

□当てはまる ■どちらかといえば当てはまる ▨どちらかといえば当てはまらない □当てはまらない

【小学校】 肯定群 国 74.6% 都 72.7% **区 70.7%**

【中学校】 肯定群 国 67.7% 都 67.7% **区 70.3%**

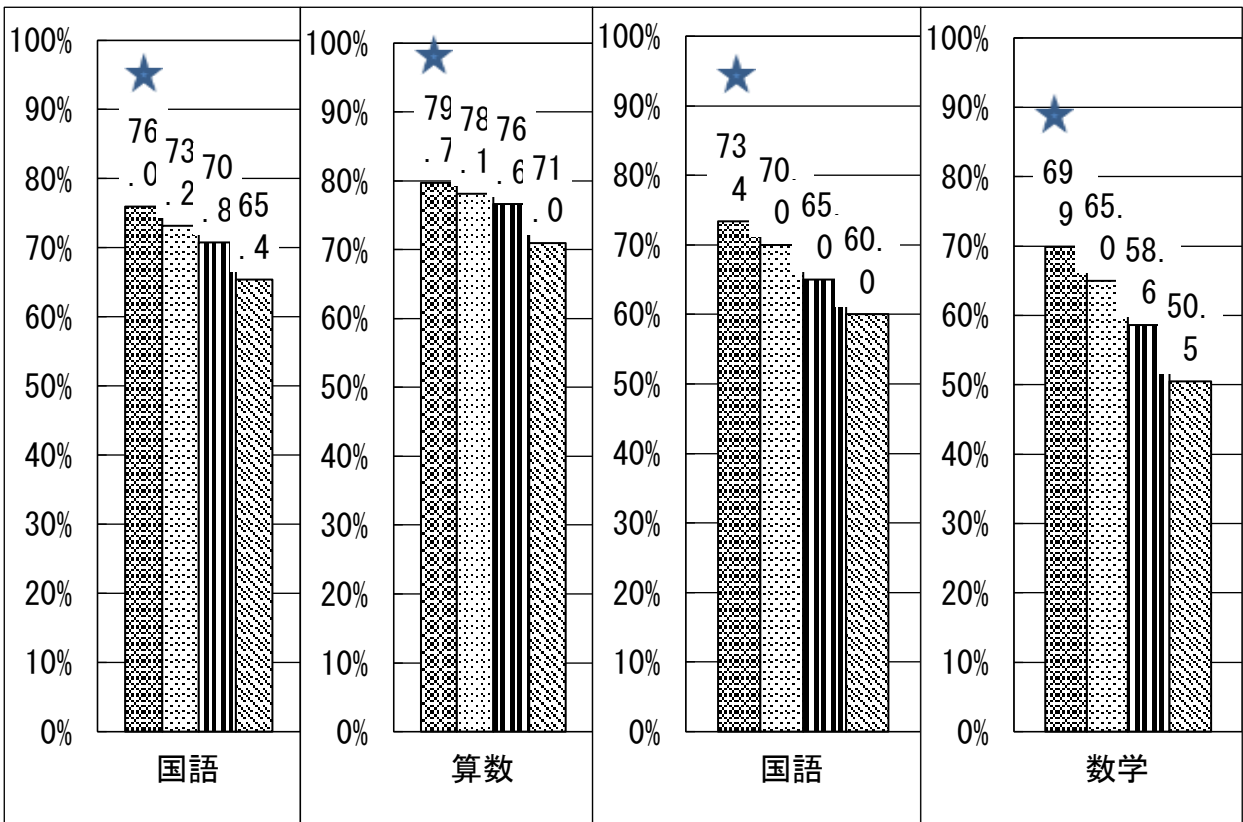


※肯定群は、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計

【小学校】

正答率とのクロス集計

【中学校】

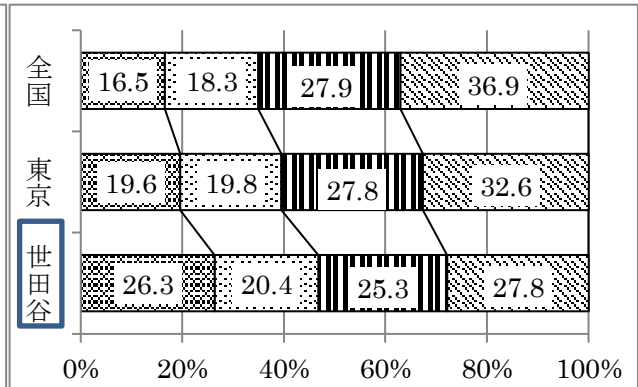
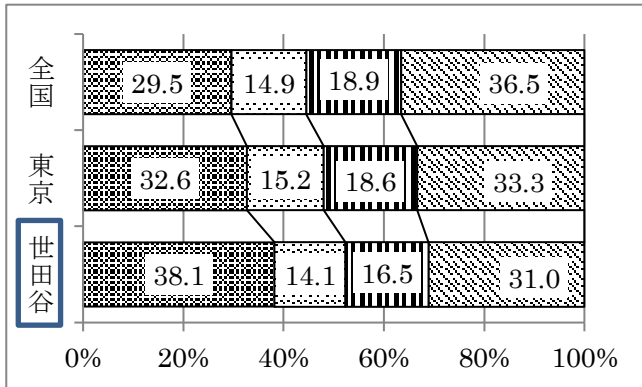


小学校	63 これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど）
中学校	63 これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど）

□当てはまる ■どちらかといえば当てはまる ▨どちらかといえば当てはまらない □当てはまらない

【小学校】肯定群 国 44.4% 都 47.8% **区 52.2%**

【中学校】肯定群 国 34.8% 都 39.4% **区 46.7%**

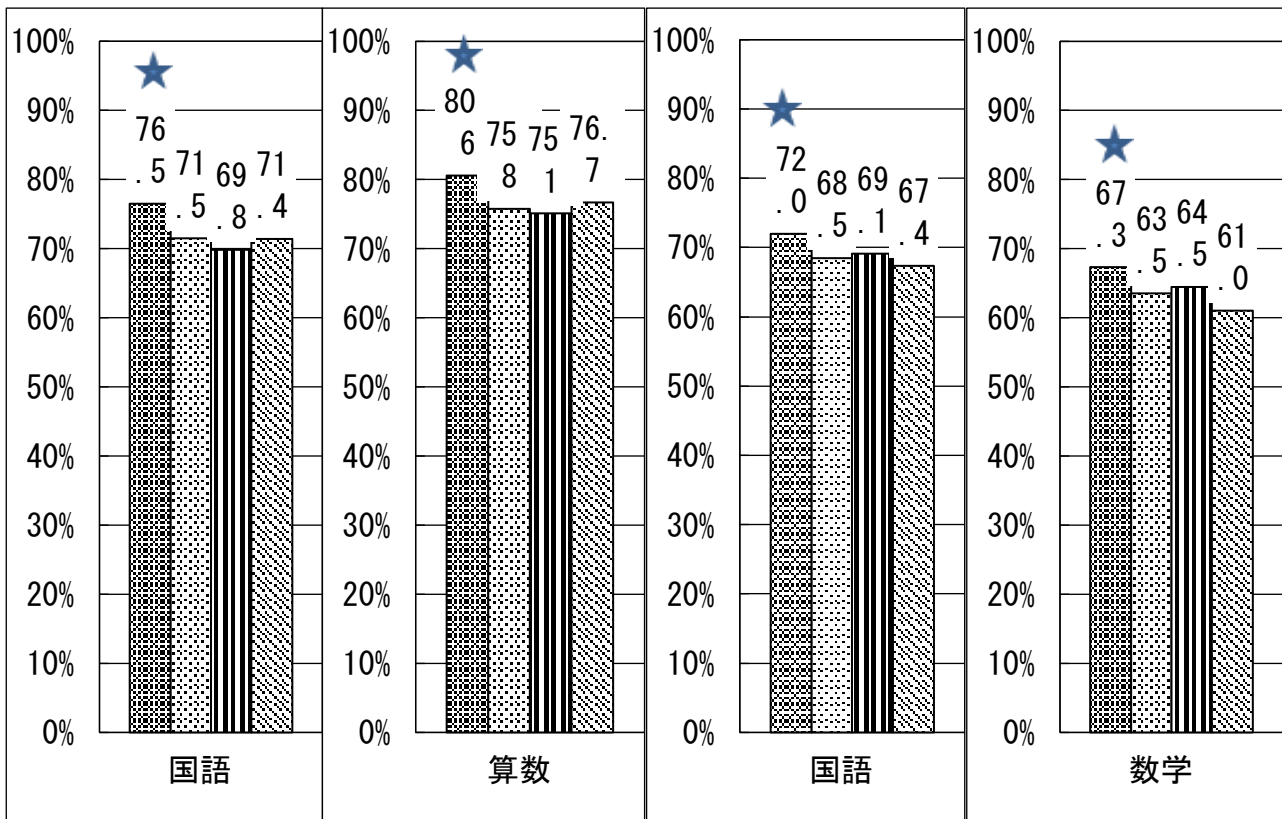


※肯定群は、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計

【小学校】

正答率とのクロス集計

【中学校】

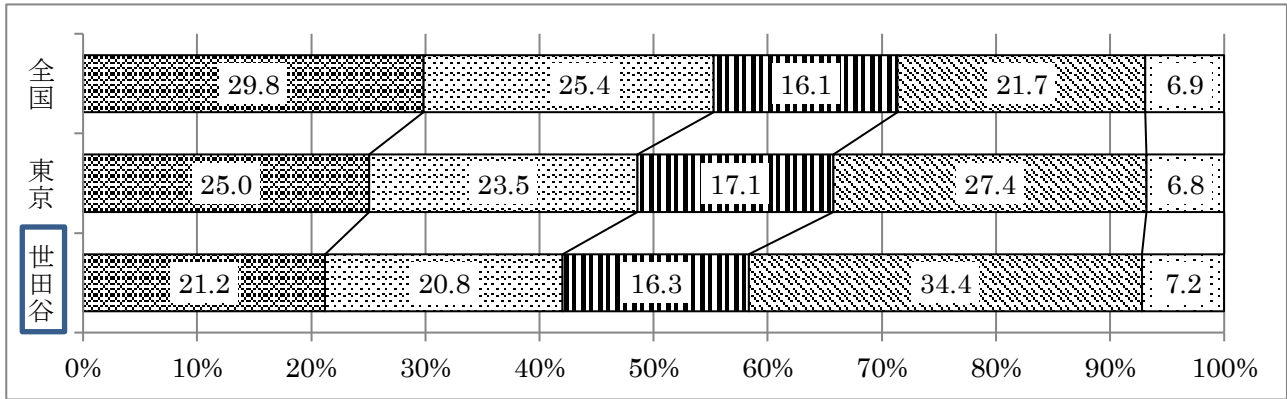


(10) 新型コロナウイルス感染症の影響

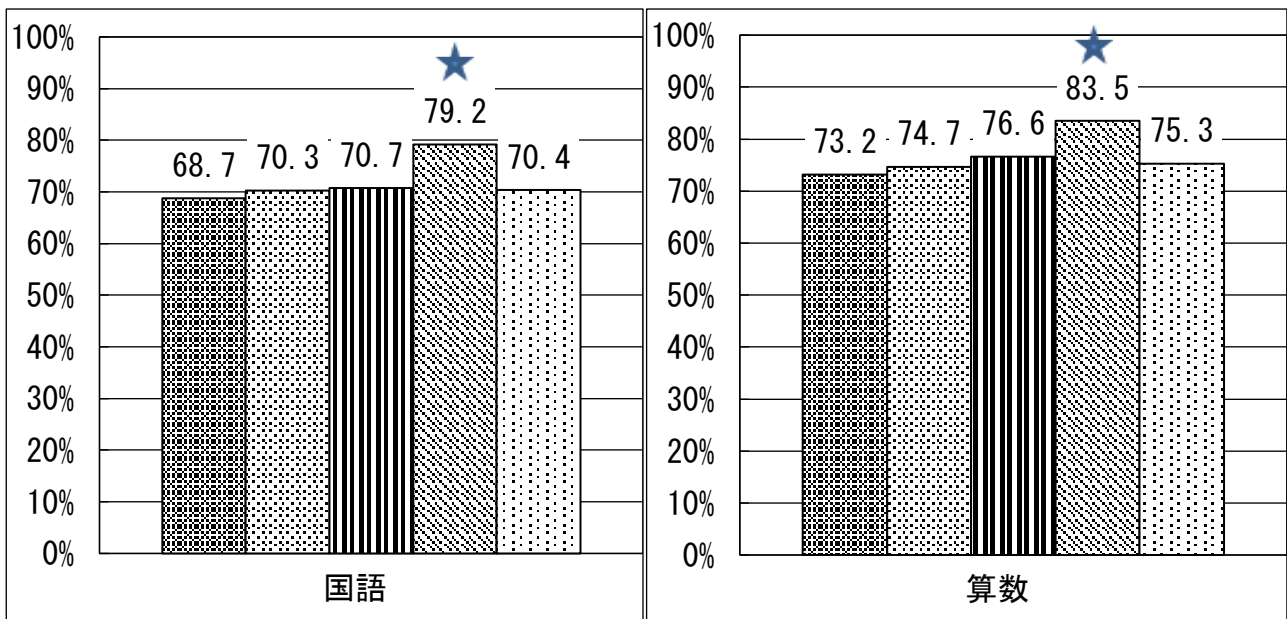
6.4 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか。

■1.当てはまる □2.どちらかといえば、当てはまる ■3.どちらかといえば、当てはまらない □4.当てはまらない □5.思い出せない

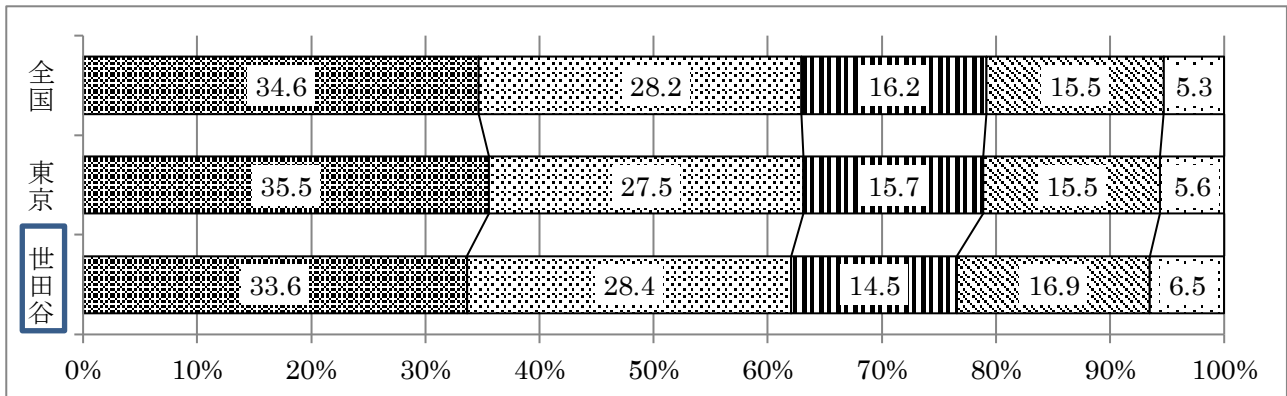
【小学校】 肯定群 国 55.2% 都 48.5% 区 42.0%



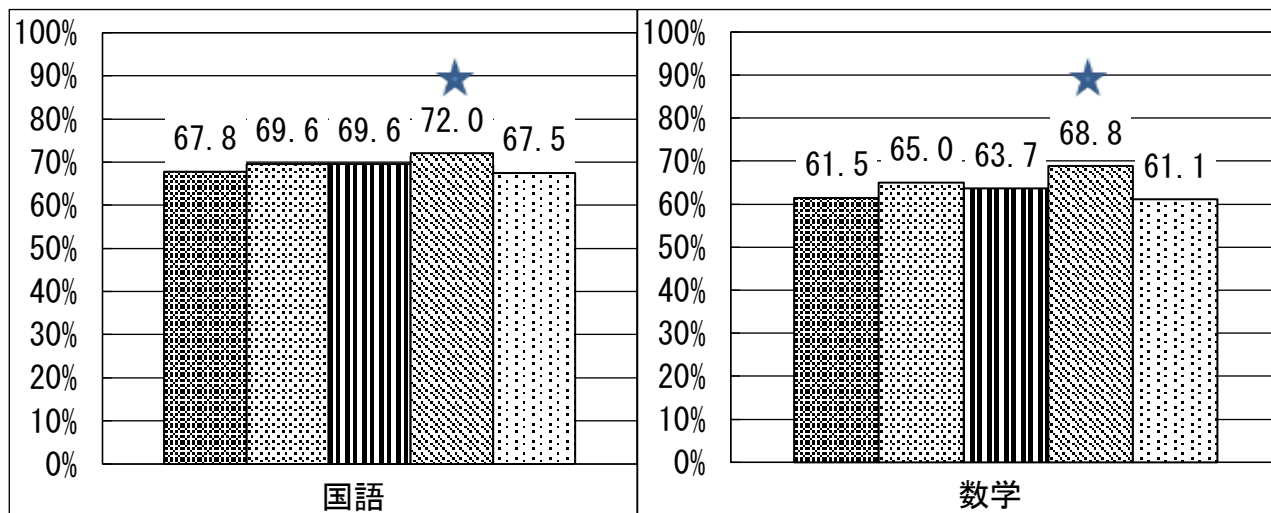
正答率とのクロス集計



【中学校】 肯定群 国 62.8% 都 63.0% 区 62.0%



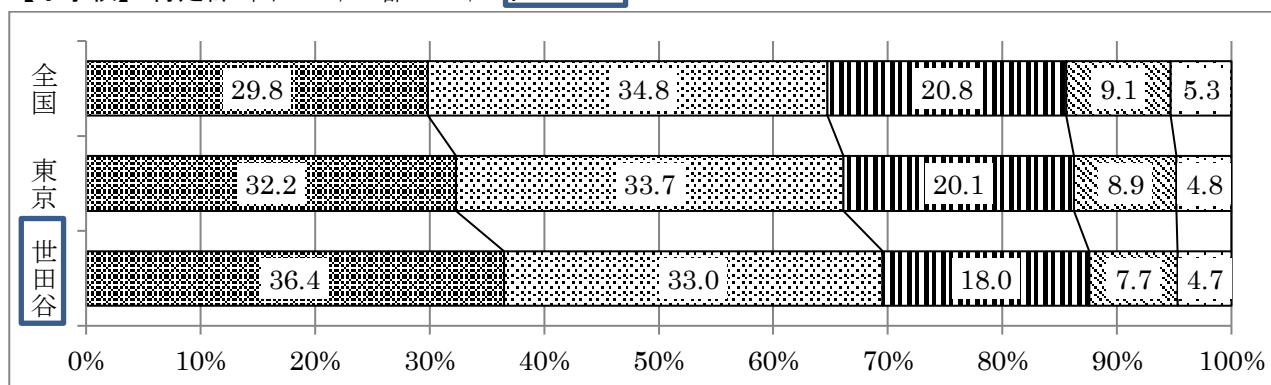
正答率とのクロス集計



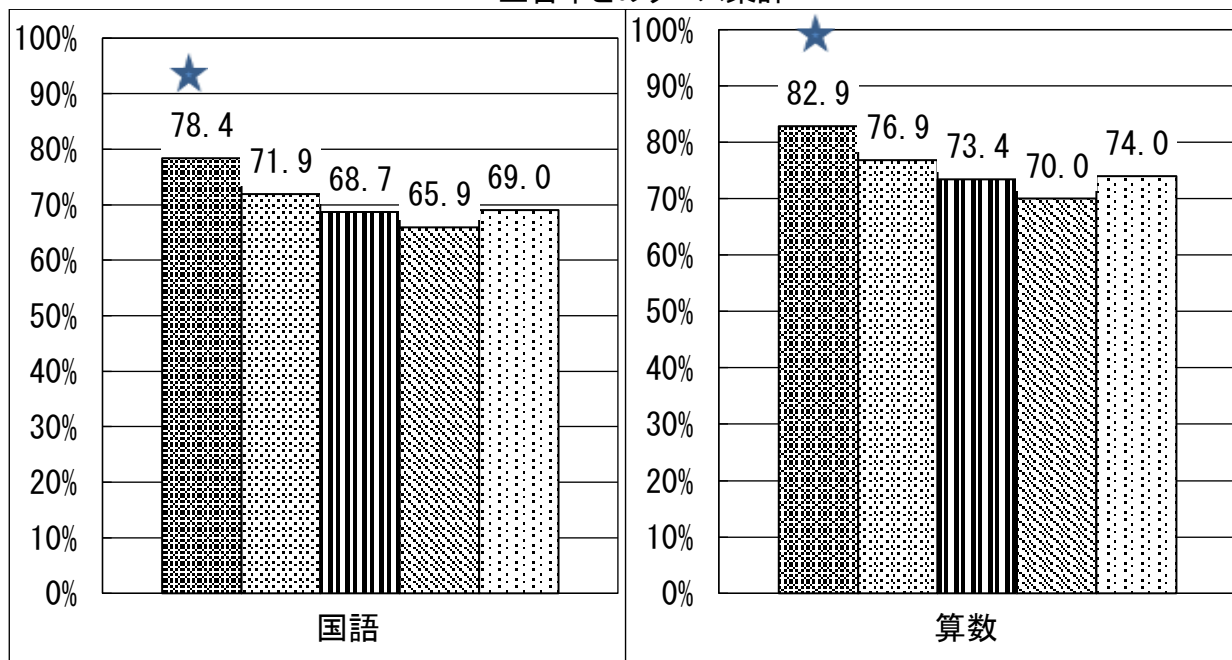
6 5 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか。

■1.当てはまる ■2.どちらかといえば、当てはまる ■3.どちらかといえば、当てはまらない ■4.当てはまらない ■5.思い出せない

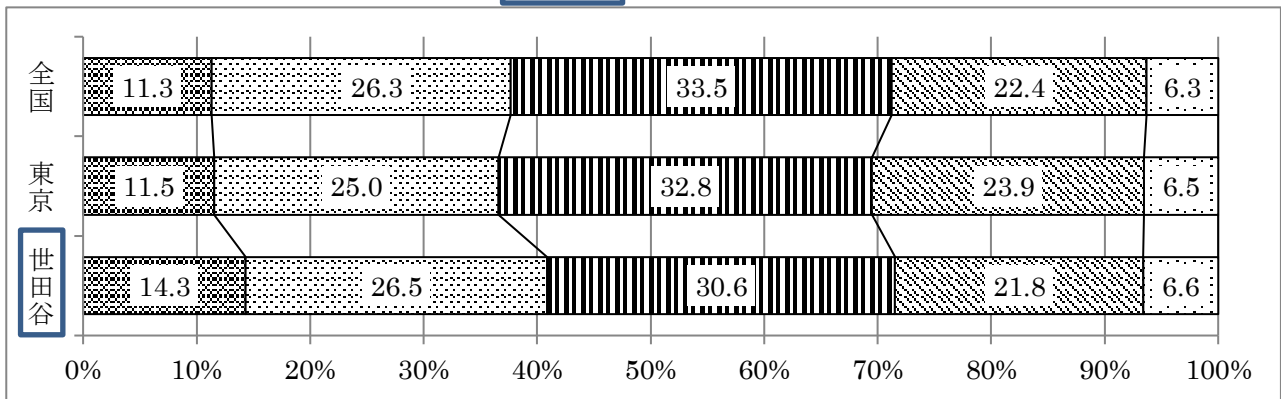
【小学校】 肯定群 国 64.6% 都 65.9% **区 69.4%**



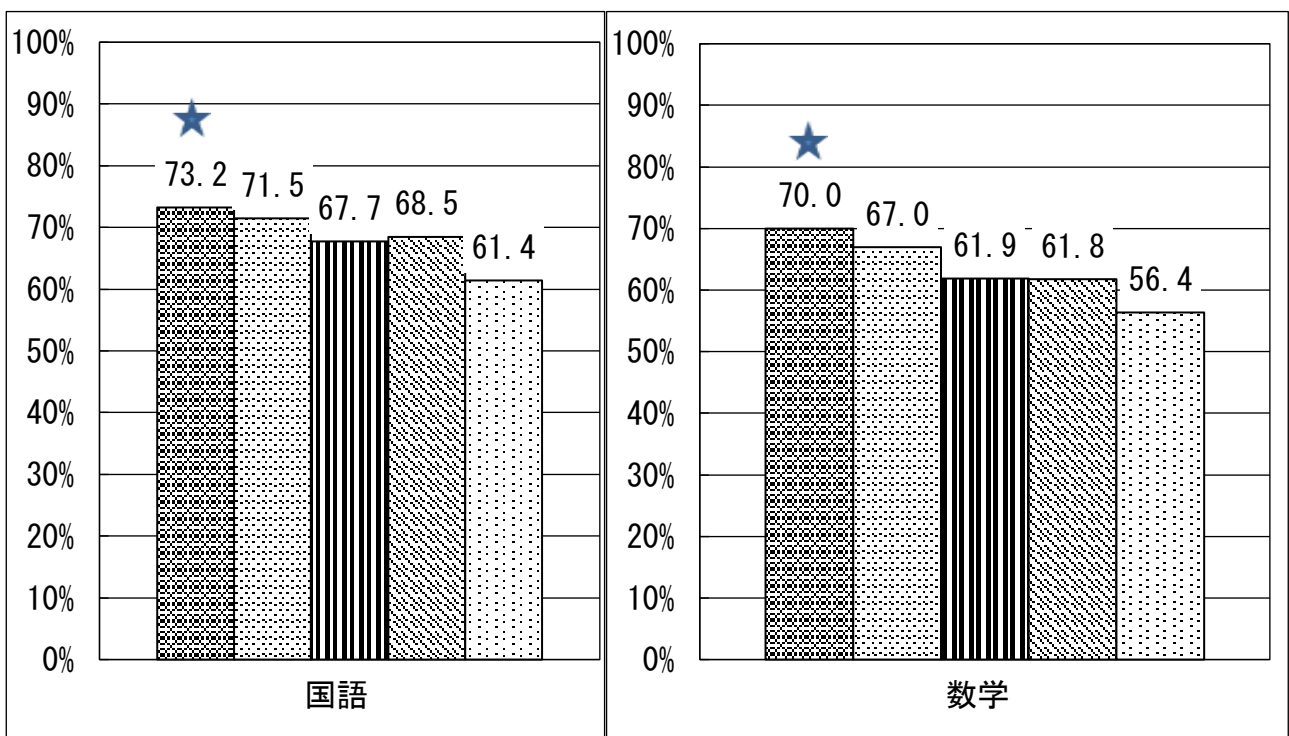
正答率とのクロス集計



【中学校】肯定群 国 37.6% 都 36.5% **区 40.8%**



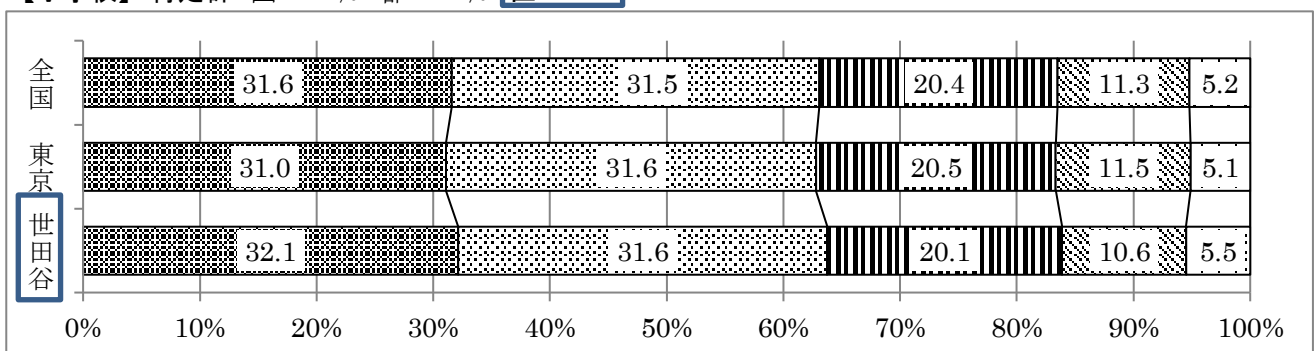
正答率とのクロス集計



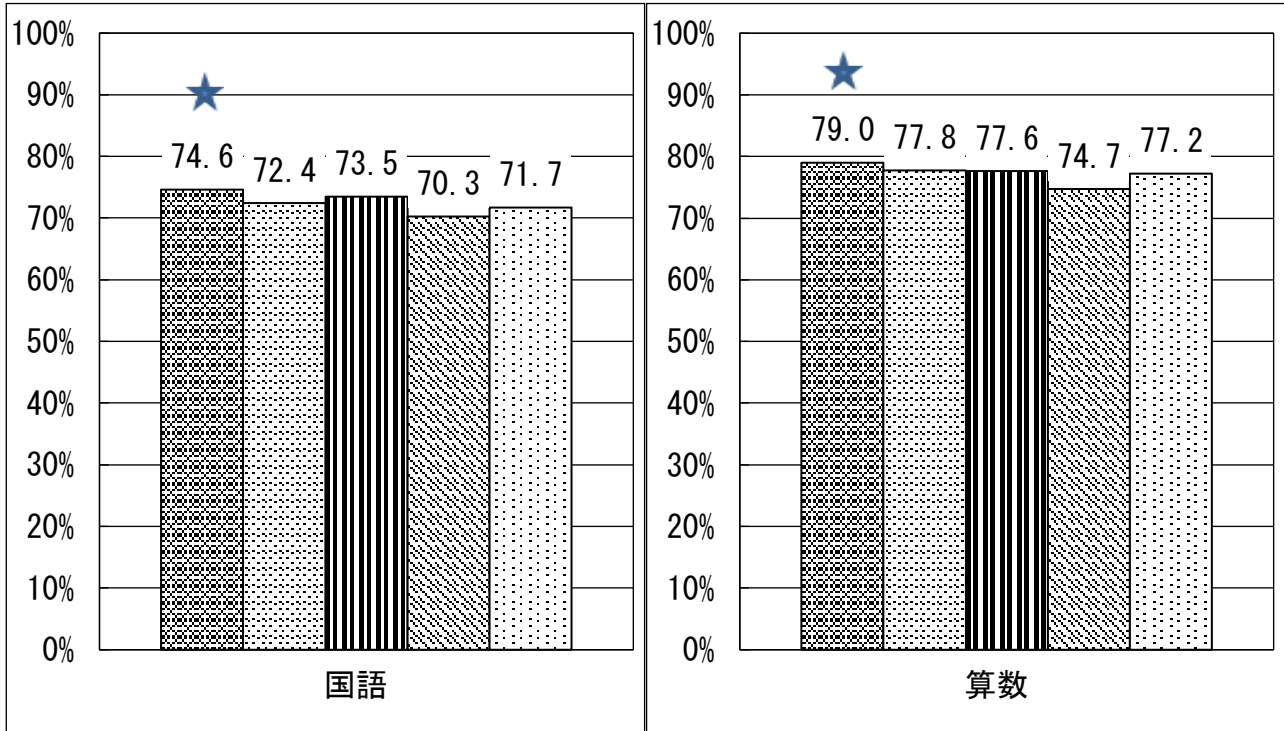
66 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか。

■1.当てはまる ■2.どちらかといえば、当てはまる ■3.どちらかといえば、当てはまらない ■4.当てはまらない ■5.思い出せない

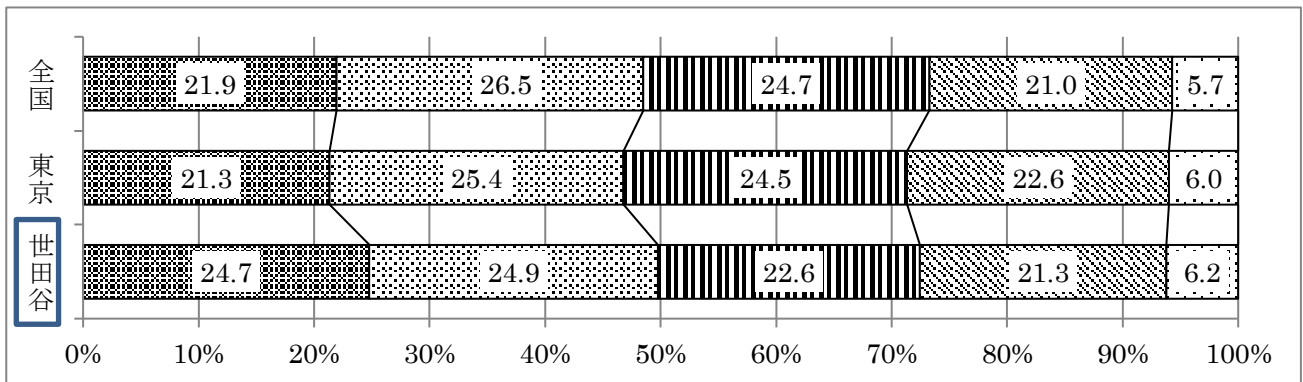
【小学校】肯定群 国 63.1% 都 62.6% **区 63.7%**



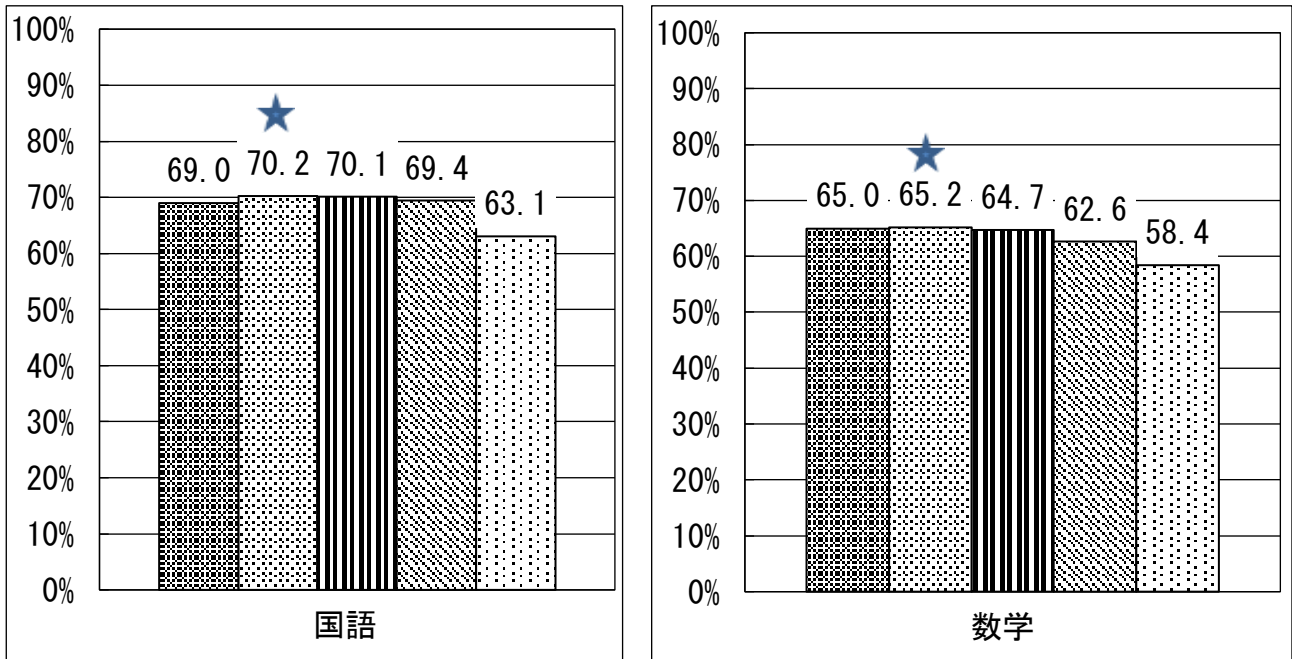
正答率とのクロス集計



【中学校】肯定群 国 48.4% 都 46.7% **区 49.6%**



正答率とのクロス集計



7 考察

(1) 教科全体(国語、算数・数学)を通して

〔結果〕

- ・ 世田谷区の平均正答率は、小学校と中学校ともに全ての教科において国や都よりも高い。(p. 3)
- ・ 本区の下位層(全国の平均正答率 第1四分位の児童・生徒)の割合は、国や都よりも少ない。

〔課題〕

- ・ 国語、算数・数学の2教科とも、自分の考えをまとめ、理由をつけて書くこと。

(2) 読み解く力に関連する問題を通して

〔結果〕

- ・ 世田谷区の「読み解く力」に関連する問題の平均正答率は、小学校と中学校ともに全ての教科において、国や都よりも上回っている。(p. 8)

〔課題〕

- ・ 多くの資料から必要な情報を集め、それらに関連付けて読み取っていくこと。

(3) 無解答率について

〔結果〕

- ・ 無解答率は、国や都と比べると低いですが、記述式の問題に集中している。(p. 13-14)
- ・ 資料に基づいて事象を考察する問題や、読み手の立場に立ち、自分が書いた文章について捉え直し、分かりやすい文章を書く問題の無解答率が高い傾向がある。(p. 14)

〔課題〕

- ・ 国語、算数・数学の記述式の問題で「書く問題には全く解答しなかった」と回答した児童・生徒が2%程度いること。
(p. 36-37、39-40)

(4) 質問紙調査から

〔結果〕

- ・ 「自分にはよいところがある」に肯定的に回答した児童・生徒の割合は、国や都より高い。(p. 16)
- ・ 学校の授業時間以外の勉強時間は、国や都と比べてかなり高い。特に小学校では、平日2時間以上学習している割合が、国より2倍程度高い。(p. 22-23)
- ・ ICTを活用した学習状況において、「ほぼ毎日」「週1回以上」と回答した児童・生徒の割合は、国や都より10ポイント以上高い。
(p. 28)
- ・ 「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるように、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか」で肯定的に回答した児童・生徒の割合は、国や都より高い。(p. 31-32)
- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができていた児童・生徒の割合は、国や都より高い。(p. 44-45)

〔課題〕

- ・ 「将来の夢や目標を持っているか」に肯定的に回答した児童・生徒の割合で小学校は国より低く、中学校は国や都より高い傾向がある。経年比較から、小学校・中学校

ともに肯定群の割合が低くなってきている。

- ・「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」に肯定的に回答した児童・生徒の割合は、国や都よりも高い傾向にある。経年比較より、令和元年と比べ、低くなっている。
- ・「国語や算数・数学で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思うか」に肯定的に回答した児童・生徒の割合は、国や都よりも低い傾向がある。

(5) 授業改善の視点

全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて、新しい学習指導要領等に基づきながら、学校と教育委員会が連携して研究・研修を進め、教育の質の転換を図っていく。

〔基礎・基本の定着と課題の解決を図る学習をより充実する〕

- ・特に下位層の児童・生徒の基礎的・基本的な学力の定着について、少人数指導や個別学習、ICT等を活用して進める。
- ・みんなで課題の解決に取り組み、解決の過程や根拠となる理由を文章で書いたり、話し合い活動で考えを深めたり広げたりする練習を、単元のまとめごとに行う。

〔読み解く力を高めるための授業を意図的・計画的に行う〕

- ・国語において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する学習活動の充実や目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付ける学習活動を計画的に行う。
- ・複数のグラフや表などの資料を用意し、自分で読み解いたことや考えたことをもとに、みんなで交流したり、評価し合ったりする授業を意図的・計画的に行う。

〔難しい記述式の問題に挑戦する意欲を高める指導を行う〕

- ・どの知識が使えるのか、どんな公式が使えるのかなど、問題を解くために必要な手がかりになることから考える学習や、時間内にまとめて書く練習を積極的に取り入れる。
- ・難しい問題に最後まで取り組んだことをしっかりと評価し、達成感や自己肯定感を味わわせ、あきらめない気持ちなどの非認知的な能力を高める指導を行う。

〔キャリア形成と結び付けた学習の充実を図る〕

- ・教科等の特質に合わせ、身近で生活の中にあるものや地域にあるものを教材化し、「この学習は、自分の生活や将来の夢とどのようにつながるのか」を考えたり、「学んだことが学校や地域の生活の中で生かされた」と感じたりする指導を行う。
- ・多様な人と協働して課題を解決する学習とその振り返りによって、学ぶ楽しさを実感させ、「またやってみよう」という学ぶ意欲を高める指導と評価を工夫する。
- ・いじめを防止するための取組を含め、学級で協力して行う活動を充実させながら、主体的・対話的で深い学びの効果を高める学習環境を整備する。

令和3年度
全国学力・学習状況調査
報告書

令和3年12月

世田谷区教育委員会